

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-----------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 生活経営学 L13001 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 富田 勝彦 | | | | |
| 授業の概要 | 私たちの生活は社会や環境、歴史・文化など様々な面と相互に関連しあっている。しかし、毎日とは比較的単純で反復的なことから、その関連性や論理性を意識することは少ない。そこで本授業では、生活の諸側面の論理と社会の仕組みや関連性などの理解を通して、各人が主体的に自身の生活を営むという意識を再認識し、構築することを目指す。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活に関する基礎知識を理解する ・家族、家計、労働、福祉、環境など、生活の実態と関係性を理解する ・生活上の諸問題に対して、生活経営学の視点からアプローチし考察する ・生活者としての主体性を構築する | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活とは何か、生活経営学とは何か 2. 生活の組織と単位の変化 3. 家族に関わる法律 4. 生活と地域共生社会 5. 生活時間のとらえ方と生活時間の実態 6. 家計のとらえ方【1】(家計とは何か) 7. 家計のとらえ方【2】(家計の実態) 8. 人間関係の捉え方と関係性の実態 9. ①ケイパビリティ・アプローチ・②生活手段でとらえる 10. 働くこと職業をもつこと【1】(職業労働の現状) 11. 働くこと職業をもつこと【2】(生活の社会化と家事労働) 12. 生活と福祉【1】(社会保障の仕組み) 13. 生活と福祉【2】(福祉と情報) 14. 生活と契約・消費者問題 15. ①ライフスタイルと環境・②持続可能な社会の生活設計 | | | | |
| 事前・事後学習について | 「生活する＝生きていく」とはどうゆうことか、意識して考えてみましょう。 (日ごろから新聞・テレビのニュースやネットニュースを見る習慣をつけ、気になる事柄を意識して考えてみてください。) | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 今、社会ではどんなことが起こっているのか、新聞・テレビのニュースやネットニュース等から 毎日 10 分程度 情報収集する習慣を身につけましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | 生活に関する基礎知識の理解、生活経営の現状と課題の理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 質問や意見等があれば、授業の中で積極的に発言してください。課題として取り上げます。議論していきましょう。 | | | | |
| 使用テキスト | 「持続可能な社会をつくる 生活経営学」日本家政生活経営学部会 編 朝倉書店. 2020 年 | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて随時、授業内で案内 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|-------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 衣生活概論 L13002 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 前澤 純子 | | | | |
| 授業の概要 | 消費者の視点から衣生活を捉え、被服の的確な選択と購入、快適な着方、清潔な管理などについて学習する。 加えて、衣服をあらゆる角度から学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 「日常の衣生活への関心を高める」 生活に密着した衣生活への知識の習得。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 衣服のはじまりと変遷(1) 着衣のはじまり 2. 衣服のはじまりと変遷(2) 流行について 3. 身のまわりの衣服と素材(1) 身のまわりの繊維製品 4. 身のまわりの衣服と素材(2) 衣服を構成する布、糸 5. 身のまわりの衣服と素材(3) 繊維の種類 6. 衣服の選択-色彩とファッション- 7. 体型に合わせた衣服の購入 8. 衣服を快適に着用するために 9. 衣服の清潔な管理(1) 着用による衣服の汚れ、性能変化 10. 衣服の清潔な管理(2) 家庭洗濯と商業洗濯 11. 衣服の清潔な管理(3) 洗濯以外の手入れ 12. 環境に配慮した衣生活 13. 進化する衣服性能と技術(1) 高性能衣服素材 14. 進化する衣服性能と技術(2) スポーツウェア 15. ユニバーサルデザイン・省エネ・災害への対応を考える 乳幼児から高齢者の衣服、災害時の衣服 | | | | |
| 事前・事後学習について | 新聞や雑誌等で衣服や繊維などに関する情報に目を向ける。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | テキストを読む時間として 10 分程度 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 100 | レポート | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 授業毎に、レポートが出ます。 | | | | |
| 使用テキスト | 消費者の視点からの衣生活概論 菅井清美・諸岡晴美 井上書院 | | | | |
| 参考書 | ファッションビジネス論 衣料管理士協会 マーケティング論 -アパレルビジネスのための- 衣料管理士協会 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 食生活概論 L13003 | 2 年前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 高木 一代 | | | | |
| 授業の概要 | 食文化の成り立ちや食生活の変遷に目を向け、社会の仕組みとの関わりにおいて食をとらえる意識を持つ。 社会環境の変化に伴い家族の形態やライフスタイルが大きく変わり、これらの問題は食生活のあり方へも影響を及ぼしていることを認識し、健康で豊かな食生活とは何かを考える。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・食文化や食嗜好の形成要因を捉え、自身の食生活へ立ち戻って考えることができる。 ・様々な食の課題に対する意識を高め、健康で豊かな食生活を構築するために重視すべき事項について理解できる。 ・社会の動きが食生活も含めた自分の生活へ及ぼす影響の大きさに対する認識を持つことができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活と衛生管理（手洗いの効果） 2. 食生活の概念（美味しそうな食事と、美味しくなさそうな食事） 3. 現在の食生活とエネルギー消費 生活記録をつけてみよう 4. 現在の食生活とエネルギー消費 生活記録から摂取エネルギーと消費エネルギーを計算してみよう 5. 社会の変化と食生活 6. 食生活に関わる諸問題 7. 世界の生活環境 異文化の融合 8. 食料自給率の変遷と食生活の変化 9. ふるさとの食文化を調べてみよう 10. ライフスタイルと食生活（乳幼児の食生活） 11. ライフスタイルと食生活（離乳期～思春期） 12. ライフスタイルと食生活（成人期～高齢期） 13. 間食のすすめ 14. 食物アレルギー 15. 災害に備える | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業内容を自分の問題として捉えるために、食生活に関連するテレビや新聞等の報道に関心を持つ。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 食に関する情報収集。(約 1 時間) | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 50 | 授業への取組み | | |
| | レポート | 50 | 食の課題に対する意識 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 意欲的に授業に臨んでください。 感染症の影響で対面授業が難しいと判断した場合、遠隔授業となる場合があります。 | | | | |
| 使用テキスト | 食と健康の科学 第 3 版 稲山貴代 大森玲子編著, 建帛社, 2023. | | | | |
| 参考書 | 「ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学」 關戸啓子編, メディカ出版, 2020. | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 住生活概論 L14004 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 篠田 尚幸 | | | | |
| 授業の概要 | 生活していく中で欠かせない住居。そこに住まう人々を中心に、住居を取り巻く環境を人々が快適に住むための様々な観点から考察し、豊かでな住生活のあり方を多面的に学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 住生活を支点に生活の様々な場面に目を向け、豊かな生活をみることのできる知識と視点を養う。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな建物 2. 歴史に学ぶ建築～温暖化と住居～ 3. 住生活と SDGs 4. 住居とアトリエ 5. 住環境と環境問題～ミナペルホネン・信州松本まち歩き～※レポート 6. 青森のBORO※レポート 7. 豊かさとはなにか：①住生活と生活道具（用の美） 8. 豊かさとはなにか：②住生活と民藝 9. 豊かさとはなにか：③アフガニスタン用水路が運ぶ恵みと平和※レポート 10. 豊かさとはなにか：④小さな森の家 11. 時代遅れの新しさ 12. 無駄のある家 13. 集まって住もう～目を養い手を練れ～ 14. 建築とヒューマニティー：建築とは誰のためにあるのか 15. ガウディの建築・生き方※レポート | | | | |
| 事前・事後学習について | 使用テキストや参考書に目を通すなどして、住生活をさまざまな角度からみてみましょう。レポートを課す授業回があります。課題と向き合うことで豊かな住生活とは何かを考えていきましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 使用テキストや参考書に目を通す時間（各々相違があると思います。じっくり取り組んでください。） | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 100 | 住生活に関する知識・思考・判断・感性：課題提出 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 身近である住環境に興味をもち、意欲的に臨んでください。課題であるレポートは評価を行った後、返却します。 | | | | |
| 使用テキスト | 「二十四節季に合わせ心と体を美しく整える」村上百代著 ダイアモンド社 「小さな森の家-軽井沢山荘物語」吉村順三著 建築資料研究社 「聴竹居」松隈章著 平凡社 | | | | |
| 参考書 | 「春夏秋冬のある暮らし」金田正夫著 風工社 「江戸時代はエコ時代」石川英輔著 講談社文庫 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 生活学演習 L12005 | 後期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 坂上 ちおり・今村 由香 | | | | |
| 授業の概要 | <p>社会人として必要な、基本的なビジネスマナーについて学ぶ。 履歴書にふさわしい文章表現について、知識を習得し、書く技術を身につける。 履歴書を作成し、模擬面接を経験する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>①社会人としての基本的ビジネスマナーについて、理解、習得することができている。 ②自身の進路希望に沿った、履歴書を作成することができる。 ③模擬面接（就職試験を想定）において、マナーの実践、自己表現をすることができる。</p> | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・就職活動ノートの全体像を把握する ※生活科学専攻の学習成果と学習成果ノートの記入 2. ビジネスマナー1 社会人としての心構え、身だしなみ、挨拶、入退室の方法 3. ビジネスマナー2 ことばづかい、敬語の基本用法 4. ビジネスマナー3 電話対応 5. ビジネスマナー4 来客対応 6. ビジネスマナー5 訪問のマナー、名刺交換、服装チェック 7. ビジネスマナー6 ビジネス文書、新聞からの情報収集 8. ビジネスマナー 中間テスト 9. 就職活動セミナー① 就職活動について知る 10. 就職活動セミナー② 志望職種について知る 11. 履歴書を書くために必要な知識と技術 12. 履歴書の作成と添削 13. 履歴書の作成と添削 14. 社会保険制度について知る 15. 履歴書に基づいた模擬面接会 ※生活科学専攻の半年間の学習成果の確認、ループリックの記入 | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>あなたは、将来どのような人になりたいと思っていますか。また、自分のどのようなところが素敵だと思っていますか。「今の自分」について、「これからの自分」について考えることは社会人に向かう第1歩です。</p> <p>この授業では、これからの自分を考えることと合わせて、社会人としての基本的なビジネスマナーをより実践的に学びます。さらにその学習成果の確認の機会として、履歴書作成と模擬面接を設けています。自分自身を成長させる機会として、積極的に取り組んでください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>事後学習として、毎回 30 分程度 授業内で配布するビジネスマナーのプリントを読みなおしてください。</p> | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 60 | ビジネスマナーの基本と応用の理解 | | |
| | 実践 | 20 | 模擬面接 | | |
| | レポート | 20 | 履歴書作成 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>中間試験および履歴書は、返却します。</p> | | | | |
| 使用テキスト | <p>学生課作製の就職活動ノート 適宜配布のプリント</p> | | | | |
| 参考書 | <p>特になし</p> | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|----------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 調理学及び調理実習 L11006 | 前期 | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 富口 由紀子 | | | | |
| 授業の概要 | この授業では、一班3～4人のグループで調理実習を行い、日本料理、西洋料理、中国料理を作ります。講義や実習を通して食品のもつ特徴や基本的な調理操作に関する理論を学び、調理技術の習得をめざします。 本講義は実務家教員の授業で、管理栄養士免許を有する教員が担当する科目である。食と栄養に関する実務家としての視点を交えて、学生に対して授業を展開していく。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・食品のもつ特徴や基本的な調理操作について説明できる。 ・調理器具や食材を衛生的に扱い、安全に留意して実習を行うことができる。 ・基本的な「切る」「炒める」「茹でる」「焼く」「蒸す」「揚げる」の調理操作が身につく。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <p>1-2. オリエンテーション・計量 身支度についてや調理室で調理実習を行うにあたっての注意事項を共有します。 また、調理操作の一つである計量について、計量カップや計量スプーンを用いて学びます。</p> <p>3-4. 白飯・味噌汁・即席漬け 炊飯の仕方、だしの取り方、包丁の使い方、野菜の切り方について学びます。</p> <p>5-6. かやくご飯・巣ごもり卵の清汁・ほうれん草の浸し 炊き込みご飯の調理、だしの取り方、野菜の茹で方について学びます。</p> <p>7-8. サンドイッチ・コーンスープ・フルーツサラダ 西洋料理の特徴、卵の調理特性について学びます。</p> <p>9-10. 魚のムニエル・野菜ポタージュ・カスタードプディング 卵の調理特性、西洋料理における汁物について学びます。</p> <p>11-12. 炒肉片・冷拌三糸・中国茶 中国料理の特徴・特殊食材、中華鍋の使い方について学びます。</p> <p>13-14. 炒米粉・白菜丸子湯・牛乳かん ビーフンや寒天の扱い方、肉の調理特性について学びます。</p> <p>15-16. 五目寿司・厚焼き卵・蛇腹きゅうり 日本料理の特徴、卵の調理特性について学びます。</p> <p>17-18. 鶏肉のコーンフレーク焼き・甘酢和え・けんちん汁 学校給食の特徴、意義、調理について学びます。</p> <p>19-20. ハンバーグステーキ・ポテトサラダ・ジュリエンスープ 肉や芋の調理特性について学びます。</p> <p>21-22. ポークカレー・トマトのサラダ・ヨーグルトゼリー 小麦粉やゼラチンの調理特性について学びます。</p> <p>23-24. 炸春捲・麻婆豆腐・白玉だんご 揚げ物の方法、豆腐の扱い方について学びます。</p> <p>25-26. 冷麦・魚の南蛮漬け・茶碗蒸し・水ようかん 麺類の調理の仕方、魚の下処理の仕方、卵や寒天の調理特性について学びます。</p> <p>27-28. 冷やし中華 麺類の調理の仕方、野菜の切り方、卵の調理特性について学びます。</p> <p>29-30. まとめ・実技試験 一人ずつ厚焼き卵を作ります。また、野菜の切り方テストを行い、包丁の使い方について確認します。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：実習で作る料理とそのレシピを事前に確認し、どのような手順をふめば効率よく調理ができるかを考えて実習計画表を作成してください（毎回グループで1部提出）。 事後学習：実習で作った料理を家でも作ってみてください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 次回の実習で作る料理とレシピを確認し、どのような手順をふめば効率よく調理ができるかを考えながら実習計画表を作成してください（担当時に30分程度）。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 30 | 実技試験（厚焼き卵、野菜の切り方テスト） | | |
| | 実践 | 30 | 実習態度・技能・思考・判断力・表現力・協調性 | | |
| | レポート | 40 | 毎回のレポートおよび最終レポートによる知識・理解・思考、提出状況 | | |
| その他 | 0 | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な持ち物（白衣、三角巾、タオル）は清潔なものを用いてください。 ・実習前に行う身支度チェックでは、上記持ち物の他、爪の長さ、マニキュアや装飾品の有無を確認します。 ・食物アレルギーのある学生は、事前に詳細を確認します。 ・提出レポートに関しては、毎回添削を行い返却します。 | | | | |
| 使用テキスト | 毎回、レシピプリントや授業プリントを配付します。 | | | | |
| 参考書 | 「調理実習の手引き」 飯田女子短期大学調理研究室 「NEW 調理と理論 第二版」 山崎清子・島田キミエ・渋川祥子・下村道子・市川朝子・杉山久仁子・米田千恵・大石恭子（共著）、同文書院、2024 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|---------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 社会学 L11007 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 武分 祥子 | | | | |
| 授業の概要 | 動物と人間の違いは社会をつくって生きているところです。人間は社会から逃れることはできず、社会との関係の中で生活を営むこととなります。そんな社会を科学的に分析するのが社会学です。社会学は180年という長い年月をかけて、先人たちが調査や実践によって理論を蓄積し、学問として構築してきました。歴史、家族、地域、産業、労働、消費、宗教、政治などあらゆる分野と社会学がいかに密接にかかわっているかを一緒に学んでいきましょう。 | | | | |
| 到達目標 | ①社会学の基本が理解できる ②授業で学びつつ、いまの自分の生活や取りまく環境を見つめることができる ③社会学の基本をもとに現代社会を分析できる | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 社会学を学ぶにあたって、I身近な世界から出発しよう①家族のかたち 2. I身近な世界から出発しよう②愛、結婚、関係 3. I身近な世界から出発しよう③男性と女性～性、役割 4. I身近な世界を分析する（個人ワーク） 5. II社会の謎と正体を探究する①社会と個人 6. II社会の謎と正体を探究する②社会が維持されるメカニズム 7. II社会の謎と正体を探究する③合理的選択 8. II社会の正体を分析する（個人ワーク） 9. III働き方と職場の人間関係①資本主義が生み出す平等と不平等 10. III働き方と職場の人間関係②サービス業と感情労働 11. III働き方と職場の人間関係③日本人の働き方 10. III働き方と人間関係を分析する（個人ワーク） 11. IV日常と非日常①消費をめぐること 12. IV日常と非日常②社会と宗教、日本人の宗教観 13. IV日常と非日常③民主主義とカフェ 14. IV日常と非日常を分析する（個人ワーク） 15. 全体を通して～社会学の目指すこと | | | | |
| 事前・事後学習について | 使用テキストを事前に1時間程度読んで授業に望んでください。授業後は自分の身の回りの生活環境を見つめ分析する意識を持つことで社会学の理解が深まります。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 準備学習は90分程度を要します。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 50 | 社会学の理解と分析の力(到達目標①②) | | |
| | 実践 | 40 | 4回の個人ワークの内容(到達目標②③) | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業の参加状況および発言(到達目標①) | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 積極的に参画することを望みます。4回の個人ワーク実践を通して、課題への取り組み状況や習熟度をフィードバックします。 | | | | |
| 使用テキスト | 出口剛司、大学4年間の社会学が10時間でざっと学べる、KADOKAWA、2019年 | | | | |
| 参考書 | 無し | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|---|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 経済学 L11008 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 吉沢 正広 | | | | |
| 授業の概要 | 本授業は経済学に関する基礎的な知識の習得を目的としています。経済学の基本的な考え方、主要な用語、日常的に目にする経済に関する用語などを学習します。私たちの日常生活のいたるところで生じている経済現象について理解する糸口が見つけられるような内容とします。学生の皆さんが経済学の学習を進める基礎を作り、さらに専門的な分野へ進める知識の共有を図り学生のキャリア作りに役立つ内容の授業を目指します。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 企業や会社を理解する経済学の知識が必要とされている。企業や会社における基礎的事項を理解できるようになる。 2. 会社や企業で要求される基礎的経済学を身に付けると共に、社会における経済情勢が理解できるようになる。 3. 経済新聞や経済雑誌の内容が理解できるようになる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 授業の進め方、成績について、初回授業（イントロ・希少性・財・サービス） 2. 経済主体・サービス・経済活動・経済用語・合理的な行動・経済学の特徴など 3. 暮らしと家計を理解する（消費や貯蓄） 4. 経済を支える企業の生産活動（生産活動など） 5. 国を支える政府の役割を理解する（国の政策） 6. 暮らしを支える金融を理解する 7. 経済成長とバブル経済とは何か 8. 日本経済の低迷と政策、人的資本の形成と働き方改革とは何か 9. 少子高齢化社会の社会保障制度、東日本大震災とコロナ以降の経済の課題 10. 日本経済の今日的課題（環境問題、ボランティアなどを理解する） 11. 行動経済学を概観する 12. 行動経済学とマーケティングの関係 13. 行動経済学のプロスペクト理論とは何か 14. 行動経済学のナッジ理論とは何か 15. 行動経済学に関する理論の内容を振り返り期末レポート作成 *授業の進捗状況により、内容の入れ替え等不規則となる場合がありますのであらかじめ了解をお願いします。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 予習：シラバスを参照し該当箇所を事前に読む 復習：当日学修した箇所を再度読み復習をする | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | ネットや本などを利用して、事前の準備することが必要です。所要時間は個人差がありますが、おおむね1時間以内が妥当と思っております。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 40 | 期末試験で授業を通して経済に関する理解が進んだかをみます | | |
| | 実践 | 10 | ミニット・ペーパーの提出など | | |
| | レポート | 40 | 7または8回、15回目の授業時に簡単なレポートを作成してもらいます(2回作成) | | |
| | その他 | 10 | 授業への積極的コミット（発言など） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | この科目は企業とビジネス（経営学）、社会学などの研究成果を取り入れているため、そうした関連科目を履修していることが望ましい。大学生のスタンスとして、教科書を準備する、授業中の周囲に迷惑となる私語はしない、など社会へ出るための準備をしてください。授業のフィードバックはミニット・ペーパー（簡単な記述）を利用して授業の確認を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 特に使用しません。授業の中でのPPtが中心になります。 | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて指示します。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 企業とビジネス I L11009 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 吉沢 正広 | | | | |
| 授業の概要 | 本授業科目の目的は、経営学についての基本的な内容について理解を得ることです。本授業で扱う経営学という学問は多くの研究対象があり、それらについて短期大学で初めて経営学を学ぶ学生に対して基礎的な内容から始めて、全体像が把握できるように学習を進めます。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 企業や会社は経営能力が必要とされている。組織の経営に課する基礎的事項を理解できるようになる。 2. 会社や企業で要求される基礎的経営知識を身に付けると共に、行動案を立案できるようになる。 3. 経済新聞や経済雑誌の内容が理解できるようになる | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | | | |
| 授業計画 | 1. 初回授業：授業の進め方、成績について、初回授業（企業経営の基礎的思考） 2. 企業の役割や方針を理解する 3. 企業をめぐる利害関係者 企業と顧客・消費者 4. 企業相互の経済的関係 お金と企業 5. 企業のステークホルダー ガバナンスとは何か 6. 企業の目的と社会的意義 経営方針や社会的責任 7. 企業の活動 生産活動や生産管理 8. マーケティングの基礎知識（1）マーケティングとは何か 9. マーケティングの基礎知識（2）市場の創造と調整 10. 人事と職場における働くヒト 11. 財務と会計とは何か 12. マネジメントの基礎知識 組織戦略 13. 企業の社会とのかかわり 企業倫理とコンプライアンス 14. 企業のイノベーション イノベーションとは何か 15. 授業の振り返りと期末レポート作成 *授業の進捗状況により、内容の入れ替え等不規則となる場合がありますのであらかじめ了解をお願いします。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 予習：シラバスを参照し該当箇所をネットや本で調べる 復習：当日学修した箇所を再度振り返り復習をする | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | ネットや本などを利用して、事前の準備することが必要です。所要時間は個人差がありますが、おおむね1時間以内が妥当と思われます。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 40 | 期末試験で授業を通して企業や会社について理解したかをみます | | |
| | 実践 | 10 | ミニット・ペーパーなどの提出 | | |
| | レポート | 40 | 7 または 8 回目、15 回目の授業時に簡単なレポートを作成してもらいます (2 回) | | |
| | その他 | 10 | 授業への積極的コミット (発言など) | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | この科目は経済学、社会学などの研究成果を取り入れているため、そうした関連科目を履修していることが望ましく、大学生のスタンスとして、科目の予習・復習をする、授業中の周囲に迷惑となる私語はしない、など社会へ出るための準備をしてください。授業のフィードバックはミニット・ペーパー（簡単な記述）を利用して授業の確認を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 吉沢正広編著『実学 企業とマネジメント』学文社、2018. をベースにして授業を構成しています。また2回のレポート内容は、上記吉沢編著の中から題材を選んで記述してもらいます。何らかの方法で整えてもらえるとうれしいです。 | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて指示します。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 企業とビジネスⅡ L12010 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 吉沢 正広 | | | | |
| 授業の概要 | 本授業は、企業とビジネス（1）を履修した学生に、さらに多くの経営学に関する内容を概説することを目的としています。（1）と同様に、経営学を通して社会の物事を見ることを学びます。経済社会で起きている様々な出来事を経営学ではどのように把握しているのかについて分かりやすい事例を用いて学習します。今後学生の皆さんがさらに経営学の学習を進め専門としたい分野を選択するための指針となるような内容を紹介しつつ、学生のキャリア作りに役立つ内容の授業を目指します。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や会社は経営能力が必要とされている。組織の経営に課する基礎的事項を理解できるようになる。 2. 会社や企業で要求される基礎的経営知識を身に付けると共に、行動案を立案できるようになる。 3. 経済新聞や経済雑誌の内容が理解できるようになる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロ 授業の進め方など説明 さまざまな会社形態など 2. 所有と経営の分離 株式会社と株主 3. 企業のトップマネジメント コーポレート・ガバナンスとは何か 4. 日本企業のコーポレート・ガバナンス改革 5. 人的資源管理 どのようなマネジメントか 6. 人的資源管理 人材育成 7. 日本の経営とは何か その形成と現在地 8. 経営組織の形態 9. マネジメント理論 科学的管理法 10. 人間関係論 ホーソン実験 11. 近代的な管理論 バーナードなど 12. 行動科学に基づく動機付け 動機づけ理論 13. 比較的新しい組織論の分野 組織間関係 14. マネジメントとは何か 15. マネジメント階層を確認し、期末レポートの作成 <p>*授業の進捗状況により、内容の入れ替え等不規則となる場合がありますのであらかじめ了解をお願いします。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>予習：シラバスを参照しネットや本で事前に調べる</p> <p>復習：当日学修した箇所を再度読み復習をする</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業準備の時間は個人差があります。自分に合った時間で予習を行ってください。概ね1時間以内が妥当と思われます。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 40 | 期末試験で授業を通して企業や会社について理解したかをみます | | |
| | 実践 | 10 | ミニット・ペーパーの提出など | | |
| | レポート | 40 | 7 または 8 回目、15 回目の授業時に簡単なレポートを作成してもらいます (2 回) | | |
| | その他 | 10 | 授業への積極的コミット (発言など) | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | この科目は経済学、社会学などの研究成果を取り入れているため、そうした関連科目を履修していることが望ましい。大学生のスタンスとして、予習・復習をする、授業中の周囲に迷惑となる私語はしない、など社会へ出るための準備をしてください。授業のフィードバックはミニット・ペーパー（簡単な記述）を利用して授業の確認を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 吉沢正広編著『実学 企業とマネジメント』学文社、2018. をベースにして授業を構成しています。また2回のレポート内容は、上記吉沢編著の中から題材を選んで記述してもらいます。何らかの方法で整えてもらえるとありがたいです。 | | | | |
| 参考書 | 必要に応じて指示します。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|---------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 保育学 L14011 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 坂上 ちおり・三浦 弥生・壬生 江美・友竹 浩之・青木 千恵美・松永 幸代・中山 | | | | |
| 授業の概要 | 人間の成長発達の過程で、乳幼児期の重要性を認識する。また、核家族化、女性の社会進出など子どもをとりまく社会や家庭環境の変化の中で、心身ともに健やかな成長を目指した保育のあり方を考える。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の重要性について理解する ・社会や家族の変化と保育のかかわりについて理解する ・健やかな成長を目指した保育について思考を深めることができる | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育を学ぶ 2. 子どもの発育・発達：①子どもの精神発達 3. 子どもの発育・発達：②アタッチメント 4. 子どもを育てる：①親の役割、社会の役割 5. 子どもを育てる：②親のかかわりとその影響 6. 子どもの発育・発達：③母体の健康管理と子どもの誕生～妊娠と出産～ ～新生児の特徴～ 7. 家庭における看護：①乳幼児健康診査 8. 家庭における看護：②小児の病気 9. 家庭における看護：③小児の病気と看護 10. 子どもが育つ環境の整備：①子どもの食生活 11. 子どもが育つ環境の整備：②子どもと造形(1) 12. 子どもが育つ環境の整備：③子どもと造形(2) 13. 子どもが育つ環境の整備：④子どもと絵本 14. 子どもが育つ環境の整備：⑤児童福祉・子育て支援(1) 15. 子どもが育つ環境の整備：⑥児童福祉・子育て支援(2)わいわい広場 | | | | |
| 事前・事後学習について | 具体的評価物として、初回にワークシート（1～15回）を配布します。授業の要点と受講した感想を書いてください。授業の最終回に提出します。その内容が成績に反映されます。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 今、子どもを取り巻く環境はどうなっているのか、どんな対策がなされているのかなど、新聞やネットニュースなどを毎日10分程度チェックしましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 100 | 保育に関する基礎知識の理解、保育に対する関心・考察 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 専門の教員による分担授業です。質問等はでき得る限り授業内で発言し、疑問を明らかにしてください。毎時間記入するワークシートは最終回に提出し、評価後に返却します。 | | | | |
| 使用テキスト | 「新保育学 改訂5版」、岡野雅子・松橋有子・熊澤幸子・武田京子・吉川はる奈 著、南山堂、2011年 | | | | |
| 参考書 | 授業内で適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|---------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | アパレル材料学 L12012 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 前澤 純子 | | | | |
| 授業の概要 | 布、繊維について知識を深めます。衣服の中で、その素材、繊維、特性を学び、身近な衣服の知識を深める。 | | | | |
| 到達目標 | 衣服を購入する際、または、仕事や生活で生地や繊維に関わる際には、その知識を活かして、適切な選択ができるようにする。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 序章 生活と衣服 2. 第1章. 繊維の種類と構造 3. 糸の種類と構造 (1) 糸の分類 4. 糸とより (2) 糸の番手 5. 第3章 布の種類と構造 6. 布の種類と構造. 織物 7. 布の種類と構造 編物 8. 布の種類と構造 不織布 9. 第4章 衣服素材の性質. 耐久性 10. 衣服素材の性質. 形態的性質 11. 衣服素材の性質. 寸法安定性 12. 衣服素材の性質. 防しわ性 13. 第5章 衣服素材の染色加工 14. 第6章 繊維科学技術の発展と開発 15. 第7章 衣服と資源・環境問題 | | | | |
| 事前・事後学習について | 衣生活概論やアパレル管理学と関連させて学習することにより理解が深まる。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業で扱った内容を 10 分程度復習しておく。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 100 | 授業内レポート | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 授業の終わりに小テスト、またはレポートを出します。 配布物と、教科書に書き込み、貼り付けていくので赤ペン、マーカー、ノリ、ハサミなどを持参する。 | | | | |
| 使用テキスト | 衣服材料学の科学 [第3版] 編著 島崎恒藏 建帛社 | | | | |
| 参考書 | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|---------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | アパレル管理学 L12013 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 前澤 純子 | | | | |
| 授業の概要 | 衣服の管理について学んでいく。洗濯での汚れが落ちるメカニズム。保管、収納についても学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 衣生活に活かせる洗濯や管理について、時代に寄り添った視点で知識を身に付ける。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 衣服の汚れ 汚れの種類 2. 洗濯用水と洗剤(1) 洗濯用水、市販洗剤 3. 洗濯用水と洗剤(2) 洗淨補助剤 4. 洗濯機 洗濯機の歴史と種類 5. 汚れ除去のメカニズム 界面活性剤の性質、機械作用 6. 洗淨力の試験法 洗濯のモデル化、汚染度の表示法 7. 家庭洗濯(1) 洗濯条件と洗淨力の関係 8. 家庭洗濯(2) 洗濯の手順と方法 9. 商業洗濯 ドライクリーニング、ランドリー、ウェットクリーニング 10. 漂白と増白 11. 糊つけと柔軟仕上げ 12. しみ抜き 13. 衣服の保管 14. 衣服の廃棄とリサイクル 15. 災害と衣服管理 | | | | |
| 事前・事後学習について | 日常の洗濯や、衣服の洗濯表示などに関心を持つ。洗濯する機会があるときは、授業内容を実践し、経験と失敗により学んでいく。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業で扱った内容を 10 分程度復習しておく。繊維関連のニュースに注意して見てみる。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 100 | 授業内レポート | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 授業の終わりに小テストまたはレポートを出します。 | | | | |
| 使用テキスト | 「衣服管理の科学」建帛社 片山倫子他 | | | | |
| 参考書 | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|---------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 栄養学 L12014 | 後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 岩瀬 彩香 | | | | |
| 授業の概要 | 人体における栄養素の基本的な働きを学ぶ。また、様々なライフステージにある人々の健康の保持・増進に寄与するため、栄養アセスメント、食事摂取基準、現代の食についても学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養素の役割を理解できる。 ・ からだのしくみと栄養素がどのように関係しているか理解できる。 ・ ライフステージや対象者ごとに必要な栄養管理について理解できる。 ・ 自分自身の食について振り返ることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人と栄養 2. 健康と栄養・食生活 3. 食品の成分と機能①（炭水化物、脂質） 4. 食品の成分と機能②（たんぱく質、ビタミン） 5. 食品の成分と機能③（ミネラル、その他の栄養素） 6. からだのしくみと栄養素の働き①（栄養素の消化） 7. からだのしくみと栄養素の働き②（栄養素の吸収） 8. 栄養状態の評価（栄養アセスメント） 9. 食事摂取基準と私たちの食生活 10. ライフステージと栄養①（妊娠・授乳期） 11. ライフステージと栄養②（乳幼児期） 12. ライフステージと栄養③（学童期・思春期） 13. ライフステージと栄養④（成人期・高齢期） 14. 日常生活と栄養 15. 現代社会の食と栄養（食の安全、食料自給率、食品ロス） | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前学習：テキストの該当箇所を一読し、授業に臨んでください。</p> <p>事後学習：授業内容を忘れないうちにノートにまとめ、理解を深めてください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>毎回、事前にテキストの該当箇所を読んで予習しておいてください。（30分程度）</p> <p>また、毎回の授業ごとに学んだことをノートにまとめてください。（1時間程度）</p> | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 70 | 栄養素や栄養管理の理解 | | |
| | 実践 | 30 | 取り組み状況、授業ノート、配付プリント | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 提出物は目を通し、返却します。返却時に、必要があれば補足します。 | | | | |
| 使用テキスト | 「健康づくりの栄養学」小林修平編著・燕木智子・松本範子・三宅義明著，建帛社 | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|----------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 臨床栄養実習 L12015 | 後期 | 実習 | 1 | |
| 担当教員 | 新海 シズ | | | | |
| 授業の概要 | 福祉施設入所者や在宅ケアにおいて、高齢者が安全でおいしく食事をするための理論を学び、適切な食品を選択し食事をつくるための手法を学ぶ。また、実習を通して高齢期における疾病・症状（糖尿病・高血圧症・嚥下困難）に対応した食事づくりを習得する。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がより高いQOLを目指し、安全でおいしく食べられる食事を理解する。 ・疾病・症状（糖尿病・高血圧症・嚥下困難）に対応した食事を理解し、調理することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の食事介護について 高齢者の精神・身体機能の特徴を理解し、食事改善の重要性を理解する 2. 味付けご飯の炊き方と調味割合、だし汁のとり方、ほうれん草のゆで方を理解するかやくご飯、豆腐の味噌汁、ほうれん草のごま和え 3. 麺類の種類と扱い方を理解する 魚の味噌煮、白あえの作り方を習得する 五目うどん、サバの味噌煮、白あえ 4. 軟菜食に向く食品と調理法を理解する 全がゆ、空也蒸し、かぼちゃのそぼろあんかけ 5. すし飯の作り方を習得する サバ寿司、けんちん汁、抹茶ミルクゼリー 6. 天ぷらの作り方を習得する 天ぷら、じゃがいもとわかめの味噌汁、おろし和え 7. 煮物の作り方を理解する 雑炊、魚の照り焼き、炊き合わせ、きゅうりとわかめの酢の物 8. 高齢者に好まれる西洋料理を理解する グラタン、サーモンのマリネ 他 9. 高血圧症の食事を理解する 食塩相当量 6g 以下の食事 10. 糖尿病の人の食事を理解する 1,600kcal の食事 11. 中等度口腔障害食を学ぶ 全粥、味噌汁とろみ付き、まぐろ月見風、かぼちゃマッシュ 他 12. 高齢者向きのおやつ さつまいもの茶巾しばり、クレープ、豆腐白玉のこしあんかけ、煎茶 13. 高齢者ソフト食 変りのり巻き、かぼちゃのがんも、りんごのコンポート 14. 咀嚼・嚥下障害がある人の食事を学ぶ 小田巻き蒸し、ほたてと鮭の寒天寄せ、スイートポテト 15. 行事食（雛祭り） ひな祭り寿司、蛤の潮汁、菜の花のおひたし、いちご | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：事前に配布する資料を、手順を考え実習計画表に書いて実習2日前までに提出する（グループで1部）。 事後学習：実習した料理を毎日の食生活の中で実践することで習得して下さい。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 前の週に配布したレシピをみて、作業手順を考え計画表に記載してください。（30分程度） | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 30 | 実習における意欲・態度・技能・思考力・判断力・協調性 | | |
| | レポート | 35 | 知識・理解 | | |
| | その他 | 35 | 各回の提出物による知識・理解 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 提出された実習計画表は、確認して事前に返却します。 味の評価表には目を通し、反省箇所など、次週実習の初めにコメントします。 | | | | |
| 使用テキスト | 毎回、資料を配布します。 | | | | |
| 参考書 | 「嚥下障害食のつくりかた」藤谷順子、金谷節子、林静子(著) 日本医療企画 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|---|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 生活文化演習 L13016 | 前期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 矢澤 清彰・大蔵 淳子 | | | | |
| 授業の概要 | さまざまな生活文化のなかで、特に「茶道」「華道」について学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 「茶道」「華道」を中心に講義を受けた後、演習を通して現代の生活の中に伝統的な文化を見出し、豊かな感性を養うことを目的とする。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <p>1. 茶道・華道とは</p> <p>2-8. 華道 (7回)</p> <p>※材料費として 6,000 円(1,000 円×6 回)が必要</p> <p>(1) 玄関の花 (おもてなしの心で生ける花)</p> <p>(2) センターピースの花 (テーブルの真ん中に飾ってどちらからでも楽しめる花)</p> <p>(3) プレゼントの花 (生けたお花をそのまま誰かにプレゼントする)</p> <p>(4) 行事の花 (母の日、七夕、バースデー、バレンタインデー等うれしい時に飾りたい花)</p> <p>(5) ゆれる花 (次元の違った空間に飾る花)</p> <p>(6) 自分のための花 (自分が作った器や好きな器に、自分で楽しんで生ける、自分自身のための花)</p> <p>(7) 床の間の花 (生花)</p> <p>9-15. 茶道 (7回)</p> <p>※菓子代として 1,288 円(184 円×7 回)が必要</p> <p>(1) 菓子とお茶について</p> <p>(2) 点前の構成</p> <p>(3) 割稽古</p> <p>(4) (5) 手前に挑戦</p> <p>(6) 茶の湯とは</p> <p>(7) お茶事の体験</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | 華道一伝統ある生け花から季節の移り変わりの中での植物の変化等を通して心豊かな人間性を身につける。 茶道一日本文化の茶道を学習して、”もてなし”とは何かをお茶事の体験から見つけて下さい。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 特に指定なし | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 60 | 授業への取り組み・授業態度 | | |
| | レポート | 20 | レポート(華道:各時間生けた花をスケッチ・感想を書き、レポートとして提出 /茶道:終了後レポートの提出) | | |
| | その他 | 20 | 演習成果を総合的に評価 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 意欲的に臨んでください。 | | | | |
| 使用テキスト | 授業の時指示 | | | | |
| 参考書 | 特に指定しない | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 実務英語 L11017 | 1年後期 | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 奥井 現理・ジョナサン・ヒギンズ | | | | |
| 授業の概要 | ビジネス英語を英語ネイティブ教員と日本人教員がペアで授業します。 | | | | |
| 到達目標 | テキストに掲載された教材で示される簡易なビジネス英語を理解することができる。 テキストに掲載される簡易なビジネス会話を英語で行うことができる。 英語の初級リーディングやリスニングに慣れることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | | | |
| 授業計画 | 1. Unit 1 This Is Our Company! [ウェブサイト] 2. Unit 2 A Taste of Italy! [レストランレビュー] 3. Unit 3 Which Floor? [フロア案内] 4. Unit 4 Frequently Asked Questions [よくある質問] 5. Unit 5 His Sundays, Her Hobbies [ブログ] 6. Unit 6 A Happy President! [雑誌記事] 7. Unit 7 Popular Products [今月の人気商品] 8. Unit 8 Save Money! [ディスカウントクーポン] 9. Unit 9 An Email from South Korea [問い合わせメール] 10. Unit 10 It's a Deal! [取引先へのメール] 11. Unit 11 Please Use the Stairs [故障のお知らせ] 12. Unit 12 Changes! [社内メモ] 13. Unit 13 Christmas Sale! [セールチラシ] 14. Unit 14 Customer Survey [アンケート] 15. Unit 15 Shota and Jennifer ... [友人へのメール] 第7-8回のどこかに一回、第14-15回のどこかに一回、それぞれスピーキングテストを行います。 毎回、ボキャブラリービルディング、リスニングと会話、リーディングなどの活動が行われます。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 提出物は毎回返却されますので、それを用いた反復学習がお勧めです。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 必要に応じて90分程度のテキスト予習復習をしましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 50 | スピーキングテストで評価します。 | | |
| | 実践 | 50 | 毎回の提出物で評価します。 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 英語ネイティブ教員と日本人教員のペアが授業を行います。日本人教員は日本語でのサポートを行いますが通訳ではありませんので、頑張って英語を話したり書いたりしてみましょう。 | | | | |
| 使用テキスト | 『Good Choice! Basic Grammar for College Students 新入社員ショウタと学ぶ大学基礎英語』 津村修志 / Anthony Allan / 吹原顕子 / 加賀田哲也 / 小磯かをる / 前田和彦 / 盛岡貴昭 著 | | | | |
| 参考書 | 辞書は高校で使っていたようなもので十分ですが、大学生らしい辞書を使ってみたいという人は、研究社『リーダーズ英和辞典』を使うといいでしょう。 | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|---------------------------------------|------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | ビジネス情報処理 I L11018 | | | 後期 | 演習 | 1 | | | | |
| 担当教員 | 篠田 恵 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 情報処理（前期）の学習を土台とし、Microsoft Word 2024 の様々な機能を効果的に使いこなすスキルを段階的に身につけ、資格試験（マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）試験）に挑戦する。資格試験対策学習を通じ、PC を使う実務力を伸ばす。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | Microsoft Word の利用スキルを証明できる資格（マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）試験）に対応した知識や技術の修得を目指す。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | | |
| 授業計画 | 1. マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）試験について 学習スケジュール表の記入、Teams の登録 出題範囲 1 文書の管理(1) 2. 出題範囲 1 文書の管理(2)、確認問題 3. 出題範囲 2 文字、段落、セクションの書式設定(1) 4. 出題範囲 2 文字、段落、セクションの書式設定(2)、確認問題 5. 出題範囲 3 表やリストの管理(1) 6. 出題範囲 3 表やリストの管理(2)、確認問題 7. 出題範囲 4 参考資料の作成と管理、確認問題 8. 出題範囲 5 グラフィック要素の挿入と書式設定(1) 9. 出題範囲 5 グラフィック要素の挿入と書式設定(2)、確認問題 出題範囲 6 文書の共同作業の管理、確認問題 10. 模擬試験プログラムの使い方、習熟度チェック表の記入、第 1 回 模擬試験 11. 第 1 回模擬試験ポイント解説、第 2 回 模擬試験 12. 第 2 回模擬試験ポイント解説、第 3 回 模擬試験 13. 第 3 回模擬試験ポイント解説、第 4 回 模擬試験 14. 第 4 回模擬試験ポイント解説、第 5 回 模擬試験 15. 第 5 回模擬試験ポイント解説、ランダム試験 | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | テキストの各セクションに理解度チェックの項目があります。 授業前、授業後に自分の理解度を確認し、不確実な部分はしっかり復習しましょう。 確認問題は宿題になる場合もあります。 | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | テキストの理解度チェック 事前事後各 30 分程度 確認問題 事後 20～50 分程度（個人差あり） | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 100 | マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）模擬試験（ランダム試験） | | | | | | | |
| | 実践 | 0 | | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | テキスト、学習スケジュール表、習熟度チェック表を活用し、各自の理解度をチェックしながら進めます。 確認問題でしっかり復習しながら進めましょう。 模擬試験プログラムを活用し、各模擬試験が 100%になるまで繰り返し実習しましょう。 確認問題などの課題提出は、Teams を基本とします。 | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word 365 対策テキスト&問題集 （FOM 出版 2023 年） | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|--|------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | ビジネス情報処理Ⅱ L12019 | | | 前期 | 演習 | 1 | | | | |
| 担当教員 | 篠田 恵 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>情報処理（前年）の学習を土台とし、Microsoft Excel 2024 の様々な機能を効果的に使いこなすスキルを段階的に身につけ、資格試験(マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) 試験)に挑戦する。</p> <p>資格試験対策学習を通じ、PC を使う実務力を伸ばす。</p> | | | | | | | | | |
| 到達目標 | Microsoft Excel の利用スキルを証明できる資格(マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) 試験)に対応した知識や技術の修得を目指す。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) 試験について 学習スケジュール表の記入、Teams の登録 出題範囲 1 ワークシートやブックの管理(1) 2. 出題範囲 1 ワークシートやブックの管理(2) 3. 出題範囲 1 ワークシートやブックの管理(3) 4. 出題範囲 2 セルやセル範囲のデータの管理(2) 5. 出題範囲 2 セルやセル範囲のデータの管理(2) 6. 出題範囲 3 テーブルとテーブルのデータの管理 7. 出題範囲 4 数式や関数を使用した演算の実行 8. 出題範囲 5 グラフの管理(1) 9. 出題範囲 5 グラフの管理(2)、模擬試験プログラムの使い方 10. 模擬試験プログラムの注意事項、攻略方法、習熟度チェック表の記入 第 1 回 模擬試験 11. 第 1 回模擬試験ポイント解説、第 2 回 模擬試験 12. 第 2 回模擬試験ポイント解説、第 3 回 模擬試験 13. 第 3 回模擬試験ポイント解説、第 4 回 模擬試験 14. 第 4 回模擬試験ポイント解説、第 5 回 模擬試験 15. 第 5 回模擬試験ポイント解説、ランダム試験 | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>テキストの各セクションに理解度チェックの項目があります。</p> <p>授業前、授業後に自分の理解度を確認し、不確実な部分はしっかり復習しましょう。</p> <p>確認問題は宿題になる場合もあります。</p> | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>テキストの理解度チェック 事前事後各 30 分程度</p> <p>確認問題 事後 20～50 分程度（個人差あり）</p> | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 100 | マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) 模擬試験 (ランダム試験) | | | | | | | |
| | 実践 | 0 | | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>テキスト、学習スケジュール表、習熟度チェック表を活用し、各自の理解度をチェックしながら進めます。</p> <p>確認問題でしっかり復習しながら進めましょう。</p> <p>模擬試験プログラムを活用し、各模擬試験が 100%になるまで繰り返し実習しましょう。</p> <p>確認問題などの課題提出は、Teams を基本とします。</p> | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | <p>よくわかるマスター</p> <p>Microsoft Office Specialist Excel 365 対策テキスト&問題集 (FOM 出版 2023 年)</p> | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|-----------------------------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | 保健統計 | L11020 | 後期 | 演習 | 1 | | | | |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 統計の基礎知識を確認しながら、実際に Excel2024 を用いて模擬データの統計処理を行います。統計の基礎知識を確認したのち、基本的な保健統計の集計のあり方や読みとり方について学びます。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 1. 統計の基礎知識が理解できる 2. Excel2024 を用いて統計処理ができる 3. 保健統計調査を読み取ることができる | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | 1. データの種類とまとめ方:①データの種類と代表値 (平均値と標準偏差) 2. データの種類とまとめ方:②データの種類と代表値 (中央値と四分位) 3. データの種類とまとめ方:③表と図の利用 4. データの種類とまとめ方:④代表的な確率分布 5. 2 種類データの関係性:相関と回帰 6. 1～5 (代表値・ばらつき・相関等) のまとめ 7. 検定の基礎:①推定と検定 8. 検定の基礎:②t 検定 9. 検定の基礎:③分散分析 10. 検定の応用:①順序があるデータの検定 11. 検定の応用:②分類されたデータの検定 12. オッズ比とリスク比 13. 7～12 (データの検定等) のまとめ 14. 保健統計調査:①人口静態統計・人口動態統計・生命表 15. 保健統計調査:②基幹統計/基礎的な統計調査・医療経済統計/疾病・障害の定義と分類 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業では解説の後に課題の演習を行います。基本的には時間内に提出して貰いますが、演習で時間内にできなかったところがあれば、次の授業時間までに学習しておきましょう。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 特に Excel 処理が苦手な人は情報処理等の授業の復習を行きましょう。操作等で困ったことがあれば、授業中または時間外に担当教員に確認してください。テキストにそって授業展開します。予習復習としてテキストに目を通してください。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 0 | | | | | | | |
| | 実践 | 90 | 保健統計の理解と Excel 処理方法の理解：課題提出 | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | |
| | その他 | 10 | 保健統計への関心・意欲・態度 (演習への取り組み状況) | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 演習でわからないところは、その都度質問してください。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 「ていねいな保健統計第 2 版」白戸亮吉・鈴木研太, 羊土社, 2022. | | | | | | | | |
| 参考書 | 「できるやさしく学ぶ Excel 統計入門」羽山博・できるシリーズ編集部, インプレス, 2023. 「統計学の基礎から学ぶ Excel データ分析の全知識」三好大悟・堅太洋資, インプレス, 2023. | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|------------------------|-------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | ファッション I | L11021 | 前期 | 講義・実習 | 2 | | | | | |
| 担当教員 | 前澤 純子 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 自分がデザインした「ブラウス」を1着作る。 授業を通して、縫製と衣類の基礎知識を学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・流行を取り入れ、アイデアと発想力を養う。 ・製作過程で、洋裁、衣服の基礎知識と技術を身につける。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | ○ | | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ブラウスデザイン。デザイン。原型作図。 2. 作図。 3. 作図。衿、袖。カフス。 4. 型紙化。 5. 生地裁断。 6. 縫製準備、接着芯、ロックミシン。 7. 縫製。 8. 縫製。身頃。 9. 縫製。肩、身返し、裾。 10. 衿作り。 11. 衿付け。 12. 袖作り。 13. 袖付け。 14. ボタンホール。 15. ボタン付け。仕上げ。総評。 | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 洋裁全くの初心者も受講可能。 配られた配布物は、ファイリングし、全て保管する。 | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 日常的にメディアを通して流行に敏感に、ファッションを楽しむ。 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 0 | | | | | | | | |
| | 実践 | 90 | 作品の完成度。取り組む姿勢。 | | | | | | | |
| | レポート | 10 | 最後の授業に配布物とレポートをまとめて提出。 | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・完成を想像する。 ・物作りが好き。 ・着た自分を想像する。 | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 文化学園大学 ファッション造形学講座 春夏アイテム I ブラウス/スカート 服装造形学科編 文化出版局 2015 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 「改訂版・服飾造形講座 3 ブラウス・ワンピース」文化服装学院編 文化出版局 2009 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|------------------------|------|-----|-----------|--|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | | |
| 科目名 | ファッションⅡ | L42022 | 後期 | 演習 | 2 | | | | | |
| 担当教員 | 前澤 純子 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>自分がデザインしたカジュアルコーディネートを作成する。 制作例：ワンピース。トップス+パンツ。ブラウス+スカート。セットアップ。和風コーディネート。コスプレ。 授業を通して、縫製と衣類の知識を学ぶ。</p> | | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 流行を取り入れ、アイデアと発想力を養う。 製作過程で、洋裁、衣服の基礎知識を身につける。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> デザイン。デザイン。原型作図。 作図。身頃。 作図。衿。袖。カフス。 型紙化。 生地裁断。 縫製準備、接着芯、ロックミシン。 縫製。 縫製。身頃。 縫製。肩、身返し、裾。 衿作り。 衿付け。 袖作り。 袖付け。 ボタンホール。 ボタン付け。仕上げ。総評。 | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>洋裁初心者も受講可能。 配られた配布物は、ファイリングし、全て保管する。</p> | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 日常的にメディアを通して流行に敏感に、ファッションを楽しむ。 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 0 | | | | | | | | |
| | 実践 | 90 | 作品の完成度。 | | | | | | | |
| | レポート | 10 | 最後の授業に配布物とレポートをまとめて提出。 | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>上記進行状況よりも個人で制作が遅れる場合は、宿題になることもあります。 基本的には授業内で制作していきます。 ファッション1をとってなくても受講できます。全くの初心者でも構いません。</p> | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | <p>以下の中から自分の制作する物の教科書を選ぶ。(買うか買わないかは、前期のうちに要相談) 文化学園大学 ファッション造形学講座 4 春夏アイテム2 ワンピース 文化学園大学 ファッション造形学講座 10 特殊素材2 透ける素材/フォーマル素材 文化学園大学 ファッション造形学講座 9 特殊素材1 ニット素材 文化学園大学 ファッション造形学講座 5 秋冬アイテム1 カラーレスジャケット/スカート 文化学園大学 ファッション造形学講座 6 秋冬アイテム2 テーラードジャケット/パンツ 文化学園大学 ファッション造形学講</p> | | | | | | | | | |
| 参考書 | <p>「改訂版・服飾造形講座3 ブラウス・ワンピース」文化服装学院編 文化出版局 2009 文化学園大学 ファッション造形学講座 春夏アイテムI ブラウス/スカート 服装造形学科編 文化出版局 2015</p> | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------------------|------|-----|-----------|--|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | | |
| 科目名 | ファッションⅢ | L43023 | 前期 | 演習 | 2 | | | | | |
| 担当教員 | 前澤 純子 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 1つの全身コーディネート（フォーマル）を作製する。自分のデザインによる作品を作る。 作品例：ワンピース、ドレス、スーツ、コート、アンサンブル、ハーフコート＋スカート、ウェディングドレス。ウェディングドレスや、スーツ等を製作希望の場合はⅡとファッションⅢを合わせて1年かけて製作も可能。コスプレ。 全員が違うテーマで進んでいくため、個別指導型授業。よって、ファッションⅠ、Ⅱを受講していない人でも受講可能。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・流行を取り入れ、アイデアと発想力を養う。 ・製作過程で、洋裁、衣服の基礎知識を身につける。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. デザイン作図 2. 作図、型紙 3. パターン 4. 型紙、裁断 5. 印つけ。ロック。芯。テープ。 6. 縫製。身頃。 7. 縫製、えりぐり、袖ぐり。 8. 裏地見返し、裁断。 9. 裏地見返し、縫製。 10. 縫製。衿。袖。 11. 内部構造の仕上げ。 12. 装飾。 13. 装飾。 14. 装飾。 15. 仕上げ。完成発表。総評。 | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 初心者、ファッションⅠもⅡも受講していない人も受講可能。 配られた配布物は、ファイリングし、全て保管する。 | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 日常的にメディアを通して流行に敏感に、ファッションを楽しむ。 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 0 | | | | | | | | |
| | 実践 | 90 | 作品の完成度 | | | | | | | |
| | レポート | 10 | 最後の授業時にレポートをまとめて提出 | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 上記進行状況よりも制作が遅れる場合は、宿題になることもあります。 基本的には授業内で制作していきます。 ファッション1と2を履修していなくても受講可能。全くの初心者でも構いません。 | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | <p>原則、自分の制作するものに従って購入してください。</p> <p>文化学園大学 ファッション造形学講座4 春夏アイテム2 ワンピース 文化学園大学 ファッション造形学講座10 特殊素材2 透ける素材/フォーマル素材 文化学園大学 ファッション造形学講座9 特殊素材1 ニット素材 文化学園大学 ファッション造形学講座5 秋冬アイテム1 カラーレスジャケット/スカート 文化学園大学 ファッション造形学講座6 秋冬アイテム2 テーラードジャケット/パンツ 文化学園大学 ファッション造形学講座7 秋冬アイテム3 コート</p> | | | | | | | | | |
| 参考書 | <p>「改訂版・服飾造形講座3 ブラウス・ワンピース」文化服装学院編 文化出版局 2009 文化学園大学 ファッション造形学講座 秋冬アイテムⅠとⅡ 文化出版局 2015 文化女子大学講座 服装造形学 技術編Ⅲ フォーマル編 文化出版局 2015</p> | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 染織基礎 L41024 | 前期 | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 染め、織りの基礎技法を学び、作品を制作する。 この授業は、1年後期以降の授業（染め1、染め2、織り1、織り2、卒業制作）へ発展させるための基礎科目として設定され、1科目で染め織り両方を学ぶことができる。 | | | | |
| 到達目標 | 染め、織りの基本を理解できる。 ・ 摺込、浸染、縫い絞りの技法を用いて、天然繊維を顔料や染料で染めることができる。 ・ 染織の道具の名称を覚え、使うことができる。 ・ 織物の基本的な構造を理解し、織ることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <p>◆はじめての染め</p> <p>1. オリエンテーション 技法「板締め」（板で布を挟む、染料で染める） 制作するもの：ハンカチ、スカーフ 板締め 技法紹介、布を折りたたむ、板ではさむ 染色（藍染）</p> <p>2. 技法「縫い絞り」（糸で布を括る、染料で染める） 技法紹介と練習、デザイン、縫い1</p> <p>3. 縫い2</p> <p>4. 縫い3</p> <p>5. 糸を絞る、染色準備</p> <p>6. 染色、摺込の説明</p> <p>7. 糸をほどく 技法「摺込」（型紙を彫り、布を顔料で染める） 制作するもの：インテリアファブリック、マルチクロス等から1つ選択 技法紹介と練習、デザイン、型彫り1</p> <p>8. 型彫り2、顔料の調合、摺込1</p> <p>9. 摺込3</p> <p>10. 摺込4、仕上げ</p> <p>◆はじめての織り</p> <p>11. 技法「ブンデンローゼンゴン」 制作するもの：木製フレームで飾る織物 パターンの組み合わせを考える、色糸を選ぶ 木製フレーム作り、経糸張り</p> <p>12. 織る1</p> <p>13. 織る2</p> <p>14. 織る3</p> <p>15. 織る4、仕上げ、講評</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前学習： 日頃から、自然の風景、絵画、彫刻、工芸など様々な作品にふれ、美しい色あい、かたちに気づけるよう心がけましょう。そして、それらの写真や印刷物などをノートやクロッキー帳にまとめることをお勧めします（スクラップブック）。インターネットで見つけた参考資料も、自分の見やすい方法で1つにまとめておくとよいです。</p> <p>事後学習： 制作に遅れがでた場合は、授業以外に時間を作り、制作してください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 時間では測れませんが、常にノートかクロッキー帳を携帯し、アイデアがひらめいた時すぐ描きとめられるようにしましょう。特に課題制作のデザインを考える際に役立ちます。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品（技法の習得、発想、構造の確かさ、色彩） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 作品の講評を行います。 欠席した場合は、空き時間に遅れを取り戻してください。 判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 田中秀穂監修「テキスタイル 表現と技法」武蔵野美術大学出版局 2010 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 染め I L42025 | 通年（後期） | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 大藏 光彦 | | | | |
| 授業の概要 | 型染は防染方法により種々デザインに豊かな表情が生まれます。 イメージから完成まで一貫作業を経験し手仕事を習得する。小作品を制作し、作業に馴れる。 | | | | |
| 到達目標 | 自分のイメージを伝統工芸である型染技法により現代に相応しいデザインを生み出す事に期待する。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | 1 オリエンテーション（型染原物調査） 2 型染制作、地白型デザイン（単純図形） 3 デザイン図を型紙へ転写し彫る。 4 型紙に紗張り、型糊置き、乾燥。 5 顔料を乳鉢ですり潰す。 6 型付け糊が乾いたらにじみ止め地入をする。 7 顔料を豆汁で溶き色差しをする。 8 蒸し器で染布を蒸し、水洗乾燥。 9 藍染制作（小巾綿生地）地染型デザイン制作。 10 型紙を彫る。 11 型付糊置き、おが粉を篩でかける。 12 糊乾燥後、豆汁地入れをする。 13 型染を藍に入れ染色、後処理。 14 地白型、地染型を使用し、樹脂顔料にてステンシル制作。 15 講評 | | | | |
| 事前・事後学習について | 日頃からデザインを考える訓練に慣れる | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 予習、復習それぞれ、30分程度必要。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 80 | 作品完成度、オリジナリティ | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 20 | 受講態度、取り組み姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 課題提出 | | | | |
| 使用テキスト | 適宜配布 | | | | |
| 参考書 | テキスト「表現と技法」 武蔵野美術大学出版局 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|-------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 染めⅡ L41026 | 前期 | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 大藏 光彦 | | | | |
| 授業の概要 | 友禅染、ステンシル、オパール加工の制作をする。 | | | | |
| 到達目標 | 友禅染、ステンシル、オパール加工の独創的的制作ができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（友禅染、ステンシル、オパール加工） 友禅糊作り（もち粉、白糠、塩、亜鉛粉末） 2. デザイン（立体装飾、壁面装飾、布絵本）から選択 下絵制作、生地選択 3. 小布へ下絵描き写す。 友禅糊の自由な練習（太細表現） 4. 友禅糊の下絵に添う練習 糊の各種引き方の練習 5. 糊置きした小布を試し染め 6. 下絵を描き写した小布へ友禅糊置き 7. 糊置き完成小布を彩色前下処理 小布彩色 1 樹脂顔料 8. 小布彩色 2 樹脂顔料 9. 小布彩色部分へ伏せ糊を施す。 （マスキング防染） 10. 地色染め、樹脂顔料 乾燥後、水洗仕上げ、講評 11. ステンシル技法紹介 型紙（ラミネートフィルム） 下絵描き後、型彫り 12. 色差し（スポンジ、丸刷毛） 13. オパール加工技法紹介 下絵描き後（布海苔液マスキング） オパール加工糊置き 14. オパール加工糊置き後下処理 彩色 1 樹脂顔料 15. 彩色 2 樹脂顔料、水洗仕上げ 講評 | | | | |
| 事前・事後学習について | 日頃より、視、聴、臭、味、触 の五感を養い受けたイメージから表現する訓練が、役立つ。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 時間では測れませんが、常にノートかクロッキー帳を携帯し、アイデアがひらめいた時すぐ描きとめられるようにしましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 80 | 作品（創造力と発想力） | | |
| | レポート | 10 | 作者の 満足感、達成感 | | |
| | その他 | 10 | 制作中の熱意 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 作品講評をします。 | | | | |
| 使用テキスト | 適宜紹介 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 織り I L42027 | 後期 | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 平織、斜文織、縺子織の技法を学ぶ。 様々な糸をさわり、色とテクスチャーについて研究し、作品を制作する。 | | | | |
| 到達目標 | 平織、斜文織、縺子織を織り、その構造について理解できる。 経糸と緯糸で構成される色と様々な繊維素材によるテクスチャーの違いを感じとり、表現につなげることができる。 織機と道具について、名称を覚え適切に使うことができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 作品紹介、糸の種類と織り方について 平織、斜文織、縺子織サンプル作り 整経 1 2. 整経 2、粗筈、機仕掛け 1 3. 機仕掛け 2、織る（平織～斜文織） 4. 織る（斜文織～縺子織） 5. 織る（縺子織）、仕上げ 6. デザイン（テーブルランナー、クッションカバー、ウォールハンギングなどから一つ選択） 素材 色 組織を考える、染色準備 7. 染色（シリアス染料またはダイヤモンドファースト染料） 8. 糸巻き、整経 9. 機仕掛け 1 10. 機仕掛け 2 11. 織る 1 12. 織る 2 13. 織る 3 14. 織る 4 15. 織る 5、仕上げ、展示方法について考える、講評 | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前学習：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、自然の造形や、絵画、彫刻、工芸など様々な作品にふれ、美しい色あい、かたちに気づけるよう心がけましょう。そして、それらの写真や印刷物などをノートやクロッキー帳にまとめることをお勧めします（スクラップブック）。インターネットで見つけた参考資料も、自分の見やすい方法で1つにまとめておくとよいです。 ・美術館等で本物を見る機会を増やすことが望ましいです。 ・自然観察の時間をつくりましょう。 <p>事後学習：</p> <p>制作に遅れがでた場合は、授業以外に時間を作り、制作してください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 時間では測れませんが、常にノートかクロッキー帳を携帯し、アイデアがひらめいた時すぐ描きとめられるようにしましょう。特に課題制作のデザインを考える際に役立ちます。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品（技法の習得、発想、構造の確かさ、色彩） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業、制作に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 欠席した場合は、空き時間に遅れを取り戻してください。 判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 田中秀穂監修「テキスタイル 表現と技法」武蔵野美術大学出版局 2010 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 織りⅡ L43028 | 前期 | 講義・実習 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | この授業では、糸、糸になる前の繊維（原毛、原麻など）、布を使い、綴織、裂織で織ります。自由課題では、綴織や裂織、「織りⅠ」であつかった平織・斜文織・それらの変化組織のいずれかを選び、制作します。繊維の美しさ、おもしろさを感じ取り、自分にとっての「美しい表現」「おもしろい表現」を見つけましょう。展示方法によって作品の見え方が変わることを知り、空間を意識した展示方法も研究します。 | | | | |
| 到達目標 | 綴織、裂織の技法を理解し、織ることができる。 素材を活かした表現ができる。 展示方法を考える力を身につける。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 技法の紹介、展示方法、布と空間、光 照明効果 木枠で織る「綴織」経糸張り 2. 「綴織」基礎1 3. 「綴織」基礎2 4. 「綴織」素材研究（緯糸で楽しむ） 5. 自由制作（テーブルランナー、ウォールハンギング、インスタレーションなどから一つ選択）、染色準備 6. 染色 7. 糸巻き、整経 8. 機仕掛け1 9. 機仕掛け2 10. 織る1 11. 織る2 12. 織る3 13. 織る4 14. 織る5 15. 織る6、仕上げ、壁面・空間に展示、講評 | | | | |
| 事前・事後学習について | 「素材の美しさ」「展示方法による見え方のちがい」を見つけてもらいたと思います。斬新な発想も期待しています。伝統技法にこだわらず、自由な発想で制作してください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 素材の美しさを感じるために、映像ではなく実物（動物、植物の葉や幹、空、土などの自然物）をよく観察しましょう。されるものはさわり、触覚を研ぎ澄ませましょう。絵画、彫刻をなるべく多く観に行きましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品（発想、構成力、配色） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 欠席した場合は、空き時間にテキストを読む、制作するなどして遅れを取り戻してください。判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | プリントを配布。 参考作品の写真、実物を紹介します。 | | | | |
| 参考書 | 「テキスタイル 表現と技法」 田中秀穂監修 武蔵野美術大学出版局 2010 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | テキスタイルアート L44029 | 前期 | 演習 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 「パンチニードル」「和紙を使った表現」を学びます。 空間に展示し、一つの作品が展示の仕方によって見え方が大きく変わることを感じ取ります。 | | | | |
| 到達目標 | 様々なテクスチャーの布、布になる前の糸、糸になる前の繊維を知り、その美しさ、面白さを感じることができる。 インスタレーションについて理解できる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. テキスタイルアートとは？ 作品紹介（写真、実物資料） 課題1「インスタレーション 空間造形」 2. 技法：パンチニードル 糸の刺し方の練習、色系の組み合わせをためす 空間造形を意識してデザインを考える1 3. 空間造形を意識してデザインを考える2 色系を刺す1 4. 色系を刺す2 5. 色系を刺す3 6. 仕上げ 7. インスタレーションとして学内のどこか（染織棟、グラウンド、本館など）に設置し、効果を見る。 8. 課題2「和紙」素材研究1 9. 素材研究2 10. 和紙を使った造形表現1 11. 和紙を使った造形表現2 12. 和紙を使った造形表現3 13. 和紙を使った造形表現4 14. 和紙を使った造形表現5 15. 仕上げ、空間を意識して展示する。照明を考える。講評 ※履修生の興味関心により内容を変更する場合があります。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 「素材そのものの美しさ」を見つけてもらいたいと思います。 斬新な発想も期待しています。伝統技法にこだわらず、自由な発想で制作してください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 素材の美しさを感じるために、映像ではなく実物（動物、植物の葉や幹、空、土などの自然物）をよく観察しましょう。 されるものはさわり、触覚を研ぎ澄ませましょう。 絵画、彫刻なども、なるべく多く観に行きましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品（発想、構成力、配色） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 欠席した場合は、空き時間に制作するなどして遅れを取り戻してください。 判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | プリントを配布 参考作品を紹介 | | | | |
| 参考書 | 「テキスタイル 表現と技法」田中秀穂監修 武蔵野美術大学出版局 2010 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|--------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | イラスト L42031 | 後期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 北村 月香・吉沢 さやか | | | | |
| 授業の概要 | チョークアートボードとワイヤーによる立体表現について学び、制作する。 | | | | |
| 到達目標 | 自分のオリジナルデザイン（イラストと文字の組み合わせ）によるチョークアートボードを描くことができる。 ワイヤーを使い立体作品を制作できる（1 作品以上）。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | 1 オリエンテーション キットパス(画材)にふれる 2 窓ガラス アート制作 3 立体（植物）を描く 4 チョークアート、黒板制作 5 デザイン制作 6 本制作 1 7 本制作 2 8 仕上げ 9 ワイヤーを使い、動物（ひつじ）を制作 1 10 ワイヤーを使い、静物を制作 2 11 表現したいモチーフを考える（資料収集） 1 12 表現したいモチーフを考える（資料収集） 2 13 本制作 1 14 本制作 2 15 本制作 3、発表 | | | | |
| 事前・事後学習について | 黒板や窓ガラスなど無機質な場所でアートを作り出す方法を楽しみ、手描きの温かみのある作品づくりに取り組みます。 日頃から、人、物、動物をよく観察してください。よく観察することで自己表現へとつなげていきましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 特になし | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作への姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 作品の講評、指導等を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 必要に応じてプリントを配布 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|-----------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 色彩学及び演習 L41032 | 前期 | 講義・演習 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 光と色の関係、混色、色の表示と分類、心理的効果など色彩の基礎を学ぶ。 染織技法「ろうけつ染」を学び、制作する。 ※色彩検定3級を受験する場合、11月に本学で試験を行います(団体受験)。前期「色彩学及び演習」と後期「色彩コーディネート演習I」を併せて履修する必要があります。 | | | | |
| 到達目標 | 光と色の関係、色の表示、日本色研配色体系、心理的効果といった色彩の基本的な知識を身につける。 色を楽しむ表現として、染織技法「ろうけつ染」で布を染めることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <p><講義・作品制作> テキストの内容理解のために、絵画や絵本、染色技法で制作する時間があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 光と色 2. 眼の仕組み、照明の色と見え方 3. 混色 4. 色の分類と三属性 5. 課題1 色を見つける(自然の色を写真に記録する 色鉛筆で色を塗り重ねる) 6. 色の心理効果 7. 色の視覚効果1 8. 色の視覚効果2 9. 色彩調和 配色の基本1 10. 色彩調和 配色の基本2 11. 課題2 壁を飾る布「ろうけつ染」(掛時計 または 壁面装飾) 技法紹介と練習、染料作り 12. 蠟で描く、染色1 13. 染色2 14. 染色3 15. 染色4、仕上げ、講評 小テスト <p>※履修生の興味関心によって内容を変更する場合があります</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | 11月の資格試験に向けて覚える範囲が広いので、後でまとめて覚えようとせず、こまめに復習して覚えましょう。 日頃から、空の色を眺めるなど、自然の色に興味を持つようにしましょう。 美術館で絵画を見る機会を増やすことも大切です。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業内で覚えきれなかった箇所は、毎回復習して覚えましょう(毎回約30分～1時間程度)。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 40 | 小テスト | | |
| | 実践 | 50 | 作品(色彩、技法の習得、構成) | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業に取り組む姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 演習後に講評を行います。 欠席した場合は、空き時間にテキストを読む、制作するなどして遅れを取り戻してください。判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 文部科学省後援色彩検定公式テキスト3級編 色彩検定協会 2020改訂版 | | | | |
| 参考書 | 参考書、絵本など適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|-----------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 色彩コーディネート演習 I L42033 | 後期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 日本色研配色体系による配色の基本的な考え方を学ぶ。 制作を通して、様々なイメージを意識した色彩表現を習得する。 ※色彩検定3級を受験する場合、11月に本学で試験を行います(団体受験)。前期「色彩学及び演習」と、後期「色彩コーディネート演習 I」を併せて履修する必要があります。 | | | | |
| 到達目標 | 色彩検定3級合格。 色相配色、トーン配色に関する基本的な考え方が理解できる。 天然染料で布を染める方法を学び、色彩理論とつなげた造形表現ができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <p><講義・作品制作> テキストの内容理解のために、絵画や絵本、染織の技法等で制作する時間があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 配色イメージ1 2. 配色イメージ2 3. ファッションと色彩 4. インテリアと色彩 5. 慣用色名 6. 検定試験対策1 7. 検定試験対策2 8. 小テスト 9. 色を楽しむ 手拭いを染める 雪花絞り1 (作品紹介、技法紹介、布をたたむ) 10. 色を楽しむ 雪花絞り2 (染色) 11. 色を楽しむ 雪花絞り3 (染色) 12. 作品制作「自然の色を引き出す 天然染料でウールマフラーを染める」1 13. 作品制作「自然の色を引き出す 天然染料でウールマフラーを染める」2 14. 作品制作「自然の色を引き出す 天然染料で綿の布を染める (ショール・Tシャツ・バッグなどから選択)」1 15. 作品制作「自然の色を引き出す 天然染料で綿の布を染める (ショール・Tシャツ・バッグなどから選択)」2 <p>※履修生の興味関心によって内容を変更する場合があります</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | 色彩検定3級受験のための授業です。検定の出題範囲が広く、試験直前に全て暗記しようとする大変ですので、授業後こまめに復習するとよいでしょう。 日頃から、自然の造形やファッション、インテリアの配色などに注目しましょう。 美しい、面白いと感じた配色はノートなどにまとめておくと、色の勉強や作品制作に役立ちます(スクラップブック)。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業内で覚えきれなかった事や、わかりにくかった事は、毎回復習して覚えましょう(毎回約30分程度)。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 50 | 色彩検定、模擬試験結果 | | |
| | 実践 | 40 | 作品(色彩、技法の習得、発想) | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業、課題に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 模擬試験後、答え合わせと解説を行います。 講評を行います。 欠席した場合は、空き時間にテキストを読む、制作するなどして遅れを取り戻してください。 判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 文部科学省後援色彩検定公式テキスト3級編 色彩検定協会 2020年改訂版 | | | | |
| 参考書 | 参考書、絵本、画集など適宜紹介 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-------|-----------------|-------------------------------------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | 色彩コーディネート演習Ⅱ L43034 | | | 通年 ※11月の検定試験に合わせるため6月～11月まで開講(全15回) | 演習 | 1 | | | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 「色彩学及び演習」「色彩コーディネート演習Ⅰ」で学んだ内容をふまえ、さらに、ビジュアルデザイン、プロダクトデザイン、インテリアデザインなどの知識を学ぶ。 ※色彩検定2級取得のための授業です。11月に学内で試験を行います。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 色彩検定2級合格。 配色のテクニックなど色彩検定2級相当の専門知識を身につける。 色彩に関する知識を作品制作に応用できる。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 授業計画 | <講義・作品制作> 色彩学の理解のために、染織技法で制作する時間があります。 1. 色のはたらき、ユニバーサルデザイン 2. 色覚、光と色 3. マンセル表色系 4. 色の視覚効果、心理効果 5. 色彩調和1 6. 色彩調和2 7. 配色イメージ 8. ビジュアルデザイン、ファッションにおける色彩 9. インテリアデザインにおける色彩 10. 景観色彩 11. 検定試験対策、小テスト 12. 作品制作「自然の色を引き出す ～天然染料で綿の布を染める～」1 13. 作品制作「自然の色を引き出す ～天然染料で綿の布を染める～」2 14. 作品制作「自然の色を引き出す ～天然染料でシルクスカーフを染める～」1 15. 作品制作「自然の色を引き出す ～天然染料でシルクスカーフを染める～」2 ※履修生の興味関心によって、制作課題を変更する場合があります。 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 色彩検定2級受験のための授業です。授業後に復習し、内容を覚えてください。 日頃からファッション、インテリアの配色などに注目し、気に入った配色があれば、ファイリングしてください。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業で覚えきれなかった事は、毎回復習して覚えましょう（30分程度）。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 70 | 色彩検定、模擬試験結果 | | | | | | |
| | 実践 | 20 | 作品（色彩、技法の習得、発想） | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | |
| | その他 | 10 | 授業、課題に対する姿勢 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 欠席した場合は、空き時間にテキストを読む、制作するなどして遅れを取り戻してください。 判らない箇所は質問してください。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 文部科学省後援色彩検定公式テキスト2級編 色彩検定協会 2020年改訂版 | | | | | | | | |
| 参考書 | 参考書、画集など適宜紹介 | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | フェルト L42035 | 後期 | 演習 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 羊の種類や特徴、フェルトの基礎技法を学び、マット、ブローチ、袋状のもの（バッグ、帽子、インスタレーションなど）を制作する。 色や形を工夫し、羊毛という素材や技法を活かした表現を研究する。 | | | | |
| 到達目標 | フェルトの工程を理解し、平面と立体の両方を制作することができる。 ドライフェルティング、ウェットフェルティングの技法で制作することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 原毛の種類と特徴 世界のフェルト 作品紹介 色の混ぜ方と効果 ボール（ウェットフェルティング） テーブルマットの配色を考える 2. テーブルマット（ウェットフェルティング） 3. くるみボタン 練習、デザイン、ニードルで刺す（ドライフェルティング） 4. ニードルで刺す、ボタンに仕立てる 5. ブローチ4種類（ドライフェルティング） 習作1 重ねた断面を見る 習作2 ワイヤーを入れる 6. 習作3 立体的に仕立てる 7. 習作4-1 自由制作 8. 習作4-2 自由制作 9. 袋状の布（バッグ・帽子・インスタレーションなどから1つ選択） デザイン、混色 10. 型づくり、繊維をのせる 11. 繊維をのせ、こする 12. 繊維をこする 13. ニードル1 14. ニードル2 15. 仕上げ 講評 | | | | |
| 事前・事後学習について | ふわふわの羊の毛を、石けん水でこすったり、専用ニードルでつつくと、しっかりとした布に変化します。 この演習では、「色」や「素材感」を楽しむことを一番大切にしたいと考えています。 日頃から自分らしい色、美しいと思う色あいについて考えましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 時間では測れませんが、常にノートかクロッキー帳を携帯し、アイディアがひらめいた時すぐ描きとめられるようにしましょう。特に課題制作のデザインを考える際に役立ちます。 納得いくまで準備時間をつくってください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品（技法の習得、構造の確かさ、発想、色彩） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 欠席した場合は、空き時間に制作するなどして遅れを取り戻してください。 判らない箇所は質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | プリント配布 | | | | |
| 参考書 | 「テキスタイル 表現と技法」 田中秀穂監修 武蔵野美術大学出版局 2010 授業内で適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|---------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | グラフィックデザイン演習 L42036 | 後期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | <p>パソコン、スマホ、タブレットで使えるグラフィック系アプリ Canva で、各種印刷物、SNS 投稿をデザインするテクニックを身につける。</p> <p>カメラ撮影の基本を学び、写真の補正や合成などのテクニックを学ぶ。</p> <p>「卒業制作展」のための案内ハガキもデザインするため、卒業制作に取り組む人は履修することが望ましい。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>Canva の基本的な操作方法を理解し、パソコンを使いハガキなどの印刷物、SNS 投稿データをデザインできる。</p> <p>写真の撮り方、トリミングの基本がわかる。</p> | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 写真の撮り方 デジタルカメラのしくみ すぐれた写真作品を観る 2. Canva とは Canva の基本操作 フォント、おすすめの Web サイト 3. 画像編集 1 4. 画像編集 2 5. 架空のイベントチラシをデザインしよう 6. 課題の共有 カフェチラシ (地図の作り方) 7. 展覧会 DM とは 様々な DM 紹介 8. 卒業制作展の DM 宛名面 (文字の入力、図形、地図の挿入) 8. 卒業制作展の DM デザイン面 1 写真、文字を入れる 9. 卒業制作展の DM デザイン面 2 10. 卒業制作展の DM デザイン面 3 11. 展覧会のキャプション 12. インフォグラフィック 13. ノートカバー (A5) ファイル (A4) の表紙デザイン 14. Instagram (正方形・縦長) 15. Instagram (動画・BGM) <p>※Canva アカウントを第二回目に作ります (無料)</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>パソコンのキーボードで文字を打つことができるようにしておくことが望ましいです (早く文字を打つ技能は求めません)。</p> <p>絵をあまり描いたことがない人、描くことが苦手な人も、表現の幅が広がります。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>制作に遅れがでたり欠席した場合は、空き時間に制作し遅れを取り戻してください。</p> <p>判らない箇所は質問してください。</p> | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品 (Canva の操作、構成力、色彩、独創性) | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>講評を行います。</p> <p>履修生の制作物は、研究室で印刷し、後日渡します。</p> | | | | |
| 使用テキスト | <p>なるほどデザイン 筒井美希 エムディエヌコーポレーション 2015 プリント配布</p> | | | | |
| 参考書 | <p>適宜紹介</p> | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | ファッションビジネス論 L43037 | 前期集中 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 増井 敦子 | | | | |
| 授業の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションの現場で対応する専門的な知識の習得。 ・ファッションビジネス知識、ファッション造形知識を身につけるにあたり、ファッションビジネス能力検定試験 3 級の公式テキストを使用。 ・衣料品の縮尺表現技術を身につける事で、実際の商品に対する知識と表現力を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・広域にわたるファッションビジネスの基礎知識を習得。 ・一般財団法人 日本ファッション教育振興会主催、年 2 回 6 月と 11 月に実地されるファッションビジネス能力検定試験、3 級以上の取得を目指し、ファッション業界への就職活動に役立てる。 ・商品のアイテム画表現を通して、普段着ている衣服への新たな関心とそれを表現する技術を身につける。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | <p><ファッションビジネス知識></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションビジネスの概要 2. ファッション生活・ファッション消費 3. ファッション産業構造 4. ファッションマーケティング 5. ファッションマーチャンダイジング 6. ファッション流通 7. ファッション産業の職種概要 8. ビジネス基礎知識 <p><ファッション造形知識></p> <ol style="list-style-type: none"> 9. ファッション・デザイン・アパレル、ファッションコーディネーション 10. ファッション商品知識、ファッションデザイン、ファッション・エンジニアリング 11. 商品アイテム画基礎①スカート 12. 商品アイテム画基礎②パンツ 13. 商品アイテム画基礎③シャツ 14. 商品アイテム画基礎④ジャケット 15. ファッションビジネス能力検定試験 3 級、過去問題による模試 | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>特に事前に準備する必要はないですが、普段、自分が何気に着用している衣服・アクセサリ・小物、自分を取り囲むファッション環境に目を向けてみて下さい。</p> <p>今までとは異なる視点で捉えてみると、そこには様々な発見や情報があり、今までのファッションの受け手から、送り手への理解が深まると思います。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | テキストに一通り目を通しておいてください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 40 | ファッションビジネス能力検定試験 3 級、過去問題による模試 | | |
| | 実践 | 40 | 商品アイテム画表現 | | |
| | レポート | 20 | 授業内容の確認と理解 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>前半、ファッションビジネス知識では、テキストに基づく講義が中心となりますので、集中力、途切れることなく聴講、板書に集中してください。最終日には過去問題の模試を予定。</p> <p>後半、ファッション造形知識では、アイテムの縮尺表現を取得して、普段身につけている衣服を描ける基礎技術を習得。</p> <p>集中講義なので、1 日の欠席、遅刻がその後の授業に大きく影響を与えますので、極力、欠席、遅刻のないようにご自身の身体管理に気をつけて下さい。</p> | | | | |
| 使用テキスト | 一般財団法人 日本ファッション教育振興会発行 ファッションビジネス 3 級 新版 ファッションビジネス能力検定 3 級 公式テキスト | | | | |
| 参考書 | ファッションデザイン画 ビギナーズ超速マスター 高村是州著 グラフィック社 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | デザイン概論 L44039 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 田中 洋江 | | | | |
| 授業の概要 | 幅広いデザイン領域や、近代デザインの歴史的な流れを把握する。プロダクトデザインを通して、人とデザインとの関係を考えるていく力を養う。布に施される模様について扱い、日本の模様については、伝統芸能である歌舞伎や能を鑑賞しながら装束の中に見られる文様を見ていく。 | | | | |
| 到達目標 | デザインの領域について把握し、近代デザイン史の流れを把握できる。世界の伝統模様や、日本の伝統芸能である歌舞伎や能、伝統文様について理解できる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. デザインとは デザインの領域 2. 自然界のデザイン 3. 絵本のデザイン 4. プロダクトデザイン 布の可能性 5. 近代デザインの歴史 近代デザインのはじまり 6. ウィリアム・モリスとアーツアンドクラフツ アール・ヌーヴォー、アールデコ 7. 世界の模様 1 (ペイズリー、タータンなど) 8. 世界の模様 2 (民族衣装) 9. 日本の伝統文様 紋切り遊び 10. 歌舞伎の歴史、舞台、化粧、衣装 11. 歌舞伎を観よう (歌舞伎を映像で鑑賞) 12. 歌舞伎役者 (歌舞伎の舞台裏を映像で学ぶ) 13. 能の歴史、舞台、能面 14. 能装束と文様 15. 祈りのかたち 御守りと魔除け 縫ってみよう <p>※履修生の興味関心等により、内容を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | デザインは、細かく分かれ専門化されています。それらを俯瞰し整理してから、プロダクトデザインに焦点をあてます。普段から、服、カーテンなどの布に施されている模様や、道具の形を意識して見てください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 意欲的に「美しいものを探そう」という気持ちで日々生活してください。 ふとした時に美しいものに出会えますので、それを逃さない目を持つよう努めてください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 90 | 講義内容の理解、発想力 | | |
| | その他 | 10 | 講義に対する意欲 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 欠席した場合は、資料を受け取りに来てください。 | | | | |
| 使用テキスト | プリントを配布 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-----------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 保健衛生学 L24040 | 2年後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 木下 ひとみ | | | | |
| 授業の概要 | 健康について課題を持ち、その課題について知識を深め、自分や他者の健康について考えます。主体的に学ぶため、新聞やテレビのニュースなど身近にある情報についても取りあげながらまとめていきます。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 健康科学の領域の与えられたテーマの中から健康課題を見付けることができる。 2. 健康課題に対して、文献検索等を用いて知識を深め、わかりやすくまとめることができる。 3. 積極的に学び、自分自身の健康的な生活習慣について述べるができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 健康について① —健康の定義・ライフサイクルにおける健康上の課題— 2. 健康について② —保健福祉サービス— 3. 健康について③ —生活習慣病— 4. 日常生活と健康① —食生活— 5. 日常生活と健康② —日常生活活動— 6. 日常生活と健康③ —睡眠— 7. 日常生活と健康④ —喫煙・飲酒— 8. 日常生活と健康⑤ —薬物濫用— 9. 日常生活と健康⑥ —こころの健康（ストレス対処、ストレス関連疾患）— 10. 日常生活と健康⑦ —こころの健康（うつ病、スチューデント・アパシー、睡眠リズム障害）— 11. セクシュアリティと健康：LGBT 12. 環境と健康① —地球環境問題— 13. 環境と健康② —感染症— 14. 高齢者を取り巻く社会：地域医療、認知症 15. 倫理と健康：臓器移植、脳死 | | | | |
| 事前・事後学習について | レポートの作成と学習効果を上げるため、「健康」に関する対策や社会問題などに関心を持ち、できるだけ毎日、新聞に目を通すようにしましょう。レポートや授業に関連のありそうな記事は切り取って、授業で配布したワークシートや資料などとともにファイリングしていきましょう。新聞記事はレポート作成に使用します。予習より復習を中心に学習を進めていってください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 今、社会でどんな健康問題が起こっているのか、どんな対策がなされているのかなど、新聞やネットニュースなどを毎日10分程度チェックしましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 20 | 授業毎に感想や質問を用紙に記入し提出する。 | | |
| | レポート | 80 | 健康課題への関心・考察 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 受講に際しては、テキストと配布プリントを必ず持参してください。 授業毎に記載した感想や質問に対しては、次の授業でコメントします。 | | | | |
| 使用テキスト | ライフスキルのための健康科学 建帛社 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-----------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 公衆衛生学 L21041 | 1 年前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 木下 ひとみ | | | | |
| 授業の概要 | 公衆衛生学とは、健康を支援する社会防衛機能としての保健医療福祉活動であり、そのための技術と科学的根拠を提供する学問です。変貌するわが国の健康の実態と健康を支援する公衆衛生活動を学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 日本における健康の実態を述べることができる。 2. 健康を支援する公衆衛生の取り組みを述べるができる。 3. 公衆衛生活動と自身の生活との関連を述べるができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生と健康の概念 人々の健康と自然・社会・文化的環境とのかかわりや、健康を守るための予防の概念を学ぶ。 2. 疫学・保健統計① 疫学概念や手法、人口数・出生数・死亡数などを推計する人口統計を学ぶ。 3. 保健統計② 疾病・傷病状態などを把握する統計を学ぶ。 4. 感染症対策① 感染症の成立要因と伝播様式を知り、その発生予防やまん延防止策を学ぶ。 5. 感染症対策② 代表的な感染症について、流行状況や感染予防対策を学ぶ。 6. 地域保健 地域住民のヘルスサービス機能・活動を学ぶ。 7. 食品保健・栄養① 食中毒予防、食品衛生の制度を学ぶ。 8. 食品保健・栄養② 国民栄養の状況を知り、栄養問題について学ぶ。 9. 成人保健と健康増進① 生活習慣病の概念と現状を学ぶ。 10. 成人保健と健康増進② 生活習慣病の対策について学ぶ。 11. 環境保健① 現代の地球環境と環境変化が人々の健康に与える影響を学ぶ。 12. 環境保健② 環境保全に向けての取り組みについて学ぶ。 13. 母子保健① 母子保健の現状について学ぶ。 14. 母子保健② 母子保健の今後の課題について学ぶ。 15. 精神保健 精神医療の歴史、法制度の変遷、近年の精神保健福祉行政、新たな課題について学ぶ。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 公衆衛生学は私たちが健康な生活を営むために欠かせない内容を包含しています。用語をはじめとして政策や法律等難解な部分も多い科目です。事前学習としては、テキストに載っている用語の理解を中心に行ってください。事後学習は、授業で習ったことを、日常生活のさまざまな場面に当てはめて考えてください。また、新聞・TV・書籍などから公衆衛生に関連する身近な情報に関心を持つ態度を養ってください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前学習：テキストに掲載されている用語の理解を中心に行ってください（30分程度）。 事後学習：授業で習ったことを、日常生活のさまざまな場面に当てはめて考えてください（30分程度）。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 80 | 定期試験。公衆衛生と健康の概念、他 | | |
| | 実践 | 20 | 授業毎に感想や質問を用紙に記述し提出する。 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 受講に際しては、テキストと配布プリントを必ず持参してください。 授業毎に記載した感想や質問に対しては、次の授業でコメントします。 | | | | |
| 使用テキスト | 「公衆衛生がみえる 2024-2025」 MEDIC MEDIA | | | | |
| 参考書 | 「国民衛生の動向」 厚生労働統計協会 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 生理学 L22043 | 1年後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 高木 一代 | | | | |
| 授業の概要 | 生理学とは人間のからだの構造とその働きを理解し、生命の神秘に迫る学問です。生体がどのように機能しているのかを体系的・有機的に学び、医学の基礎科目である生理学の深い理解を目指します。 | | | | |
| 到達目標 | ヒトの体のしくみが理解でき、説明できる。ヒトの生命現象に興味を持ち、自分の身体が機能していることの不思議さや生命の尊さに気づき、体を大切にしようとする意識を持つ。食物栄養に関する体のしくみを深く掘り下げることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 1章 細胞からヒトへ (細胞生理学) 2. 8章 消化吸収のしくみ (消化器系) 3. 8章 消化吸収のしくみ (肝臓・胆道系・膵臓・腹膜) 4. 9章 代謝のしくみ (三大栄養素の代謝) 5. 10章 排泄のしくみ (腎・泌尿器系) 6. 6章 循環のしくみ (心臓・血管) 7. 7章 呼吸のしくみ (呼吸器系・ガス交換とガスの運搬) 8. 5章 血液のしくみ (血液・造血系) 9. 13章 防御のしくみ (免疫) 10. 11章 ホルモンのしくみ (内分泌系) 11. 12章 ホメオスタシスのしくみ (代謝・体温) 12. 4章 身体運動のしくみ (筋・骨格系と運動の生理) 13. 2章 神経系のしくみ (脳・神経系) 14. 3章 感覚のしくみ (感覚系) 15. 14章 生殖のしくみ (生殖器系) | | | | |
| 事前・事後学習について | 講義は解剖用語を覚えさせるようなものではなく、生理メカニズムをイメージで理解する内容になっています。事前学習では教科書を一読して、わからないところは前もって調べておくと講義内での理解がより深まると思います。事後学習では授業の振り返りノートを作り、わからなかったところは図書館などを利用して、いろいろな本で調べてみましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前学習では、テキストを読んでおきましょう。特にわかりにくいところをチェックして授業に臨みましょう (毎回30分程度)。 事後学習では、各自ノートに学んだことをまとめましょう (毎回1時間程度)。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | 定期試験 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 適宜小テストを行います。 対面授業が難しいと判断した場合、遠隔授業となる場合があります。 | | | | |
| 使用テキスト | 生体のしくみ標準テキスト 新しい解剖生理 第3版 高松研・堀内ふき 株式会社医学映像教育センター | | | | |
| 参考書 | Visual 栄養学テキスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ち I 解剖生理学 福島光夫 中山書店 のぼん解剖生理学 玉先生 (著), 大和田 潔 (監修) 永岡書店 動画マスター 機能形態学 生理学から薬理学への橋かけ 佐藤進他 株式会社廣川鉄男事務所 イラストでまなぶ生理学 第3版 田中越郎 医学書院 いちばんやさしい生理学 加藤尚志 南沢亨 成美堂出版 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|--------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 微生物学 L24044 | 2年・前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 野上 綾子 | | | | |
| 授業の概要 | 人間と共存する微生物の特性を知ること実際の医療・教育現場での関連性や、感染予防あるいは感染拡大予防のための知識や技術を学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 医療関連施設や教育現場における微生物や感染との関係を学び、安全な医療を提供するための知識・技術の習得を目指す。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物と感染 2. 免疫① 抗原と抗体 3. 免疫② 感染免疫, アレルギー 4. 細菌学総論 5. 細菌と病原性① グラム陽性球菌・グラム陽性桿菌 6. 細菌と病原性② グラム陰性桿菌・グラム陰性球菌 7. 細菌と病原性③ 抗酸菌, その他の細菌 8. 細菌感染症と細菌検査・化学療法 9. 真菌, 原虫 10. ウイルスと病原性① DNA ウイルス 11. ウイルスと病原性② RNA ウイルス 1 12. ウイルスと病原性③ RNA ウイルス 2 13. 感染症と法令, 滅菌・消毒, 医療廃棄物 14. 感染管理 15. まとめ | | | | |
| 事前・事後学習について | 特別な事前学習はありませんが、実際の現場では求められる知識です。後に活用できるようまとめておきましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 30分～1時間程度を要する。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | わからないことは必ず質問してください。授業終了後のオフィスアワーで受け付けています。 | | | | |
| 使用テキスト | 医学書院 系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学 第14版、2024年 | | | | |
| 参考書 | 特に指定しない | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|----------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 薬理学概論 L23045 | 前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 吉澤 忍 | | | | |
| 授業の概要 | <p>医薬品・医薬部外品・化粧品の正しい知識を深めるため、薬理学の基本を理解する。各論では薬の作用と及ぼす影響等を中心に、又、医薬品情報の正しい捉え方も含め、養護教諭に必要な医薬品に対する知識を習得する。</p> <p>本講義は実務家教員の授業で、薬剤師免許を有する教員が担当する科目である。薬理学に関する実務家としての視点、病院薬剤師の経験を交えて、学生に対して授業を展開していく。</p> | | | | |
| 到達目標 | 養護教諭、医療事務に必要な薬理学の知識を身につける。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬に関する基礎知識① 2. 薬に関する基礎知識② 3. 中枢神経に作用する薬物 4. 末梢神経に作用する薬物 5. ホルモンと代謝障害治療薬 6. 抗炎症薬と抗アレルギー薬 7. 循環器系に作用する薬物 8. 血液・造血器官に作用する薬物 9. 呼吸器系に作用する薬物 10. 消化器系に作用する薬物 11. 泌尿器・生殖器系に作用する薬物 ビタミン剤 12. 抗感染症薬について 13. 消毒薬と皮膚・粘膜に作用する薬物 14. 抗悪性腫瘍薬と免疫抑制薬 15. 総括 | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業前までにテキストを一読すること | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 30分～1時間を要す | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | 試験又はレポート | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>わからないことは必ず質問してください。</p> <p>授業終了後のオフィスアワーで受け付けています。</p> | | | | |
| 使用テキスト | 看護学入門 2巻 栄養 薬理 メディカルフレンド社 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 精神保健 L22046 | 1年 後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 岩崎 みすず | | | | |
| 授業の概要 | 1. ライフサイクルにおける精神保健の特徴を理解する 2. 精神疾患および発達障害を理解する 3. 精神保健上の課題をもつ人に対する支援を学ぶ | | | | |
| 到達目標 | 1. 精神保健（心の健康）の基本的考え方を理解する 2. 精神疾患および発達障害がどのようなものであるか理解できる 3. 精神保健上の課題をもつ人に対してどのような支援が必要であるか考えることができる 4. 社会生活上の精神保健の課題に気づき、心の健康をどのように保っていけばよいか考えることができる | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | 1. 精神保健の考え方／心のはたらき 2. 心身の発達／人格の形成 3. 社会と精神保健 4. 精神保健・医療・福祉の歴史 5. 発達障害:学習障害(LD)・注意欠陥多動症(ADHD)・自閉スペクトラム症(ASD) 6. 精神疾患:①神経症性障害 7. 精神疾患:②統合失調症 8. 精神疾患:③抑うつ性障害／双極性障害 9. 精神疾患:④摂食障害 10. 精神疾患:⑤パーソナリティ障害他 11. 精神疾患:⑥依存症 12. その他精神保健上の問題:①虐待他 13. その他精神保健上の問題:②引きこもり・非行他 14. 事例をとおして対応を考える:①個人ワーク 15. 事例をとおして対応を考える:②グループワーク | | | | |
| 事前・事後学習について | 次回講義の精神疾患の予備学習を課すことがあります。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 精神疾患の予備学習に1時間程度要します。 授業内で覚えられなかったところは、その都度復習して覚えましょう。それによって次回の授業の理解も進みます。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 80 | 精神保健の理解、精神保健上の課題の把握、支援のあり方など | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 20 | 事例学習の記録（個人ワーク） | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 養護教諭に求められる重要な知識です。授業に集中するとともに、分からないことは積極的に質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 古荘純一編著:子どもの精神保健テキスト 改訂第3版, 診断と治療社, 2023 | | | | |
| 参考書 | 授業内で適宜紹介します | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|-------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 医療秘書実務(調剤) L32047 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 加藤 浩子 | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務、特に調剤報酬請求事務に必要な基本的・専門的知識と技術を一連の流れのなかで関連付けて学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 保険調剤薬局における窓口業務と会計業務の実際を理解。 処方せんの正確な読み取りと調剤報酬請求のスキルを修得。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度 2. 調剤報酬請求の流れ 3. 処方せんの交付 4. 薬剤入門 5. 調剤報酬点数表 6. 調剤報酬に関する知識(調剤技術料) 7. 調剤報酬に関する知識(薬学管理料) 8. 調剤報酬に関する知識(薬剤料) 9. 調剤報酬に関する知識(特定保険医療材料料) 10. 調剤報酬の算定 11. 調剤報酬明細書記載要領 12. 調剤報酬明細書作成 13. 調剤報酬明細書点検 14. 公費負担 15. まとめ | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業で学んだことを必ず復習してください。医療事務資格(調剤報酬請求事務技能認定)取得の基本となる授業です。日本医療教育財団認定の調剤報酬請求事務技能の取得を目標としていますので、知識を確実に身につけてください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 以下、1時間程度の学習が必要です ・授業事前準備についての指示に対応。 ・試験に持ち込む資料作りのため、使用教材への補足事項の書き込み。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 90 | 調剤報酬請求事務の知識と技能の理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業への取り組み | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の合格と授業への取り組みに応じて、調剤報酬請求事務技能認定資格が付与されます。 ・期末の試験は、100点満点での合格となります ・医療事務概論、医療福祉制度論、医療保険論、医療事務演習の単位取得後に履修可能となります。 | | | | |
| 使用テキスト | 医療事務実務講座 調剤報酬編 テキスト (株)ニチイ学館 | | | | |
| 参考書 | 使用なし | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 医療秘書実習 L33048 | 2年 前期 | 実習 | 1 | |
| 担当教員 | 坂上 ちおり | | | | |
| 授業の概要 | 医療秘書実務士認定資格取得に必要なとなる3日間の病院実習です。実際の医療機関で医療事務の職務を見学・体験します。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関における受診の流れを理解する。 2. 保険診療、診療報酬明細書作成の実際を理解する。 3. 医療機関における窓口業務および接遇マナーの実際を学ぶ。 4. 医療機関という組織のなかの医療事務の位置づけを学ぶ | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 受付業務 2. 医事コンピュータ処理 3. 会計業務 4. 病歴（カルテ）管理 5. 病棟クラーク業務 6. 滅菌・物品管理 7. 医療ソーシャルワーカー業務 8. 診療情報管理 9. レセプト点検 10. 電話対応業務 11. 診療報酬明細書作成業務 12. 保険診療と自費診療について 13. 接遇マナー 14. 他職種との連携 15. 病院の機能 | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業で学んだことを必ず復習してください。医療事務関連科目は必修ですが、その他に「ビジネスマナー演習」の履修を勧めます。短期間の実習ですが学ぶことは多くあります。緊張感をもち、意欲的に臨んでください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 「ビジネスマナー演習」の時間に、事前準備を行います（2時間程度）。身支度等も、実習に必要な資質です。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 医療事務職務の体験，見学（知識・理解/関心・意欲・態度） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 実習記録（知識・理解） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 実習記録が返却されたら、実習指導者からのコメントについて振り返りを行ってください。 | | | | |
| 使用テキスト | プリントを配布する 実習記録のため日誌を使用する | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 医療事務概論 L31049 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 加藤 浩子 | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務概論、医療制度論、医療保険論および医療事務演習の4科目全てを履修し、医療事務に必要な基本的・専門的知識と技術に関連付けて学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 医療機関における患者接遇の理解と実践。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事務の仕事について 2. 医事担当者の役割 3. 接遇マナー 4. 患者接遇の基本（窓口対応の基本） 5. 患者接遇の基本（電話対応の基本） 6. 患者接遇の基本（受付窓口対応） 7. 患者接遇の基本（会計窓口対応） 8. 受付の事例(1) 9. 受付の事例(2) 10. 受付の事例(3) 11. ロールプレイング例 12. 個人情報保護法 13. 医事業務における個人情報の取り扱いについて 14. 医療機関で取り扱う帳票について 15. まとめ | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>授業で学んだことを必ず復習してください。日本医療教育財団が認定する医療事務技能審査資格（メディカルマーク）取得に必要な授業内容です。</p> <p>授業とは別に資格取得のための試験（受験は任意）が実施されます。医療事務関連科目と合わせ、意欲的に学んでください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>以下の学習に1時間程度の学習が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修内容を理解するために、ドリルを解いてください。 ・試験に持ち込む資料作りのため、使用教材への補足事項の書き込みを行ってください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 90 | 医療事務の知識と技能の理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療教育財団が実施する資格試験に合格すると資格が付与されます。 ・期末の試験終了後、解説と各自のウイークポイントの洗い出しをして資格試験の対策を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 医療事務講座 医科テキスト（株）ニチイ学館 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 医療福祉制度論 L31050 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 加藤 浩子 | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務概論、医療制度論、医療保険論および医療事務演習の4科目全てを履修し、医療事務に必要な基本的・専門的知識と技術を関連付けて学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 医療保障についての知識の修得と、医療事務の基礎となる医療保険制度についての理解。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度の基礎知識 2. 医療機関の分類 3. 健康保険法と療養担当規則 4. 医療保険の分類と運用 5. 社会保険と国民健康保険 6. 保険料と保険給付 7. 被保険者証と医療受給者証 8. 後期高齢者医療制度 9. 診療報酬のしくみ 10. 医療事務の業務 11. 電子カルテシステム 12. D P C 制度 13. 公費負担医療制度 14. 介護保険制度 15. 労災保険と自賠責保険 | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>授業で学んだことを必ず復習してください。日本医療教育財団が認定する医療事務技能審査資格（メディカルマーク）取得に必要な授業内容です。</p> <p>授業とは別に資格取得のための試験（受験は任意）が実施されます。医療事務関連科目と合わせ、意欲的に学んでください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>以下、1時間程度の学習が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修内容を理解するために、ドリルを解いてください。 ・試験に持ち込む資料作りのため、使用教材への補足事項の書き込みを行ってください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 90 | 医療事務の知識と技能の理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療教育財団が実施する資格試験に合格すると資格が付与されます。 ・期末の試験終了後、試験解答の解説と各自のウイークポイントの洗い出しをして資格試験の対策を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 医療事務講座 医科テキスト (株)ニチイ学館 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 医療保険論 L31051 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 加藤 浩子 | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務概論、医療制度論、医療保険論および医療事務演習を全て履修し、医療事務に必要な基本的・専門的知識と技術を関連付けて学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 診療報酬点数の算定方法の理解と、診療報酬明細書の作成・点検に必要な知識の修得。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 診療報酬点数表 2. 初診料・再診料の算定 3. 投薬料の算定 4. 注射料の算定 5. 処置料の算定 6. 手術料の算定 7. 麻酔料の算定 8. 検査料の算定 9. 病理診断料の算定 10. 画像診断料の算定 11. 医学管理料の算定 12. 在宅医療料の算定 13. 入院料の算定 14. リハビリテーション料の算定 15. 算定ルールのとまとめ | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>授業で学んだことを必ず復習してください。医療事務資格(メディカルクラーク)取得に必要な授業内容です。</p> <p>授業とは別に資格試験(受験は任意)が実施されます。他の医療事務の関連科目と合わせ、意欲的に学んでください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>以下、1時間程度の学習が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修内容を理解するために、ドリルを解いてください。 ・試験に持ち込む資料作りのため、使用教材への補足事項の書き込みを行ってください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 90 | 医療事務の知識と技能の理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療教育財団が実施する資格試験に合格すると資格が付与されます。 ・期末の試験終了後、試験解答解説と各自のウイークポイントの洗い出しをして資格試験の対策を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 医療事務講座 医科テキスト (株)ニチイ学館 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|---------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 医療保険演習 L31052 | 前期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 加藤 浩子 | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務概論、医療制度論、医療保険論および医療事務演習の全てを履修し、医療事務に必要な基本的・専門的知識と技術を関連付けて学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 診療報酬請求業務への精通。 電子カルテの導入、診療報酬のオンライン請求など、医療事務のIT化の中で根拠に基づいた診療報酬請求の実践。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 診療報酬明細書の役割 2. 診療報酬明細書の記載要領 3. 診療報酬明細書の記載例 4. 診療報酬明細書の作成（外来症例） 5. 診療報酬明細書の作成（入院症例） 6. 医事システムについて 7. 公費負担医療の診療報酬明細書 8. 医療保険請求の仕組み 9. 診療報酬明細書の点検 10. 診療報酬明細書の点検演習（外来）① 11. 診療報酬明細書の点検演習（外来）② 12. 診療報酬明細書の点検演習（外来）③ 13. 診療報酬明細書の点検演習（入院）① 14. 診療報酬明細書の点検演習（入院）② 15. 総括 | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業で学んだことを必ず復習してください。医療事務資格（メディカルクラーク）取得に必要な授業内容です。 授業とは別に資格試験（受験は任意）が実施されます。ほかの医療事務関連科目と合わせ、意欲的に学んでください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 以下、1時間程度の学習が必要です。 ・履修内容を理解するために、ドリルを解いてください。 ・試験に持ち込む資料作りのため、使用教材への補足事項の書き込みを行ってください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 90 | 医療事務の知識と技能の理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業に対する姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療教育財団が実施する資格試験に合格すると資格が付与されます。 ・期末の試験終了後、試験解答の解説と各自のウイークポイントの洗い出しをして資格試験の対策を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 医療事務講座・医科テキスト (株)ニチイ学館 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | ビジネスマナー演習 L33058 | 2 年前期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 加藤 浩子 | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務に必要な患者接遇と医療知識を学びます。医療秘書実習に必要な基礎知識であるほか、ホスピタルコンシェルジュの資格試験に対応しています。 | | | | |
| 到達目標 | 医療事務に必要な患者接遇のスキルと医療知識の修得 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ホスピタルコンシェルジュの役割 2. 接遇①（患者サービス） 3. 接遇②（電話対応） 4. 接遇③（応対用語） 5. 接遇総括 6. 医療知識①（医療法） 7. 医療知識②（医療保険制度） 8. 医療知識③（医療機関の組織） 9. 医療知識④（公費負担医療/介護保険） 10. 医療知識⑤（労働保険/自賠責保険/損益管理と医事統計） 11. 医療知識⑥（個人情報保護法） 12. 医療知識⑦（診療報酬患者負担金の計算/医療用語） 13. 医療知識総括 14. 接遇④（ロールプレイング） 15. 医療秘書実習について | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業後に必ずテキストを再読し、授業で取り扱った内容を整理してください。わからない部分はそのままにせず、次の授業で必ず質問してください。 授業とは別に資格試験（受験は任意）が実施されます。資格試験に則した講義を行います。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前・事後学習として 30 分～1 時間程度を要します。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 70 | 接遇・医療知識の総括での課題における内容の理解度 | | |
| | 実践 | 20 | 患者接遇に必要とされるコミュニケーションへの取り組み姿勢 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業態度と意欲 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・接遇・医療知識の総括では課題を提示します。次の授業に採点・添削して返却しますので、わからないところは授業等で必ず質問してください。 ・コミュニケーションの実践では、授業での積極的な発言を求めます。 ・技能認定振興協会（jsma）のホスピタルコンシェルジュ検定 3 級取得に必要となる科目です。 ・医療事務概論、医療福祉制度論、医療保険論、医療事務演習の単位取得後に履修可能となります。 | | | | |
| 使用テキスト | ホスピタルコンシェルジュ講座テキスト （株）ソラスト 医療事務テキスト （株）ニチイ学館 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|-------------------|------|-----|-----------|--|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | | |
| 科目名 | IT 情報処理 I | L33059 | 前期 | 講義 | 2 | | | | | |
| 担当教員 | 宮坂 千穂 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | IT パスポート試験合格を目指します。 IT パスポート試験は、職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識をもち、各担当業務に対して情報技術を活用していくことができることを目的とします。 IT パスポート試験の合格を見据えて、最も基本的な IT 基礎知識、情報セキュリティ、企業コンプライアンス、経営戦略などの知識を深めていきます。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | IT パスポート試験の取得または、同等の知識を身に着ける | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. IT パスポート試験とは、受験についての戦略 2. 企業と法務（企業活動、法務） 3. 経営戦略（経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ） 4. システム戦略（システム戦略、システム企画） 5. 開発技術（システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術） 6. プロジェクトマネジメント 7. サービスマネジメント、システム監査 8. テクノロジ基礎理論、アルゴリズムとプログラミング 9. コンピュータシステム（システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア） 10. 技術要素（情報デザイン、情報メディア） 11. 技術要素（データベース） 12. ネットワーク 13. セキュリティ 14. 試験対策 15. 模擬試験 | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 資格試験に合格するには、反復学習は必須です。予習はしなくとも、授業で確認した分野は、1 週間以内に 1 度各自必ずテキストに目を通してください。 また問題を解くことで、苦手分野を洗い出し、間違えてしまった理由を確認し、重点的に復習をしてください。 | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事後学習として、授業で確認した分野の理解を深める学習（おおむね 30 分～1 時間程度） | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 40 | IT パスポート試験取得 | | | | | | | |
| | 実践 | 30 | 演習問題への取組み | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | | |
| | その他 | 30 | 目的意識をもって学習に取り組む姿勢 | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 毎授業ごとに前回の復習小テストと解説を行います。 | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 【令和 8 年度】 いちばんやさしい IT パスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集（S B クリエイティブ 高橋京介著） | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|-------------------|------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | IT 情報処理Ⅱ | L34060 | 後期 | 講義 | 2 | | | | |
| 担当教員 | 宮坂 千穂 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 基本情報技術者試験は高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に着けることを目的とします。 基本情報技術者試験の合格を見据えて、業務に必要な IT 基礎知識、情報セキュリティ、企業コンプライアンス、経営戦略などの知識を深めていきます。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 基本情報技術者試験に合格または同等程度の知識を有する | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本情報技術者試験について、受験についての戦略、基礎理論 2. アルゴリズムとプログラミング 3. コンピュータの構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア 4. ユーザインターフェイス、情報メディア、セキュリティ 5. データベース、ネットワーク 6. システム開発技術 7. ソフトウェア開発管理技術 8. プロジェクトマネジメント 9. サービスマネジメント、システム監査 10. システム戦略、システム企画 11. 経営戦略、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ 12. 企業活動、法務 13. 科目 B 試験対策 14. 科目 A 試験模擬試験 15. 科目 B 試験模擬試験 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 資格試験に合格するには、反復学習は必須です。予習はしなくとも、授業で確認した分野は、1週間以内に1度各自テキストに目を通してください。 また問題を解くことで、苦手分野を洗い出し、間違えてしまった理由を確認し、重点的に復習をしてください。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事後学習として、授業で確認した分野の理解を深める学習（おおむね30分～1時間程度） | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 30 | 基本情報技術者試験合格、模擬試験 | | | | | | |
| | 実践 | 20 | 演習問題への取組み | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | |
| | その他 | 50 | 目的意識をもって学習に取り組む姿勢 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 毎授業ごとに前回の復習小テストと解説を行います。 復習しながら、少しでも気になったことがあったら、確認してください。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 【令和8年度】 いちばんやさしい IT パスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集(SBクリエイティブ 高橋京介著) | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | ウェブデザイン L31061 | 前期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 宮坂 千穂 | | | | |
| 授業の概要 | Web クリエイターに必要とされる、Web サイト制作のデザイン能力および Web ページのコーディング能力を学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 資格試験(Web クリエイター能力認定試験(スタンダード))に合格する力をつけるとともに、WordPress を使った実践的な手法を身に着ける | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. Web サイトの基礎知識、ページを構成するファイルについて、サイト作成の手順 2. HTML の基礎知識、HTML の記述方法、タグについて 3. HTML でページを作る 4. CSS の基礎知識、CSS の基本的仕組みと書式 5. CSS の適用方法 6. サイト内で共通する HTML、CSS を作る 7. 画像ファイルについて、画像ファイルに CSS を適用する 8. 箇条書きの挿入、箇条書きに CSS を適用する 9. 表の挿入、表に CSS を適用する 10. 必須タグ、CSS コマンドの整理 11. 入力フォームの作成、フォーム領域の CSS 編集 12. フォーム内の各コントロールの調整 13. Web クリエイター能力認定試験について、受験対策 14. WordPress を使ってみる、WordPress とは、基本の操作 15. WordPress でページ作成 | | | | |
| 事前・事後学習について | 資格試験に合格するには、反復学習は必須です。予習はしなくとも、授業で確認した分野は、1 週間以内に 1 度各自必ずテキストに目を通してください。 また問題を解くことで、苦手分野を洗い出し、間違えてしまった理由を確認し、重点的に復習をしてください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事後学習として、授業で確認した分野の理解を深める学習（おおむね 30 分～1 時間程度） Web 検索する際、情報を確認すると同時に Web ページの成り立ちなどの観察 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 40 | Web クリエイター試験合格 | | |
| | 実践 | 20 | HTML、CSS の応用力 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 40 | 目的意識をもって学習に取り組む姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 個人的に簡単な Web ページも作ってみましょう。思い描いた形になるよう、創意工夫をしてみましょう。工夫した点や、うまくいかなかったことを、記録しておくようにしてください。 | | | | |
| 使用テキスト | Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応 スタンダード 公式テキスト発行：FOM 出版 | | | | |
| 参考書 | Web クリエイター能力認定試験 スタンダード 問題集 (HTML5 対応) 発行：株式会社サーティファイ | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|---|--------|--------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | ファイナンシャルプランニング I L32062 | 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 橋本 幸二郎 | | | | |
| 授業の概要 | <p>人生の価値観は人それぞれです。 ただし自分の思う人生を実現するためには資金が必要となります。 この資金計画を立てることをファイナンシャル・プランニングといいます。 本授業ではファイナンシャル・プランニングに必要な年金・保険・金融・税金・不動産・相続の6つの知識を総合的に学んでいきます。 わずかな期間の学習であっても、授業で得た知識は必ず役に立つはずで す。 なお教員は税理士であるため、実務上での事例も授業で紹介し ます。</p> | | | | |
| 到達目標 | ファイナンシャル・プランニングの基礎知識を修得する。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフプランニングと資金計画① 2. ライフプランニングと資金計画② 3. リスクマネジメント① 4. リスクマネジメント② 5. 金融資産運用① 6. 金融資産運用② 7. 金融資産運用③ 8. タックスプランニング① 9. タックスプランニング② 10. タックスプランニング③ 11. 不動産① 12. 不動産② 13. 相続・事業承継① 14. 相続・事業承継② 15. 相続・事業承継③ <p>※関連法令の制定改廃により授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>授業に先立ちテキストを一読し、分からない専門用語について大まかにでも事前に確認し ておく と授業での理解が深まります。 また授業の中で理解できなかった部分については、授業後に質問を受け付けます。</p> | | | | |
| 準備学習に 必要な時間 | 次回授業該当部分のテキストの一読と専門用語の下調べ (30 分から 1 時間程度) | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 90 | 課題に対するファイナンシャル・プランニングの立案 | | |
| | その他 | 10 | 授業への取り組み | | |
| 受講上の注意・課題 のフィードバック | <p>広い範囲について学ぶので、すべてを覚える必要はありません。 ただし社会保障制度や金融・税制は毎年のように制定改廃がありますので、そうした情報に 少しだけ関心を向けてください。</p> | | | | |
| 使用テキスト | 滝澤ななみ「FP はじめの一步 '25-'26 年版」TAC 出版 | | | | |
| 参考書 | 特に指定はありません | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|----------------------|------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | ファイナンシャルプランニングⅡ L33063 | | | 後期 | 講義 | 2 | | | |
| 担当教員 | 橋本 幸二郎 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>資格は見えないアクセサリです。</p> <p>本授業では国家資格であるファイナンシャル・プランニング技能士3級に合格するために必要な知識と技術を、演習を通じて習得していきます。</p> <p>そのためファイナンシャル・プランニングⅠを修得後に履修することが望めます。</p> <p>ファイナンシャル・プランニングの資格を得ることは、あらゆる分野において社会での活躍の場を広げます。</p> <p>合格には当然に努力が必要ですが、将来の自分のために、今の時間を使ってみてください。</p> | | | | | | | | |
| 到達目標 | 国家資格であるファイナンシャル・プランニング技能士3級の基礎知識を修得する。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフプランニングと資金計画 (学科) 2. ライフプランニングと資金計画 (実技) 3. リスクマネジメント (学科) 4. リスクマネジメント (実技) 5. 金融資産運用 (学科) 6. 金融資産運用 (実技) 7. タックスプランニング (学科) 8. タックスプランニング (実技) 9. 不動産 (学科) 10. 不動産 (実技) 11. 相続・事業承継 (学科) 12. 相続・事業承継 (実技) 13. 総合問題① 14. 総合問題② 15. 総合問題③ | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 事後学習として問題集を繰り返し解き、知識を定着させてください。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 次回授業該当箇所をテキストで確認する (30分から1時間程度)。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 70 | ファイナンシャル・プランニングの基礎知識 | | | | | | |
| | 実践 | 20 | 演習問題への取り組み | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | |
| | その他 | 10 | 授業への取り組み | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 本授業ではFP3級技能検定の試験対策を中心にを行います。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 滝澤ななみ「FPの教科書3級'26年6月～'27年5月年版」TAC出版 滝澤ななみ「FPの問題集3級'26年6月～'27年5月年版」TAC出版 | | | | | | | | |
| 参考書 | 特に指定はありません | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 社会調査演習 L34064 | 2年 後期 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | |
| 授業の概要 | 社会にある様々な課題に対し、論証できる社会調査データの収集・分析のあり方を学びます。そのうえで、実際に興味のある社会課題をテーマに据え、社会調査にアプローチしてみましょう。社会調査データの特徴も踏まえつつ、統計学の基礎的な分析法の目的や考え方についても取り扱います。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 社会調査のプロセスがわかる。 2. 社会調査を企画・設計することができる。 3. 先行研究へアクセスすることができ、適切に活用することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 社会調査とはなにか 2. 情報資源の発掘調査（アクセスと活用） 3. 社会調査の基本ルールと基本の道具 4. 調査票調査：①調査票を作ってみよう 5. 調査票調査：②調査の方法とデータ化作業 6. 調査票調査：③調査結果の集計・分析 7. 質的調査：①方法と留意点 8. 聞き取り調査・参与観察法・ドキュメント分析 9. 公開情報の検索とデータ化 10. 非参与観察法・ビジュアル観察法 11. 演習：①社会課題・テーマを考える 12. 演習：②情報の収集・集約 13. 演習：③社会調査の企画・設計 14. 演習：④社会調査の実施 15. 演習：⑤社会調査のまとめ（結論付ける） | | | | |
| 事前・事後学習について | テキストを読み、社会調査をイメージしてから授業に臨んでください。演習がより楽しいものになります。演習後もテキストを読み返してみましょう。社会調査に関する考えが深まります。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前事後学習に1時間程度 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 社会調査の企画・設計・実施（プロセスの理解） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業態度・意欲 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 社会の課題を議論するために必要なデータの収集や分析方法を、演習しながら一緒に考えていきましょう。対話型で進めていきます。疑問に思うことなどそのつど確認してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 「最新・社会調査へのアプローチ 論理と方法」大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋 ミネルヴァ書房 | | | | |
| 参考書 | 「はじめても社会調査」三井さよ・三谷はるよ・西川知享・工藤保則 世界思想社 「社会にひらく社会調査入門」文貞實・山口恵子・小山弘美・山本薫子 ミネルヴァ書房 「社会調査のための統計学」神林博史・三輪哲 技術評論社 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|-----------------------|------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | スポーツビジネス論 L33065 | | | 集中 | 講義 | 2 | | | |
| 担当教員 | 野坂 俊弥 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 生涯にわたるスポーツビジネスを生活科学的側面から解説し、種々の身体的指標の理解する。また、理解した指標をもとに指導的見地からの応用ができるような実践的内容の理解を深める。さらに、本講で習得した知識と教養をプレゼンテーションするとともにレポートにまとめる。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 生活科学としてのスポーツビジネスの概要について理解し、スポーツ実践に伴うベネフィットとリスクについて説明できるようになるとともに、指導的立場からの実践能力を獲得する。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | 第1講：ガイダンス、スポーツに関するおさらい、 第2講：ビジネスとしてのスポーツの基礎「我が国の健康増進施策におけるスポーツ・運動の意味」 第3講：ビジネスとしてのスポーツの基礎「社会におけるスポーツの役割」 第4講：ビジネスとしてのスポーツの基礎「スポーツの効果」 第5講：ビジネスとしてのスポーツの基礎「スポーツの危険性」 第6講：「アクティブガイド2023」と「ずくだすガイド」 第7講：METs (Metabolic equivalents：代謝当量) 第8講：RPE (Rating of Perceived Exertion：自覚的運動強度) 第9講：スポーツによる身体の変化「骨格筋」 第10講：スポーツによる身体の変化「心拍数」 第11講：スポーツによる身体の変化「血管」 第12講：スポーツによる身体の変化「血圧」 第13講：スポーツによる身体の変化「心電図」 第14講：プレゼンテーション 第15講：レポートについて | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | ・初年次教育において習得した、ノートの取り方、情報収集方法、情報処理、学習成果の整理とプレゼンテーションについておさらいし、適切に実践できるようにしておくこと。 ・高等学校で習得した保健体育に関する知識をおさらいしておくこと。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 単位認定のためには、各講とも90分ずつの予習と復習を必要とする。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 0 | 試験は実施しない。 | | | | | | |
| | 実践 | 30 | 授業内容の理解度、達成度。 | | | | | | |
| | レポート | 30 | 形式の適切さ。誤字、脱字、衍字。ロジック。 | | | | | | |
| | その他 | 40 | 授業への取り組み。受講態度。 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 真剣に学びたい者のみ受講すること。 高等学校で使用した保健体育の教科書を持参すること。 課題のフィードバックは、メールあるいは授業時の対面で行う。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | テキストは特に指定しない。 必要な資料は授業中に配付する。 高等学校の教科書を使用する。 | | | | | | | | |
| 参考書 | 「現代高等保健体育」大修館書店、2016年 「理科系の作文技術」木下是雄著、中公新書、1981年 「アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門」佐藤望編著、慶應義塾大学出版会、2020年 | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|--|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 地域経営論 L33066 | 1年 前期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | |
| 授業の概要 | 時代背景や地域の実情により異なる地域経営について、私たちが日々生活している長野県南信地域に目を向け、地域経営について考えます。地域の特徴を押さえた後、地域で起業している方などから講話を頂き、地域で仕事を生み出していくことの実際に触れましょう。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 長野県南信地域の地域経営の特徴がわかる。 2. 地域で仕事を生み出すことの意義がわかる。 3. 社会で循環する地域経営のあり方を考えることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 長野県南信地域の特徴（立地・交通・時代背景と経営） 2. 地域理解：① 3. 地域理解：② 4. 講話：①健康 5. 講話：②製造（板金） 6. 講話：③製造（木工） 7. 講話：④情報 8. 講話①～④のまとめ 9. 講話：⑤農業 10. 講話：⑥商業（販売） 11. 講話：⑦教育 12. 講話：⑧医療・福祉 13. 講話⑤～⑧のまとめ 14. 長野県南信地域の地域経営の実際とこれから 15. まとめ <p>※講話は内容等が変更になる場合があります。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前学習：講話頂く企業の概要等を資料としてお伝えします。必ず目を通して授業に参加してください。</p> <p>事後学習：講話がある回のは学習シートの作成があります。次に授業時に提出してください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 2時間程度 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 20 | レポート評価以外の発言や発表内容（思考・理解・テーマに関する興味・関心・発展性） | | |
| | レポート | 80 | 学習シート（思考・理解・テーマに関する興味・関心・発展性） | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 興味・関心を持ったことは是非その場で質問してください。その発言で学びの質が向上します。 | | | | |
| 使用テキスト | 資料を配布します | | | | |
| 参考書 | 適宜指示 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|--------|------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | 地域文化論 | L32067 | | 後期 | 講義 | 2 | | | |
| 担当教員 | 櫻井 弘人 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 南信州（飯田下伊那）は、各時代の歴史や文化のどこをとっても大きな特徴をもつ地域です。この授業では、当地域の大きな特徴である祭り・民俗芸能についてその開催時期をとらえて学ぶとともに、当地域の歴史的や文化的な特徴、偉人などについて学びます。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 講義によって当地域の歴史と文化の特徴を知り、あわせて自身で現地を訪ねるなどすることで、地域への関心を深めることを目標とします。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | ○ | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | <p>1 回：「南信州とは」 ガイダンスを兼ねて、当地域の特徴ある歴史や文化、とくに民俗について概観します。</p> <p>2 回：「南信州の煙火」 下清内路の手づくり煙火をはじめ、南信州の特徴である煙火について学びます。</p> <p>3 回：「南信州の人形芝居」 今田人形の上演を前に、南信州の人形芝居について学びます。</p> <p>4 回：「南信州の獅子舞」 当地域の獅子舞について学びます。</p> <p>5 回：「南信州の歌舞伎と芝居」 大鹿歌舞伎や下條歌舞伎など地芝居や劇場での芝居文化について学びます。</p> <p>6 回：「飯田城と城下町」 江戸時代に南信州の拠点であった飯田城と城下町について学びます。</p> <p>7 回：「風越山の歴史と文化」 飯田のシンボルである風越山について学びます。</p> <p>8 回：「南信州の偉人」 南信州が輩出した田中芳男や菱田春草などの偉人について学びます。</p> <p>9 回：「南信州の盆踊り・かけ踊り」 新野の盆踊りや和合の念仏踊りについて学びます。</p> <p>10 回：「遠山の霜月祭 1」 12 月は、遠山霜月祭について学びます。</p> <p>11 回：「坂部の冬祭り」 1 月 4 日に開催される坂部の冬祭りについて学びます。</p> <p>12 回：「南信州の年中行事」 正月行事を中心に、年中行事について学びます。</p> <p>13 回：「新野の雪祭り」 1 月 14 日に開催される新野の雪祭りについて学びます。</p> <p>14 回：「千代・上久堅のコトの神送り」 2 月 8 日前後に開催される事念仏・コトの神送りについて学びます。</p> <p>15 回：「地域の文化を守り伝える」 1～14 回まで学んできたことのまとめをします。</p> | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業のたびに、授業の振り返りや次の授業内容に関係した課題を出しますので、それにしただって学習をして、そのレポートを 1 ペーパーにまとめてください（字数は問いません）。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 出された課題についての学習（毎回、1 時間程度） | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 50 | | | | | | | |
| | 実践 | 0 | | | | | | | |
| | レポート | 50 | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・ レポートについては次回の授業時にコメントします。 ・ 最終試験についてもコメントを付して返却します。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、授業内容をまとめた資料を配付します。 | | | | | | | | |
| 参考書 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 櫻井弘人『民俗芸能の宝庫—南信州』（柳田國男記念伊那民俗学研究所、2020 年） ・ 飯田市歴史研究所編『飯田・上飯田の歴史』上下（飯田市教育委員会、2012 年） ・ 飯田市美術博物館『飯田城ガイドブック』改訂版（2010 年） | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------------------------|------|-----|-----------|--|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | | |
| 科目名 | SPI 演習 I | L31068 | 前期 | 講義 | 2 | | | | | |
| 担当教員 | 宮澤 傳二 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 本授業では、日本の就職試験で実施される「SPI」の概要を学び、特に苦手とされる「非言語分野」の問題に対する基礎数学の学習を行います。短期大学生は早期に就職活動を始める必要がありますが、多くの学生は「SPI」対策が間に合わず、就職の選択肢を狭めています。本講義では、「SPI」の非言語分野に必要な数学の基礎を復習し、問題を解くスキルを養います。基礎計算力を高め、論理的思考を鍛えることで、SPI 試験だけでなく、日常の問題解決能力の向上も目指します。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. SPI 試験の概要と重要性を理解する。 2. 非言語分野の問題に対応できる数学の基礎知識を身につける。 3. 文章題を論理的に分析し、適切に数式へ変換する力を養う。 4. グラフや表を読み取り、データを活用できるようになる。 5. 就職活動において SPI 試験を避けずに活用できるようになる。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. SPI とは何か？ 試験の概要と重要性 他 2. 整数の計算（四則演算、分数・小数の計算 等） 3. 方程式の基礎（一次方程式・二次方程式 等） 4. 割合・比の基本と応用（損益算） 5. 仕事算・濃度算の基礎 6. 速度・距離・時間の関係を理解する 7. 場合の数と確率の基本 8. 集合と論理（Venn 図、命題） 9. 文章題の解法（数式への置き換え） 10. 判断推理・位置関係・順序関係 11. 図表問題（表・グラフの読み取り） 12. 空間把握能力の強化 13. 総合演習①（過去問・模擬問題演習） 14. 総合演習②（模擬テスト実施・振り返り） 15. 総まとめ（解き方のポイント整理、復習） | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業内で扱う問題に関する復習を行い、解けなかった問題は再度チャレンジしてください。また、授業前には配布された問題を事前に確認し、解ける部分を試してみることが重要です。SPI 試験の問題に慣れるため、授業以外でも問題集を活用し、毎回少しずつ解く習慣をつけましょう。 | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | テキストの問題集を使い、毎回 10 分程度の復習を行ってください。また、事前学習として、授業で扱う単元の基本的な計算練習を 10 分程度行うことを推奨します。 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 20 | | | | | | | | |
| | 実践 | 80 | 授業ごとに簡単な演習問題を課題として設定します。 | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 授業内で扱う問題の解法の解説を行います。類似問題に各自で取り組み、理解できない問題や間違った問題の解説を個別に行い、理解を深める機会を提供します。 | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 尾藤 健 『文系学生のための SPI3 完全攻略問題集』 高橋書店 2028 年度版 ISBN978-4-471-45105-9 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 小杉 拓也 『改訂版 小学校 6 年間の算数が 1 冊でしっかりわかる問題集』 かんき出版 2020 年 小杉 拓也 『改訂版 中学校 3 年間の算数が 1 冊でしっかりわかる問題集』 かんき出版 2021 年 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|--|------|-----|-----------|--|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | | |
| 科目名 | SPI 演習Ⅱ | L32069 | 後期 | 講義 | 2 | | | | | |
| 担当教員 | 宮澤 傳二 | | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 本授業では、日本の就職試験で実施される「SPI」の非言語分野に焦点を当て、実践的な演習を行います。前期に開講された「SPI 演習 1」で学んだ数学の基礎知識を活用し、実際の SPI 問題を解きながら試験対策を行います。短期大学生の多くは、就職活動において SPI 試験の重要性を認識しながらも十分な対策ができていません。本講義では、問題形式に慣れ、解法のスピードと正確性を向上させることを目的とします。実践演習を重ね、試験本番に向けた自信をつけることを目指します。 | | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. SPI 試験の非言語分野の出題形式に慣れる。 2. 実際の SPI 問題を通じて、解法のスピードと正確性を向上させる。 3. 文章題や論理的思考問題に対応できる応用力を身につける。 4. グラフや表を活用し、正確なデータ分析を行う力を養う。 5. 就職試験本番で、時間配分を意識しながら効率的に問題を解けるようになる。 | | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. SPI の非言語分野の問題形式と試験対策の概要 2. 整数・四則演算・文字式等の実践演習 3. 方程式・三平方の定理等の実践演習 4. 割合・比の問題と応用(損益算)演習 5. 仕事算・濃度算の応用演習 6. 速度・距離・時間に関する問題の演習 7. 場合の数・確率の演習 8. 集合・論理問題の実践演習 9. 文章題の解法トレーニング 10. 判断推理・位置関係・順序関係の演習 11. 図表問題の実践練習 12. 空間把握・展開図・積み木の演習 13. 模擬試験①(時間制限あり) 14. 模擬試験②(時間制限あり) 15. 総まとめ(復習・質疑応答) | | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業内で扱う問題に関する復習を行い、解けなかった問題は再度チャレンジしてください。また、授業前にはテキストの問題を事前に確認し、解ける部分を試してみることが重要です。SPI 試験の問題に慣れるため、授業以外でも問題集を活用し、毎回少しずつ解く習慣をつけましょう。 | | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | テキストの問題集を使い、毎回 10 分程度の復習を行ってください。また、事前学習として、授業で扱う単元の基本的な計算練習を 10 分程度行うことを推奨します。 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | | |
| | 試験 | 20 | | | | | | | | |
| | 実践 | 80 | 授業内で与えられた課題を解きながら数学の基礎知識の活用力、応用力を養います。 | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | | |
| | その他 | 0 | | | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 課題は学生の理解度に応じて設定し、問題になれることを大事にします。問題を解く楽しさを味わい、解けた達成感を大事にします。間違えた問題を見直すことで、理解を深める機会を提供します。 | | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 尾藤 健 『文系学生のための SPI3 完全攻略問題集』高橋書店 2028 年度版 ISBN978-4-471-45105-9 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 小杉 拓也 『改訂版 小学校 6 年間の算数が 1 冊でしっかりわかる問題集』かんき出版 2020 年 小杉 拓也 『改訂版 中学校 3 年間の算数が 1 冊でしっかりわかる問題集』かんき出版 2021 年 | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 地域経営実習 L34070 | 通年 | 実習 | 2 | |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | |
| 授業の概要 | 飯田市が運営する学輪 IIDA 地域経済フィールドスタディに参加します。私たちが日々生活をしている地域に地域経済・経営の視点を持って入り、地域の経済・経営について考えましょう。他大学の学生とも意見交換などを通じ交流する機会にもなります。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 地域経済・経営の基礎的、理論的な知識が修得できる。 2. 地域経済振興に取り組む組織、企業、市民活動等のレクチャーから課題解決力を修得できる。 3. 関心を同じくする者たちとの能動的な学びから自己教育力を鍛錬できる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | 1. オリエンテーション：学輪 IIDA 地域経済フィールドスタディの概要 【事前学習：8月上旬】 2. 地域経済振興の基本的な考え方を学ぼう 3. ソーシャルキャピタルの理論 4. 地域資源を活かした着地型観光 5. コミュニティと地域経済 6. 地域資源と地域内経済循環 【地域経済フィールドスタディ：8月中旬】 7. 飯田市長の講話：「日本一住みたいまちになる！」 8～11. 地域経済フィールドスタディ ※A. コミュニティ・B. 地域資源を活かした産業・C. ツーリズム ※A～Cよりコースを選択 12. 調査のまとめ 13. 調査報告 14. 体験アクティビティ 【学輪 IIDA 全体会：1月下旬】 15. 学輪 IIDA 全体会公開セッション ※内容は変更になる場合があります。1回目のオリエンテーションで詳細をお伝えします。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習や地域経済フィールドスタディからの学びは常に記録していきましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 5時間程度 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 50 | グループワーク・調査報告・発表 | | |
| | レポート | 50 | 最終レポート（興味・関心・知識・理解・思考） | | |
| | その他 | 10 | 参加態度・意欲・興味 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 【事前学習：8月上旬】【地域経済フィールドスタディ：8月中旬】【学輪 IIDA 全体会：1月下旬】の3部構成です。詳細については、決定し次第お伝えします。 | | | | |
| 使用テキスト | 資料配布 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|---------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 臨床医科学 L32071 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 三浦 弥生・北林 ちなみ | | | | |
| 授業の概要 | 医療事務に必要な体のしくみと疾患のなりたち及びその治療や検査項目等について学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 医療事務の基礎知識として必要な疾病およびその発生機序や治療法を理解する。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | 1. 呼吸器系疾患：①気管支喘息②気管支炎 2. 呼吸器系疾患：③肺炎④肺気腫⑤肺がん 3. 循環器系疾患：①狭心症②心筋梗塞 4. 循環器系疾患：③不整脈④心不全⑤心筋症 5. 造血器系疾患：①貧血②白血病③悪性リンパ腫 6. 婦人科系疾患：①子宮筋腫②子宮内膜症③子宮がん④卵巣嚢腫⑤乳腺炎⑥乳腺症⑦乳がん 7. 消化器系疾患：①胃潰瘍②十二指腸潰瘍③胃がん④大腸がん⑤虫垂炎 8. 消化器系疾患：⑥肝炎⑦肝硬変⑧肝がん⑨胆石症⑩膵炎⑪膵がん 9. 内分泌系疾患：①糖尿病②バセドウ病 10. 泌尿器系疾患：①腎炎②腎不全③尿路結石症④前立腺肥大 11. 運動器系疾患：①骨折②椎間板ヘルニア③変形性関節症④関節リウマチ⑤骨粗鬆症 12. 感覚器系疾患：①白内障②緑内障③眼底出血④網膜剥離 13. 感覚器系疾患：①中耳炎②副鼻腔炎③扁桃炎④アデノイド 14. 感覚器系疾患：眩暈 15. 脳神経系疾患：①頭蓋内出血②脳梗塞③脳腫瘍 | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：体のしくみを「ぜんぶわかる人体解剖図」で確認しておいてください。 事後学習：資料やテキストに目を通し、内容の理解に努めてください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 1 時間程度 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 90 | 疾病・治療・検査および体のしくみの理解 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 臨床医科学への関心・意欲・態度（授業への取り組み） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 分からないことは是非、授業の中で質問をしてください。その場で疑問を明らかにしていきましょう。 | | | | |
| 使用テキスト | 病気の地図帳 山口和克 講談社 五改訂病院で受ける検査がわかる本 高木康 田口進 法研 2022 ぜんぶわかる人体解剖図 坂井建雄・橋本尚詞, 成美堂出版 | | | | |
| 参考書 | 臨床医科学入門 石田均 板倉弘重 志村二三夫 田中清 光生館 2010 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|----------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 12 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 臨床心理学 L32072 | 後期 | 講義 | 2 | |
| 担当教員 | 坂上 ちおり | | | | |
| 授業の概要 | 高齢者や障害者の心理を学ぶことを通して、支援の基本的な姿勢について考えを深めます。 | | | | |
| 到達目標 | <p>(知識・理解)(思考・判断) 高齢者の方やその家族、障害を持つ方と関わるにあたり、その方の人生やこころを心理学の理論に基づいて考えを深めることができる。また支援者の陥りやすい危険について意識を持つことができる。</p> <p>(関心・意欲・態度) 高齢者や障害者について、理解したいという気持ちを持つことができる。</p> | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・支援の基本的態度について：自分の傾向を知るワーク 2. 発達とは： 老年期を中心とした生涯発達理論 3. 学習・記憶・知能 4. 遺伝と環境・動機づけ・自己概念 5. 適応機制・人格など 心理臨床の考え方 6. 高齢者対象の心理療法：バリデーション・回想法 7. 老年期の人の心理 『野いちご』 8. 中年期の人の心理・介護による成長・家族システム論 9. 人間関係の形成・ストレスマネジメント 10. 「支援をするということ」「死」について考える 11. 障害の概念・障害や疾患の受容 12. 知的障害・精神障害 13. 大人の発達障害 14. 発達障害者の就労とその支援 15. 総括 | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前学習：老年期の人、障害を持つ方と多くの関わりを持つこと。また、時事問題に関心を持っておくこと。</p> <p>事後学習：講義で説明された考え方や心理学の理論について、自分はどのようなことを考えたのかを整理してまとめておくと良い。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各回のテーマや理論について30分ほど、関連するテキスト等を読んでおいてください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 40 | 最終のレポート | | |
| | その他 | 60 | 6回のワークに対するリアクションペーパー | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | リアクションペーパーについては、採点次第、授業内で返却をしています。その際、修正すべき点や加筆ポイントをアドバイスしています。提出済みのリアクションペーパーに加筆して、再提出した場合には加算して、返却します。 | | | | |
| 使用テキスト | なし | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------------|------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | 学校保健 | L21073 | 1年 前期 | 講義 | 2 | 必修 | | | |
| 担当教員 | 澤田 有香 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 学校保健安全法等を中心に法律によって説明される学校保健や養護教諭の職務の根拠について学校保健実務必携等により理解を深める。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 学校保健はどのような領域で構成され、どのような職種の人がかかわっているかを知り、チームワークで推進していることが理解できる。また、その法的根拠と実際の学校保健活動が理解できる。生きる力を育むことや現代的な子供の健康課題解決への支援を理解できる。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | | ○ | ○ | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 「学校保健の概要・オリエンテーション」学校保健の概要を知る。 「学校保健の構造（保健教育、保健管理、組織活動）」学校保健の構造を理解する。 「学校保健計画」学校保健計画を立て、教職員や保護者の共通理解のもと、実行していくことの重要性を知る。 「学校保健関係者と学校保健組織活動」学校保健関係者のそれぞれの役割を理解し、組織活動の重要性を知る。 「保健教育」保健教育は、教科保健と特別活動における保健の指導、保健指導から成り、計画的かつ系統的に行われていることを知る。 「健康相談」健康相談の意義・基本的プロセスについて学ぶ。 「健康観察」健康観察の重要性と目的を学び、子供たちの具体的なサインについて知る。 「健康診断①」健康診断の変遷・目的・意義・種類を知る。 「健康診断②」児童生徒等の健康診断の実施の流れを理解する。 「疾病の予防と管理」疾病管理の目的・注意事項・実際について理解する。 「感染症予防」学校における感染症予防について理解する。 「学校環境衛生」学校環境衛生活動の目的と学校環境衛生基準について理解する。 「心身の健康問題への支援（現代の子供の実態、支援方法）」心身の健康問題の現状を知り、その支援について理解する。 「保健室及び保健室経営」保健室設置に関する法的根拠と保健室経営の重要性について学ぶ。 「学校保健を効果的に推進するための方策」今までの学びを総合的にとらえ、学校保健を効果的に推進するための方策を考える。 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 養護教諭の職務の基礎・基本となる科目です。覚えることが多いので、要点をまとめたプリントを用意します。毎回必ず復習し、一つ一つ確実に身に付けていきましょう。事前に実務必携の該当ページを読んでから授業に臨んでください。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前・事後にそれぞれ 30 分～1 時間程度を要する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 70 | 知識・理解 | | | | | | |
| | 実践 | 0 | | | | | | | |
| | レポート | 20 | 知識・理解 提出物（ノート点検） | | | | | | |
| | その他 | 10 | 授業態度 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | しっかり復習し、わからないことは質問してください。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 「学校保健実務必携」第 6 次改訂版 第一法規 | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|------------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 養護概説 L22074 | 1年 後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 澤田 有香 | | | | |
| 授業の概要 | 養護教諭の専門性と職務内容について学び、養護教諭に求められる資質や望ましいあり方について理解を深める。 | | | | |
| 到達目標 | 養護教諭の専門性と職務内容について理解し、どのように養護活動を行っていくかグループワーク等で互いに協力して考えることができる。また、養護教諭に求められる資質やあり方を理解し、自己評価することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 保健管理 2 児童生徒の健康診断① 2. 保健管理 2 児童生徒の健康診断② グループワーク 3. 保健管理 2 児童生徒の健康診断③ 模擬職員会議の実施 4. 保健管理 3 健康観察① 実施方法を考える 5. 保健管理 3 健康観察② 実施方法の発表 6. 保健管理 4 疾病管理・予防 7. 健康相談及び保健指導① 8. 健康相談及び保健指導② 事例検討 9. 保健教育① 教科保健と保健の指導 10. 保健教育② 教科保健と保健の指導（歯科） 11. 先輩の話を聞く会 12. 保健室経営① 保健室の機能 13. 保健室経営② 保健室経営計画 14. 保健室経営③ 保健室経営計画 15. 保健組織活動 養護概説まとめ | | | | |
| 事前・事後学習について | 養護教諭として有すべき知識を確実に定着させ、執務内容を深く理解するために、事前に教科書を読んでおき、事後にノートを見返しまとめるなどします。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前 30 分、事後 1 時間程度を要する。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 70 | 知識・理解 養護教諭の職務内容についてその概要を理解することができる | | |
| | 実践 | 10 | 思考力・判断力・表現力・協調性 グループ活動での積極性 | | |
| | レポート | 10 | 提出物 ノート点検含む | | |
| | その他 | 10 | 授業態度 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 養護教諭に求められる資質について理解し、その職務について積極的に学ぼうとする真摯な姿勢が必要になります。ぜひ積極的に発言し、発表し、質問してください。また、グループワークでは協働的な姿勢が求められます。 | | | | |
| 使用テキスト | 「新養護概説」第 14 版 采女智津江 少年写真新聞社 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示します。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|-------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 健康相談活動 L23075 | 2年 前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 小平 寿美子 | | | | |
| 授業の概要 | 1年で学んだ体の病気や心の不調についての知識をもとに、心身両面からの児童生徒の健康状態の把握の仕方、適切な健康相談活動のプロセス等について、演習等により理解する。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭が行う健康相談活動の意義、プロセスについて理解する。 ・児童生徒の様々な心身の健康上のニーズに対して、養護教諭の職務の特質や保健室の機能を活かした対応ができる。 ・事例研究や連携を行う方法について理解する。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「健康相談の基本的理解」学校における健康相談活動の概略について学ぶ。 2. 「児童生徒の心身の健康課題の現状と背景」社会の変化と子供の健康問題と養護教諭の役割について学ぶ。 3. 「養護教諭の職務の特質及び保健室の機能を活かした健康相談活動」様々な資源の健康相談活動への活かし方について学ぶ。 4. 「健康相談活動に関連する諸理論」健康相談活動の基本となる諸理論と技法について学ぶ。 5. 「健康相談活動の原理・構造と必要な資質能力・技能」健康相談活動のプロセスと行う姿勢について学ぶ。 6. 「健康相談活動の初期対応」気づきから判断の過程、分析、関係者との連携について学ぶ。 7. 「健康相談活動に活かすカウンセリングの技法」基本的なカウンセリング技法についてロールプレイを通して学ぶ。 8. 「健康相談活動におけるヘルスアセスメント」ヘルスアセスメントの方法を理解し、ロールプレイを通して学ぶ。 9. 「保健室での健康相談活動」保健室での対応を想定した課題で、ロールプレイを通して学ぶ。 10. 「別室登校の捉え方と対応」保健室登校等の別室登校の教育的意義を理解し、望ましい支援体制と養護教諭の役割について学ぶ。 11. 「問題に応じた対応」児童虐待やいじめへの対応や自然災害及び事件事故等の心のケアの進め方について学ぶ。 12. 「健康相談活動における連携」健康相談活動における連携の意義について学び、どのように連携するか学ぶ。 13. 「健康相談活動の記録と事例研究」健康相談活動における記録の意義・目的・方法について学ぶ。事例研究の方法と進め方について体験的に学ぶ。 14. 「健康相談活動の評価」健康相談活動における評価について学ぶ。 15. 「健康相談に活用できる心理テスト他」保健室で使える簡単な心理テストやゲームについて学ぶ。全体まとめと確認 | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前に必ずテキストの該当ページを読んでから授業に臨んでください。当日の演習を効果的に進めるために事前に課題を出すこともあります。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 30分～1時間程度の時間を要する。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 60 | 知識・理解 | | |
| | 実践 | 30 | 技能・判断力・表現力 ロールプレイの実践 ワークシート提出 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 意欲的な学習態度 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | ロールプレイでは、知識を実践に活かせるよう互いに協力し合ってください。互いに有益なフィードバックを心がけてください。 | | | | |
| 使用テキスト | 「新訂 養護教諭が行う健康相談・健康相談活動の理論と実践」 三木とみ子・徳山美智子 ぎょうせい | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 看護学 I L21076 | 1年 前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 三浦 弥生・北林 ちなみ | | | | |
| 授業の概要 | 看護とは何かを理解したうえで、主な病気とその看護について学びます。また、看護の対象である人間を理解するうえで必要な体のしくみについても合わせて学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 看護とは何かを理解する。 2. 主な病気とその看護を理解する。 3. 看護の対象である人間を理解するうえで必要な体のしくみを理解する。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | 1. 学校看護概論：看護とは（F. ナイチンゲールの看護理論から） 2. 運動器（骨）の病気と看護（体のしくみ：骨） 3. 運動器（筋肉）の病気と看護（体のしくみ：筋肉） 4. 消化器の病気と看護（体のしくみ：消化器） 5. 泌尿器の病気と看護（体のしくみ：泌尿器） 6. 脳神経の病気と看護（体のしくみ：脳神経） 7. 呼吸器の病気と看護（体のしくみ：呼吸器） 8. 口腔・鼻腔の病気と看護（体のしくみ：口腔・鼻腔・唾液腺） 9. 循環器の病気と看護（体のしくみ：循環器①） 10. 循環器（冠状動脈・刺激伝導系）の病気と看護（体のしくみ：循環器②） 11. 造血器の病気と看護（体のしくみ：血液） 12. 性感染症と看護（体のしくみ：生殖器） 13. 感覚器（目）の病気と看護（体のしくみ：目） 14. 感覚器（耳）の病気と看護（体のしくみ：耳） 15. 特別な支援を要する病態と看護：医療的ケア | | | | |
| 事前・事後学習について | 体のしくみについて毎時間課題を提示します。*次の授業の冒頭で小テストを行います。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 小テストの課題を課しますので、準備学習には1時間ほど必要です。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 50 | 主な病気とその看護についての理解 | | |
| | 実践 | 40 | 体のしくみについての小テスト（毎時間行います） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 看護への関心・意欲・態度（授業への取り組み状況） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 小テストは採点、添削して次の授業の冒頭で返却します。必要があれば授業内で解説を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 「ぜんぶわかる人体解剖図」 坂井建雄・橋本尚詞 成美堂出版 「養護教諭、看護師、保健師のための学校看護」 新版 遠藤伸子・池添志乃・籠谷恵 東山書房 | | | | |
| 参考書 | 随時紹介 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|----------------------------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | 看護学Ⅱ | L22077 | 後期 | 講義 | 2 | 必修 | | | |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 学校における子どもの疾病・異常について、学校保健実務必携にある疾患・異常について学ぶ。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 学校における子どもの疾病・異常を理解することができる。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | | ○ | | | | | | | |
| 授業計画 | 1. 整形外科疾患①：学校の運動器疾患・障害 2. 整形外科疾患②：脊柱・上肢・股関節・下肢 3. 整形外科疾患③：スポーツ外傷 4. 眼科疾患①：感染性・アレルギー性・屈曲・眼位 5. 眼科疾患②：その他の疾病及び異常・色覚異常 6. 耳鼻咽喉科疾患①：中耳炎・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎・扁桃肥大・扁桃炎 7. 耳鼻咽喉科疾患②：嗄声・難聴・眩暈 8. 皮膚科関連：感染症・感染症以外の疾患 9. 歯科口腔外科関連 10. 寄生虫症 11. 内科疾患①：先天性心疾患 12. 内科疾患②：川崎病・心筋症・心筋炎 13. 内科疾患③：不整脈 14. 内科疾患④：腎臓の疾患 15. 内科疾患⑤：糖尿病 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：学校保健実務必携の授業で取り扱う箇所を一読して授業に臨んでください。 事後学習：授業の内容を振り返るための課題を授業冒頭に配布します。事後学習としてその課題を自宅で行ってください。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 1～2 時間程度 学校保健実務必携の授業で取り扱う箇所を一読し、わからないところを使用テキストや参考書等で確認する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 90 | 定期試験。学校における子どもの疾病・異常・予防の理解 | | | | | | |
| | 実践 | 0 | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | |
| | その他 | 10 | 授業態度 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 授業で配布する課題(自宅学習用)に質問があれば、次の授業の冒頭で解説を行います。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 学校保健実務必携 第4次改訂版 第一法規 こどもの病気の地図帳 鴨下重彦・柳沢正義 講談社 改訂版 学校の運動器疾患・障害に対する取り組みの手引き 運動器の10年・日本協会 ぜんぶわかる人体解剖図 坂井建雄 橋本尚詞 成美堂出版 | | | | | | | | |
| 参考書 | 新版 養護教諭、看護師、保健師のための学校看護 遠藤伸子 池添志乃 龍谷恵 東山書房 | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|----------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 看護学実習 L21078 | 前期 | 実習 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | |
| 授業の概要 | 学校看護の基本的な技術を、根拠と看護観に基づきながら学びます。 本実習は実務家教員の授業で、看護師免許、保健師免許を有する教員が担当する科目である。看護に関する実務家としての視点、臨床での経験を交えて、学生に対して授業を展開していく。 | | | | |
| 到達目標 | 養護教諭として学校現場で求められる看護の知識と技術を習得する。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 看護技術①：コミュニケーション：看護者と患者のコミュニケーション過程、コミュニケーションの実際 2. フィジカルアセスメント①：バイタルサイン（呼吸・体温・意識）の測定 3. フィジカルアセスメント②：バイタルサイン（血圧・脈拍）の測定 4. 看護技術②：包帯法（三角巾） 5. 看護技術③：包帯法（巻軸帯・チューブ包帯） 6. 看護技術④：環境整備（ベッドメイキング） 7. 看護技術⑤：環境整備（シーツ交換・寝衣着脱） 8. 看護技術⑥：安楽な体位（ボディメカニクス・良肢位・体位） 9. 看護技術⑦：感染予防技術（標準予防策：スクラブ法・ラビング法・个人防护具・洗浄・消毒・滅菌） 10. 看護技術⑧：移動・移送（車いす・担架・松葉杖） 11. 看護技術⑨：食事の援助 12. 看護技術⑩：罨法（湯たんぽ・アイスバック） 13. フィジカルアセスメント③：目・鼻・口腔・頸部・腹部のアセスメント 14. フィジカルアセスメント④：胸部（呼吸器・循環器）・脳神経のアセスメント 15. 総括：看護技術・フィジカルアセスメントの技術確認 | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前・事後学習は課しません。看護技術は何度も行うことで確かな技術として身に付きます。演習は何度も繰り返してできるよう授業を進めていきますので、できないからと諦めることのないように、意欲的に演習に臨んでください。包帯・三角巾を配布します。必要な人は自宅でも包帯法を練習してみましょう。そのほかの看護技術についても自己学習したい場合はその旨申し出てください。出来得る限り対応します。 「臨床実習」履修予定者は、医療機関での学外実習の基礎知識となります。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 1 時間程度 (復習：包帯法・バイタルサイン測定の技術の修得) | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 60 | 基本的な看護技術の理解 | | |
| | 実践 | 30 | 基本的な看護技術の実践 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 看護技術への関心・意欲・態度（演習への取り組み状況） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | ノート（A4 サイズの資料が貼付できる大きさ）と糊を用意してください。ノートは定期試験終了時に集め、評価項目【その他】の評価とします。わからないこと、疑問に感じたことなどはぜひ授業時間に質問してください。その場で技術も交えて解説します。 | | | | |
| 使用テキスト | 新版 養護教諭、看護師、保健師のための学校看護 遠藤伸子 池添志乃 籠谷恵 東山書房 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 救急処置 L22079 | 1年後期 | 実習 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | |
| 授業の概要 | 学校等において発生する突発的な事故及び病気の対応と、医療へ繋ぐまでの救急処置が落ち着いてできるように演習をしながら学びます。授業前半は疾病やフィジカルアセスメント、救急処置についての知識を主に学習し、後半は実際の学校での救急場面を想定した事例を基に演習を行います。 | | | | |
| 到達目標 | 病气やけがによる保健室来室者に対し適切なフィジカルアセスメントができる。 知識を基に、周りの人と連携しながら落ち着いて、適切な救急処置を実施することができる。 心配蘇生法を確実に身につけ、とっさの時に落ち着いて正確に実施することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | | | |
| 授業計画 | 1. 救急処置で大切なこと 救急処置の基本：RICE 処置・体位・包帯法・バイタルサインの確認 2. 創傷：切創・擦過創・刺創・咬創・指の切断 3. 骨折・脱臼・捻挫・突き指：副子・弾性包帯を用いた固定 4. 筋肉・腱・靭帯・関節の痛み 5. 心肺蘇生法：①一次救命処置 6. 心肺蘇生法：②気道異物除去 7. 心肺蘇生法：③ファーストエイド（止血・熱傷など） 8. 打撲：①頭頸部と目（頭蓋内出血・眼窩底骨折・鼻出血） 9. 打撲：②歯・口（歯牙脱臼・歯牙破折・口腔内出血） 10. 打撲：③胸部・腹部・腰部・背部（心臓振盪・内臓損傷・腸管損傷） 11. 熱中症 12. 呼吸困難：気管支喘息・過換気症候群・気胸 13. 食物アレルギー：アナフィラキシーショック・エピペンの使い方 14. 意識障害：低血糖症状・てんかん発作 15. 総括：演習のまとめ（事例） | | | | |
| 事前・事後学習について | 上級救命講習を受講してください。※別途連絡します | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 上級救命講習に 8 時間程度を要す | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 60 | 知識・理解：救急時の処置についての基本的な知識が理解できる。 | | |
| | 実践 | 30 | 技能・判断力：救急時の適切な処置ができる。 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業中の態度・演習に向かう態度・意欲 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | わからないことはその都度質問してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 新版 学校救急処置 監修草川功 農文協 先生！大変です！どうしたらいいですか！！ 監修玉川進 東山書房 | | | | |
| 参考書 | 学校の応急処置がよくわかる 著玉川進 東山書房 新版 養護教諭、看護師、保健師のための学校看護 東山書房 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|----------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 臨床実習 L22080 | 後期 | 実習 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 三浦 弥生 | | | | |
| 授業の概要 | <p>「看護学ⅠⅡ」「看護学実習」で得た知識を基礎におき、実際の医療機関において医療や看護がどのように行われているか見学、体験することで、養護教諭として必要な医療や看護の知識の向上をはかります。</p> <p>本講義は実務家教員の授業で、看護師・保健師免許を有する教員が担当する科目である。看護、医療に関する実務家としての視点、臨床での経験を交えて、学生に対して授業を展開していく。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関を理解することができる。 2. 医療機関で行われている医療や看護を理解することができる。 3. 養護教諭として知っておくべき医療・看護を理解することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関の理解：①医療機関の理念や地域における役割を知る 2. 医療機関の理解：②医療機関の部署や組織間の連携を知る 3. 医療機関の理解：③医療機関と地域との連携を知る 4. 医療や看護を理解する：①看護の実際を知る 5. 医療や看護を理解する：②救急医療、周産期医療、災害支援及び医療機関の危機管理等の実際を知る 6. 医療機関で行われる医療や看護を理解する：③社会的弱者の医療とその対応の実際を知る 7. 医療機関で行われる医療や看護を理解する：④地域包括ケア及び心のケアの実際を知る 8. 養護教諭として知っておくべき医療・看護を理解する：①基礎看護技術の見学・体験をする 9. 養護教諭として知っておくべき医療・看護を理解する：②医療や看護の実際を見学する 10. 総括：カンファレンス | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前・事後学習については事前に行う「学内オリエンテーション」でその内容を示します。2週間の病院実習です。健康障害をもった方々が実際に治療、療養する病院という場所での学びです。実習で学ぶ視点を明確に持ち意欲的に実習に臨んでください。また、自らの健康管理を十分に行ってください。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>概ね2～3時間程度</p> <p>*準備学習は時間より内容が大切です。わからないところを理解してから実習に臨んでください。</p> | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 40 | 基礎看護技術の理解 (体験・見学), 実習意欲・態度 | | |
| | レポート | 30 | 実習内容の理解 | | |
| | その他 | 30 | 臨床実習記録の作成 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>受講上の注意・課題は「学内オリエンテーション」で説明します。記録は評価後すべて返却します。</p> | | | | |
| 使用テキスト | 臨床実習要項 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 保健管理 L22081 | 1年後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 澤田 有香 | | | | |
| 授業の概要 | 学校保健、保健管理は養護教諭の職務の基礎・基本となる科目である。1年前期で学んだ学校保健の保健管理について、具体的にどのように動き、児童生徒の健康を支援するかを学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | ①児童生徒の定期健康診断の進め方や事後措置について具体的に理解できる。 ②学校環境衛生検査の基準と方法、適切な衛生管理について理解できる。 ③学校において予防すべき感染症の種類と予防方法、個人・集団発生時の対応について理解できる。 ④学齢期に注意すべき疾病及び異常について理解できる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | 1. 「児童生徒等の健康診断の実際①」(保健調査・検診方法) 2. 「児童生徒等の健康診断の実際②」(健康診断票・学級保健簿の記入と管理) 3. 「児童生徒等の健康診断の実際③」(器材管理・歯式記入) 4. 「児童生徒等の健康診断の事後措置①」(勧告書の記入と管理) 5. 「児童生徒等の健康診断の事後措置②」(成長曲線の作成と評価) 6. 「児童生徒等の健康診断の事後措置③」(身長別標準体重、肥満度、肥満度曲線の作成と評価) 7. 「教職員健康診断・就学時健康診断」 8. 「学校環境衛生検査の実際①」(実施方法) 9. 「学校環境衛生検査の実際②」(衛生基準) 10. 「学校環境衛生検査の実際③」(検査の体験と結果の評価) 11. 「感染症の予防と対応①」(集団発生時の対応) 12. 「感染症の予防と対応②」(嘔吐時の対応) 13. 「学齢期に注意すべき疾病及び異常①」全員で分担し、調べてまとめる 14. 「学齢期に注意すべき疾病及び異常②」全員で分担し、調べてまとめる 15. 「学齢期に注意すべき疾病及び異常③」発表し、全員で知識を共有する | | | | |
| 事前・事後学習について | 養護教諭の職務の基礎・基本となる科目です。法令や基準、マニュアルなどを十分に読み込み理解する必要があります。毎回プリントを用意しますので、必ず復習をし、一つ一つ確実に身に付けていきましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 1時間程度要する。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 70 | 知識・理解 | | |
| | 実践 | 10 | 技能・発信力 | | |
| | レポート | 10 | 提出物(ノート点検) | | |
| | その他 | 10 | 授業態度 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 課題を適宜、指示します。プリント類は全てノートに貼り付けて復習しやすいよう保管してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 「学校保健実務必携」第6次改訂版 第一法規 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|----------------------------------|------|------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | 保健養護概論 | L21082 | 1 年前期 | 講義 | 2 | 必修 | | | |
| 担当教員 | 澤田 有香 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 養護教諭はどのような職務を担っているのか、職務の変遷や現代的な健康課題、学校保健のあり方などから、その概要を学ぶ。養護教諭の資質を理解し、児童・生徒に寄り添い、保護者・職員・地域と連携を図り活動していくことのできる養護教諭を目指し学んでいく。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 養護教諭は目の前の子ども一人一人の成長に寄り添い、その健やかな発達と幸せを目指し、子どもを取り巻く人々と協働して、養護を推進していることが理解できる。さらに、グループワーク等を通して積極的にチームで協働できる。また、問題に応じた養護活動について自分なりに考えることができる。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 授業計画 | 1. オリエンテーション 養護教諭を目指す 2 年間の学習の流れ 自己紹介 2. 自分の目指す養護教諭像 3. 養護の概念 養護教諭の専門性や資質 4. 子どもの現代的な健康課題について① まとめ 5. 子どもの現代的な健康課題について② 発表 6. 学校教育と学校保健 7. 養護教諭の歴史・執務 8. 養護教諭の職務 各自まとめ 9. 養護教諭の職務 概説 10. 養護実習報告から養護教諭の執務を学ぶ① 11. 養護実習報告から養護教諭の執務を学ぶ② 12. 養護実習の心得と事前訪問について 13. 保健管理 学校における救急処置 14. 災害共済給付金制度 日本スポーツ振興センターの手続きの仕方 15. 災害共済給付金制度 日本スポーツ振興センターの手続きの仕方 (実習) | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業前には教科書を読み、事前の予習を行います。また、授業後には大切なことをまとめ復習します。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 事前 30 分、事後 1 時間程度要する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 70 | 知識・理解 養護教諭の執務についてその概要を理解することができる | | | | | | |
| | 実践 | 10 | 思考力・判断力・表現力・協調性 グループ活動での積極性 | | | | | | |
| | レポート | 10 | 提出物(ノート点検含む) | | | | | | |
| | その他 | 10 | 授業態度 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 教育者としてまた、養護教諭としての資質について常に意識しながら授業に臨んでください。 毎時間課題を持って授業に臨み、授業中はしっかりノートを取り、わからないことは積極的に質問してください。 養護教諭の執務では、常に周囲と協働することが大切です。積極的にグループ学習を行ってください。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 「新養護概説」第 14 版 采女智津江 少年写真新聞社 | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|-----------------------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | 養護特講 | L24083 | 後期 | 講義 | 2 | 選択 | | | |
| 担当教員 | 安富 和子 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>養護実習や授業で学んだ知識や方法について復習し、更に具体的指導法についての学びを深めていく。二年間でついた力を確認し、養護教諭としての資質を身につけていく。</p> <p>本講義は実務家教員の授業で、養護教諭免許を有する教員が担当する科目である。養護教諭の実務家としての視点、学校現場での経験を交えて、学生に対して授業を展開していく。</p> | | | | | | | | |
| 到達目標 | <p>① 養護教諭の執務について理解する</p> <p>② 手づくり教材を使った保健指導ができる</p> <p>③ 性教育・初経指導の実際について学び、指導できるようになる</p> <p>③ 心肺蘇生法・AEDの使用方法和校内連携について理解し実践できるようにする</p> <p>④ 咀嚼指導と歯科指導について具体的に学び、保健指導ができるようになる</p> <p>⑤ 二年間の学びから養護教諭として身につけている力と、ついていない力について自己分析する</p> <p>⑥ 4月から養護教諭の職に就くための心構えと、準備について学び理解する</p> | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | | | ○ | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 後期の計画と養護教諭の進路について・令和8年度養護教諭の就職状況について 養護教諭の執務についての復習と振り返り① 養護教諭の執務についての復習と振り返り② 手洗い指導資料の作成 手洗いチェッカーの作成① 手洗い指導資料の作成 手洗いチェッカーの作成② 手洗いチェッカーを使った保健指導の実際 養護教諭の就職について個人面接と履歴書の記入について 感染症の予防に配慮した歯科保健指の実際 心肺蘇生法とAEDの使い方 「アスカモデル」から学ぶ校内連携の在り方 小学生の咀嚼の実態とその指導方法及び歯科保健指導について かみかみセンサー使用方法 養護教諭の歩んだ道 口腔細菌の観察と今後の進路について 性教育 二次性徴について 初経指導の実際 ・長野県養護教諭育成指標のチェックリストの実施 養護教諭として4月から勤務する時の心構えと新年度の準備について 後期の反省 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>養護教諭の職に就いた時に、必ず役立つ保健指導教材を作ります。養護教諭を目指す学生さんは是非受講し、養護教諭の職に就いたときに、自分の宝物として指導に使ってもらうため丁寧に作ってください。</p> <p>養護教諭として勤務する場合の具体的なことについて学びますので、しっかりノートを取り、復習し、疑問があれば積極的に聞いて学んでください。</p> | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <p>教材づくりの時間は十分にとってありますが、欠席等で、時間通りに完成できなかった場合は、各自制作し完成させて提出してください。</p> <p>養護教諭の執務についての具体的な授業内容については、復習時間毎回 30分</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 0 | | | | | | | |
| | 実践 | 90 | 思考力・判断力・表現力・技能・行動力・態度 | | | | | | |
| | レポート | 5 | 2回提出 提出状況 | | | | | | |
| | その他 | 5 | 授業態度・協調性・協力度・積極性 | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>作業は安全に心掛け、手早くスムーズに行い時間内に完成させるように努力する。</p> <p>レポートの提出期限は厳守し、授業に使用する物品は忘れ物がないように事前に確認する。</p> <p>養護教諭として特に重要な内容について学びます。繰り返し学び身につけ、養護教諭の職に就いた時に使えるように復習をしておいてください。</p> | | | | | | | | |
| 使用テキスト | <p>テキストは使用しません。必要に応じて資料を用意します。</p> <p>手洗いチェッカーの箱代 300 円。ブラックライト 1400 円を集合します。</p> | | | | | | | | |
| 参考書 | <p>必要な場合はその都度資料を用意します。</p> | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|-------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 養護診断 L23084 | 2年 前期 | 演習 | 1 | 選択 |
| 担当教員 | 小平 寿美子 | | | | |
| 授業の概要 | 保健室に様々な訴えをもって来室する児童生徒に対して、養護教諭が実施する問診や検診、処置や対応の仕方を理論に基づき具体的に習得し、実際の場面で慌てず確実に対応できるための知識と技術を身につけていきます。保健室来室者のおもな傷病について対応ができるように学びます。 | | | | |
| 到達目標 | 保健室来室者の救急処置について、特に頻度の多いものについて、正しい知識と技術、理論をもとに、適切に判断し対応することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 養護教諭の専門性におけるフィジカルアセスメント「保健室来室者の対応の仕方についての演習を行う」 2. 養護教諭が行うフィジカルアセスメントの考え方・すすめ方 3. 子どもの訴えに応じた救急処置（足首捻挫） 4. 子どもの訴えに応じた救急処置（歯牙破折） 5. 子どもの訴えに応じた救急処置（突き指） 6. 子どもの訴えに応じた救急処置（熱傷、擦り傷・刺し傷等） 7. 子どもの訴えに応じた救急処置（過呼吸） 8. 子どもの訴えに応じた救急処置（腹痛・急性虫垂炎） 9. 子どもの訴えに応じた救急処置（頭痛・頭部打撲） 10. 子どもの訴えに応じた救急処置（眼部打撲） 11. 子どもの訴えに応じた救急処置（熱中症） 12. 子どもの訴えに応じた救急処置（喘息） 13. 子どもの訴えに応じた救急処置（インフルエンザ、アナフィラキシーショック） 14. 心肺蘇生法 事例への対応 15. スクールソーシャルワーカーの職務内容と役割 外部講師による | | | | |
| 事前・事後学習について | 1年後期に学んだ救急処置を復習しておく。演習での自己評価に基づいて、再度復習するなど事後学習に取り組む。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 30分～1時間程度要する。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 60 | 救急場面での適切な応急処置や保健指導の実践 | | |
| | レポート | 30 | 救急場面での効果的な救急処置や保健指導の在り方 | | |
| | その他 | 10 | 意欲的な学習態度 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 演習で互いにフィードバックを行い、かつ自己評価します。そのためにも1年時に学習したことをしっかり復習して参加してください。 | | | | |
| 使用テキスト | 1年時に救急処置で使用したテキストを使用します。 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示します。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 養護処置 L24085 | 2年 後期 | 演習 | 1 | 選択 |
| 担当教員 | 小平 寿美子 | | | | |
| 授業の概要 | 様々な事例について、養護診断した結果に基づきどのように養護処置を行うか演習していきます。また、特別活動における養護実践なども取り入れていきます。 | | | | |
| 到達目標 | 様々な事例で的確に養護診断し、必要な養護処置を実施できる。さらに発展的に具体的な養護実践を行うことができる。また、校種による対応の違いが理解できる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 体験学習オリエンテーション（特別支援学校について） 2. ～5. 特別支援学校での体験学習 6. 体験学習の振り返り 7. 養護診断と養護処置 養護実習での体験の共有 一連の流れについて1つの事例をもとに確認する 8. 事例による演習 内科的事例① 9. 事例による演習 内科的事例② 10. 事例による演習 外科的事例① 11. 事例による演習 外科的事例② 12. ヒヤリハット事例分析（グループディスカッション） 13. 行事での救急処置（グループ演習） 14. アレルギー対応研修（グループ演習） 15. けいれん対応研修（グループ演習） | | | | |
| 事前・事後学習について | 既習の養護診断・養護処置に関する知識を確認する。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 予習（30分程度）、資料・プリントなどを読む（30分程度） | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 70 | 事例への取組（養護診断・処置のプロセス）など | | |
| | レポート | 20 | 実践の振り返り | | |
| | その他 | 10 | 意欲的な学習態度 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | グループで演習を行います。それぞれの知識、経験、判断をシェアし、よりよい養護処置ができるように協力し合いスキルアップしましょう。実践の振り返りをその都度まとめて提出します。 | | | | |
| 使用テキスト | なし | | | | |
| 参考書 | 適宜資料を配布 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教職論 L21086 | 1 年前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 中井 文彦 | | | | |
| 授業の概要 | 教職の意義や教員の使命・役割、サービスや職務内容などを学び、今求められている学校・学級経営や教師像などについて考えていく。その際、ペアやグループでのディスカッションや外部講師の講義聴講などを通して、理解や考えを深めていく予定である。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員に求められる資質能力・使命感、教員の役割、教育公務員としての身分とサービス、職務内容、さらに学校における教育活動全般について理解することができる。 ・教員に求められる資質能力と学校を取り巻く社会の在り方を踏まえうえて、自らの理想とする教師像を語るすることができる。 ・教員の不幸事や学級崩壊などの教育課題を防ぐ学校の取組について考えることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義のねらい 教員になるために 教職の意義 2. 教育論と教師論 3. 教員養成制度の歴史と教員採用 4. 教員に求められる資質能力と教員の研修 5. 教員の職種・職階 6. 教育法規と教員のサービス 7. 教員のサービス規程と身分保障 8. 学校組織と校務分掌（チームで行う学校づくり） 9. 教員の不幸事をなくすための学校の取組【ペア討議】 10. いじめや学級崩壊と教職員の取組 11. 学級崩壊と学校の取組【グループ討議】 12. 児童生徒、保護者への対応 13. 理想の教師像 14. キャリア発達 15. 総括（教職を目指して） | | | | |
| 事前・事後学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修：授業計画を参考に、次の授業に関連する項目について調べる。 ・事後学修：授業での配付資料を読み返し、授業で紹介された参考文献等を読む。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | ・事前・事後学修に要する時間（1時間程度） | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 70 | 知識・技能 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 30 | 主体的な学習、思考・判断・表現（発言、振り返りシート等） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | ・子どもの前に立つ教師のあり方を常に考え、新聞やインターネットを通じて日頃から教育に関する情報を収集して授業に臨む。 | | | | |
| 使用テキスト | 教育小六法 2026 年版 学陽書房 | | | | |
| 参考書 | 教職論 2021 年 津田 徹／広岡義之 編著 ミネルヴァ書房 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|-----------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教育原理 L22087 | 1年後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 奥井 現理 | | | | |
| 授業の概要 | 教育や学校・教師の必要性や使命を考え、教員免許状を有するに値する人間としての姿勢を涵養する科目です。本来教育とは何か、本来教師は何をする職なのかを、深く考えましょう。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育の諸概念、教育の意義・使命（本質・目標）を理解し思考することができる ・地域、家庭、学校等における教育を、さまざまな位相から理解・思考することができる ・過去・現代（西洋・日本）における教育の歴史及び思想を学び、課題を見だし未来の教育を考察することができる | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> ワーク (1) 本講義のガイダンス（課題提示と演習、長期的課題学習の提示ほか） 序章 教育に関する〈ことば〉—その概念の規定 (1) 教育の理念や教育の定義を、まったくのゼロベースから考えてみましょう。 序章 教育に関する〈ことば〉—その概念の規定 (2) 「学校」や「人間形成」とは何であるかを、「教育」概念をもとに考えてみましょう。 「ホモ・エドゥカンドゥス（教育を必要とするヒト）」の来歴 (1) ルソーやカントなどの思想を学び、現代の教育観や子ども観の源流を学習します。 「ホモ・エドゥカンドゥス（教育を必要とするヒト）」の来歴 (2) 「子どもは教育を必要とする」という現代の教育観・子ども観を学習します。 〈学校〉の誕生とその発展 「学校」の誕生期から近代までの社会の変化・歴史的経緯及び思想を振り返ります。 ワーク (2) 新しい課題提示と演習ほか 公教育の黎明と受容過程——日本の学校教育 (1) 日本の公教育制度誕生から発展の歴史的経緯を学び、その教育観・子ども観の形成された歴史的・思想的経緯を振り返ります。 教育改革の動向と背景——日本の学校教育 (2) 平成以降の教育改革は、はたしていかなる教育理念や思想・制度の下に行われているのかを考察します。その際「学校・家庭・地域の連携」という方策で取り組まれる教育活動（安全教育・対応含む）を具体的にあげます。 生徒指導上の諸問題と教員の現在 学校安全や児童虐待をはじめとする具体的な課題を取扱い、考察します。乳児～児童への虐待問題への対応や、学校安全への対応等に、学校・家庭・地域で連携していかに取り組むべきかを考察します。 ワーク (3) 新しい課題提示と演習ほか 「教育を必要とする子供」の現実 (1) 実際には、子どもはどのように知識や技能を身に付けているのかを学習します。 「教育を必要とする子供」の現実 (2) 文化と人間形成との関連を考察します。 教えることの意味と公の教育への期待 (1) 人間が人間に「教える」とは、本当には何をしていることなのかを考察します。 教えることの意味と公の教育への期待 (2) 新たな教育理念や思想の方向付けを考えましょう。 | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業の終わりに、毎回のワークシート提出を求めます。これは次回に返却します。返却されたワークシートをノートに貼り付ける等して散逸を防ぎ、考察の手がかりとして下さい。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各自、必要ならば90分程度参考書等を学習して下さい。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | 知識ではなく思考・理解を問うペーパーテストを行います。 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 私語は厳禁です。 | | | | |
| 使用テキスト | 『教育の原理—子供・学校・社会をみつめなおす—改訂版』 紺野祐ほか著 学術出版会、2019年 | | | | |
| 参考書 | 適宜指定する。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|---------------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教育史 L22088 | 後期 | 講義 | 2 | 選択 |
| 担当教員 | 奥井 現理 | | | | |
| 授業の概要 | 未来の教育をよりよいものにするために、歴史上の多くの発想や実践、それらの成功や失敗の背景や経緯を講義します。多くの場合、最初の十数分にプリント練習、最後の十数分にプリント練習を生かす演習があります。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表的教育家の思想及びその歴史的影響を理解し知識として身につけることができる。 ・近代教育制度の成り立ちやその歴史的影響を理解することができる。 ・地域・家庭・学校等における教育・学習の歴史を理解し、その視点から現代的な教育課題を考察することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋教育思想の源流—古代・中世 (1) レトリックと教育 2. 西洋教育思想の源流—古代・中世 (2) 哲学と教育 3. 西洋教育思想の源流—古代・中世 (3) キリスト教と教育 4. 近代西洋の教育思想 (1) ルネサンスとヒューマニズム 5. 近代西洋の教育思想 (2) コメニウス 6. 近代西洋の教育思想 (3) ロック 7. 近代西洋の教育思想 (4) ルソー 8. 近代西洋の教育思想 (5) ペスタロッチ 9. 近代西洋の教育思想 (6) フレーベル 10. 近代西洋の教育思想 (7) ヘルバルト 11. 現代の教育思想 デューイと新教育 12. 日本の教育 (1) 近世以前の日本の教育 1 13. 日本の教育 (2) 近世以前の日本の教育 2～近世の日本の教育 1 14. 日本の教育 (1) 近世の日本の教育 2 15. ワーク (2) | | | | |
| 事前・事後学習について | 授業の前後に、知識を得るための学習活動を行います。そこで得られた知識と授業（講義）で記録したノートをてがかりに、理解を深めて下さい。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 必要に応じて、90 分程度参考書等を学習して下さい。授業で毎回提示される知識学習を復習するのもよいでしょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | 知識・理解 知識は 40 点、理解は 60 点のペーパーテストを行います。 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 私語は厳禁です。 | | | | |
| 使用テキスト | 『教育思想史』今井康夫ほか著（有斐閣アルマ、2009 年） | | | | |
| 参考書 | 適宜指定するが、コメニウス『世界図絵』、ルソー『エミール』、ペスタロッチ『シュタンツ便り』、デューイ『学校と社会』等は授業に組み込む形で必ず紹介される。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|---------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教育心理学 L21089 | 前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 坂上 ちおり | | | | |
| 授業の概要 | 子どもの発達や学習に関する基本的な心理学の理論を学びます。 | | | | |
| 到達目標 | ①子どもの行動や発達像、障害や疾患、②発達や学習に関する心理学の理論、③子どもの発達の評価・測定および分析の方法について基本的な知識を説明することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・研究法 2. 障害の種別と特別支援教育 3. 「発達」の基本的な考え方・ピアジェの理論 4. 乳児期の発達（愛着・愛着障害・情動調律） 5. 幼児期の発達①（情動の発達分化・心の理論・ことば） 6. 幼児期の発達②（自己概念・道徳性・遊び） 7. 児童・青年期の発達(エリクソン含) 8. 集団心理・集団で行う学習方法 9. 学習理論・記憶と動機付け 10. 「知能・性格」の基本的な考え方 11. 教育の評価と測定①・・・知能検査・性格検査 12. 教育の評価と測定②・・・検査の活用とまとめ 13. 最終レポートの書き方 14. 統計分析①・・・データの入力法 15. 統計分析②・・・T検定・相関・カイ二乗検定 | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：シラバスの授業計画で示された理論について、該当する教科書のページを読んでおくこと。 事後学習：講義のなかで示された理論について、自分のことばで説明できるようにまとめる。さらに、理論に沿って日常の子どもの様子を説明できると良い。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各回で紹介する理論について、教科書の該当するところを読んでおくこと（各回 30 分程度） | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 60 | 最終レポート：基本的知識の習得度・根拠に基づいた説明力 | | |
| | その他 | 40 | ワークに対するリアクションペーパー：根拠に基づいた説明力・意欲 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | リアクションペーパーについては、採点次第、授業内で返却をしています。その際、修正すべき点や加筆ポイントをアドバイスしています。提出済みのリアクションペーパーに加筆して、再提出した場合には加点して、返却します。 最終レポートについては、提出前の指導を複数回行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 教育・学校心理学 小山望（編著）建帛社 | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 特別支援教育論 L23090 | 2年前期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 中井 文彦・黒岩 長造 | | | | |
| 授業の概要 | 特別支援教育の意義や使命を学び、障害のある幼児・児童生徒ならびに、特別の教育的ニーズのある幼児・児童生徒の理解と支援方法について学修していく。その際、DVDの視聴や演習、グループディスカッションなどを通して理解や考えを深めていく予定である。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関する制度や、特別支援学校・特別支援学級ならびに通級指導教室の役割と概要、基本的な発達や育ちを理解することができる。 ・障害のある児童生徒や特別の教育的ニーズのある児童生徒への支援のあり方を理解し、実際に支援方法を身に付けることができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義のねらい・オリエンテーション 2. 発達障害の成長過程に伴う発達の変化（乳幼児期） 3. 発達障害の成長過程に伴う発達の変化（小学校期） 4. 発達障害の成長過程に伴う発達の変化（中学校期） 5. 発達障害の成長過程に伴う発達の変化（青年期・大人） 6. 発達障害の中の「学習障害」 7. 特別支援学校の学習指導要領と教育課程 8. 特別支援学校のセンター的機能と活用、他機関との連携 9. 個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成の意義と作成方法 10. 学習のユニバーサルデザインと合理的配慮 11. 特別支援教育を進める教師の在り方① 12. 「知的障害」と発達障害 13. さまざまな検査法・療法 14. 特別支援教育を進める教師の在り方② 15. 障害以外に特別支援の必要な幼児、児童及び生徒について | | | | |
| 事前・事後学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修：授業計画を参考に、次の授業に関連する項目について調べる。 ・事後学修：授業での配付資料を読み返し、授業で紹介された参考文献等を読む。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | ・事前・事後学修に要する時間（1時間程度） | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 50 | 知識・技能 | | |
| | その他 | 50 | 主体的な学習、思考・判断・表現（発言、振り返りシート等） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 分からないことがあったら質問をしてください。 | | | | |
| 使用テキスト | 必要な資料を配付します。 | | | | |
| 参考書 | 生徒指導提要（令和4年12月）文部科学省/著 東洋館出版社 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|------------------------------|------|-----|-----------|--|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | | |
| 科目名 | 教育課程・生徒指導論 (生活科学専攻) L21091 | | 1 年前期 | 講義 | 2 | 必修 | | | |
| 担当教員 | 中井 文彦・北原 幹久 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 学校における教育活動の全体計画である教育課程の編成方法を理解し、その基準となる学習指導要領について、変遷と現状を把握し、諸外国の教育課程も学修していく。また、生徒指導の理論や方法、カリキュラム・マネジメントを行う意義などについて考え合う。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義を理解し、各学校で編成する際の基礎的知識や方法を習得することができる。 ・学習指導要領の変遷と現状、諸外国の教育課程の特色を理解することができる。 ・生徒指導の理論や方法を理解し、カリキュラム・マネジメントの在り方を考えることができる。 | | | | | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義のねらいと概要「教育課程とは何か」（教育課程編成の意義と役割・機能など） 2. 教育課程改革の歴史（教科カリキュラムと経験カリキュラム） 3. 我が国の教育課程の変遷 1（江戸・明治の教育の変遷） 4. 我が国の教育課程の変遷 2（大正期と戦時下の教育） 5. 学習指導要領の変遷 1（戦後の教育改革など） 6. 学習指導要領の変遷 2（学力問題を中心に） 7. 学習指導要領の変遷 3（生きる力と現在の教育） 8. 教育課程編成の基本問題 9. 教育課程の実践・評価とカリキュラム・マネジメント 10. 諸外国の教育課程（日本の教育課程を相対的にとらえる） 11. 生徒指導「概論」（生徒指導の意義と重要性、校務分掌上の役割、日々の取組など） 12. 生徒指導の理論と実際（いじめ防止など） 13. 教科外学習（特別活動・道徳教育・総合的な学習の時間など） 14. 今日的課題と教育課程（命の教育、自己肯定感を育むなど） 15. 教育課程と生徒指導（総括） | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修：授業計画を参考に、次の授業に関連する項目について調べる。 ・事後学修：授業での配付資料を読み返し、授業で紹介された参考文献等を読む。 ・特に、小中学校学習指導要領「総則」「保健体育科」「家庭科」から、保健指導や食に関する指導について必ず目を通しておくこと。 ・教育実習に生きるように、体育・保健体育、特別活動、総合的な学習の時間等における健康教育について自分の考えをまとめておくこと。 | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | ・事前・事後学修に要する時間（1 時間程度） | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 70 | 知識・技能 | | | | | | |
| | 実践 | 0 | | | | | | | |
| | レポート | 0 | | | | | | | |
| | その他 | 30 | 主体的な学習、思考・判断・表現（発言、振り返りシート等） | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む際、自分の意見をまとめてきてください。 ・わからない事があったら質問をしてください。 | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）文部科学省/著 東洋館 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）文部科学省/著 東山書房 | | | | | | | | |
| 参考書 | 新版 教育課程カリキュラムマネジメント入門 大学図書出版 生徒指導提要（令和 4 年 12 月）文部科学省/著 東洋館出版社 「生徒指導入門～ブレない生徒指導の極意とは～」寺崎賢一（明治図書） | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|-----------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 道徳・特別活動・総合的な学習の時間論 L22092 | 後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 奥井 現理 | | | | |
| 授業の概要 | 道徳教育と特別活動とは、相互に補完しあいながら子どもの能力や資質を育てています。総合的な学習の時間をはじめとする他領域の教育活動との連携を視野にいれつつ、道徳の本質や道徳教育の目標といった内容から、特別活動の目標・実践にいたるまで、教育を広い視野で見通し、自らの教育者としての役割や使命を考えていく授業になります。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の目標や内容をふまえたうえで、道徳の本質・道徳教育の歴史・道徳教育の課題・子どもの心身の発達及び道徳性の発達などの基礎的理解を得ることができる。 ・学習指導要領の目標や内容をふまえたうえで、特別活動の特質・内容・課題の基礎的な理解を得ることができる。 ・総合的な学習の時間との連携を視野に入れた特別の教科道徳・特別活動の教育活動を、授業をする者としての視点で構想することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別の教科道徳とは（各教科等他領域との関連。総合的な学習の時間の内容も扱い、関連付ける） 2. 道徳教育の目標（道徳性） 3. 道徳教育の基礎理論（道徳の本質） 4. 道徳教育の基礎理論（道徳性、子どもの心身の発達をふまえた道徳性発達） 5. 道徳教育の基礎理論（実践を視野にいれた概念整理） 6. 道徳教育の実践（教育活動全体における道徳教育の役割をふまえて） 7. 道徳教育の実践（教育方法） 8. 道徳教育の実践（評価） 9. 特別活動の目標（総合的な学習の時間の内容も扱い、関連付ける） 10. 特別活動の目標（諸目標及び育成されるべき資質・能力） 11. 特別活動の理論・実践（教育活動全体における特別活動の役割をふまえて） 12. 特別活動の理論・実践（教育方法） 13. 特別活動の理論・実践（具体的な教育活動・指導） 14. 特別活動の理論・実践（家庭や地域・外部との連携） 15. 特別活動の評価（教職員間との連携、評価） | | | | |
| 事前・事後学習について | 毎回、B5 もしくは B4 のワークシートを配布・返却します。適時的にもとめられる事前・事後学習があればそれに記します。それ以外は、返却されたワークシートをノートに貼り付け、思いついたことを書き込むという形で、事前・事後学習を行って下さい。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各自、必要ならば 90 分程度参考書等を学習して下さい。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 100 | 知識ではなく思考・理解を問うペーパーテストを行います。 | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 私語は厳禁です。 | | | | |
| 使用テキスト | 小学校学習指導要領（最新版）文部科学省/著 東洋館 中学校学習指導要領（最新版）文部科学省/著 東山書房 | | | | |
| 参考書 | 適宜指定します。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-----------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教育方法論 I (生活科学専攻) L22093 | 1 年後期 | 演習 | 1 | 必修 |
| 担当教員 | 中井 文彦・北原 幹久 | | | | |
| 授業の概要 | 教育実習の意義や目標、児童生徒と対する教師としての心構えなど、養護教諭としての基礎的な在り方や考え方を学ぶ。その際、学外授業参観と現職養護教諭による講話を予定している。そして、グループで学習指導案作成や授業準備を進め、代表者が保健授業を行う。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に自信をもって取り組めるように学習指導案作成、教材研究、板書計画、教材資料作りなどの方法を理解し自分のものとするができる。 ・教育実習における心構えや学校現場の在り方を幅広く理解することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本授業のねらいと概要、授業のあり方、教材研究 2. 参観学習指導案の事前検討と授業参観の視点・授業記録のとり方 3. 保健学習授業の実際 <飯田市内の学校 授業参観> 4. 保健学習授業を振り返って (授業の観方・指導内容・評価等) 5. 教育実習の意義と目的、保健室の相談機能 6. 養護教諭の役割・職務と保健教育 7. 外部講師による講話「保健室経営の工夫と今後の課題」(仮) 8. 講話の振り返り、学習指導案の書き方と主眼・評価の決め出し方 9. 模擬授業の計画 (授業者・題材テーマ決定等)、板書・発問のあり方 10. 学習指導案の立案・授業準備① 授業研究の進め方 11. 学習指導案の立案・授業準備② 教育機器の活用 12. 学習指導案の立案・授業準備③ 保健室経営 13. 模擬授業と振り返り① 14. 模擬授業と振り返り② 15. 総括 (教育実習に向けての準備、評価) | | | | |
| 事前・事後学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修：養護教諭になろうという目標を明確にイメージして授業に臨む。 ・事後学修：学習指導案を書くことを通して、授業展開を構想する。 ・来年度の教育実習校を想定しながら、小中の保健領域の指導内容を予習・復習する。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | ・授業の内容に合わせて必要な時間準備してください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 50 | 知識・技能 (学習指導案作成) | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 50 | 主体的な学習、思考・判断・表現 (感想記入用紙、振り返りシート等) | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | ・将来の養護教諭の姿をイメージして、授業に取り組んでください。 | | | | |
| 使用テキスト | 保健、保健体育教科書 (小学校 3・4 年、小学校 5・6 年、中学校) 小学校学習指導要領解説 体育編 (平成 29 年告示) 文部科学省/著 東洋館 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (平成 29 年告示) 文部科学省/著 東山書房 | | | | |
| 参考書 | 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 文部科学省/著 東洋館 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 文部科学省/著 東山書房 「教育方法論」 谷田貝公昭他編 一藝社 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|-----------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教育方法論Ⅱ（生活科学専攻） L23094 | 2年前期 | 演習 | 1 | 選択 |
| 担当教員 | 中井 文彦 | | | | |
| 授業の概要 | 教育実習の意義、児童生徒と相対する教師としての心構えなど、養護教諭としての基本的な在り方を学び、保健教育の在り方を追究して、一人一人学習指導案を作成し、授業公開を行い互いに研究し合う。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭としての教育実習の体験を通して、学習指導案作成、教材研究、板書計画、教材資料作りなどの方法を理解し、自分のものとするができる。 ・教育実習の成果と課題を確認し、養護教諭の在り方や学校現場の実際を幅広く理解することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義のねらいと概要・教育実習と養護教諭による保健教育 2. 教育実習の心得について 3. 保健教育と学習指導要領 4. 教材研究のあり方（板書、教科書の扱い、資料・学習カードの作成） 5. 教育機器・情報機器を活用した教材の作り方 6. 模擬授業・授業研究会①小学校低学年：食事と栄養、食育 7. 模擬授業・授業研究会②小学校低学年：歯科保健 8. 模擬授業・授業研究会③小学校高学年：食事と栄養、食育 9. 模擬授業・授業研究会④小学校高学年：歯科保健 10. 模擬授業・授業研究会⑤小学校高学年：性教育 11. 模擬授業・授業研究会⑥中学校：食事と栄養、食育 12. 模擬授業・授業研究会⑦中学校：歯科保健 13. 模擬授業・授業研究会⑧中学校：性教育 14. 模擬授業・授業研究会⑨授業評価 15. 授業総括（養護教諭になるための心構えと夢） | | | | |
| 事前・事後学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修：児童生徒の前に立つ自分の姿を思い浮かべながら、模擬授業を構想する。 ・事後学修：教育実習の成果と課題を整理しつつ、模擬授業のまとめを行う。 ・養護教諭となった時を想定し、保健業務体系を整理して、即戦力となれる力を磨いていく。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容に合わせて必要な時間準備してください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 75 | 知識・技能、思考・判断・表現（学習指導案作成・模擬授業の実際） | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 25 | 主体的な学習、思考・判断・表現（発言、感想記入用紙、模擬授業準備） | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業の事前の準備をしっかり行う。 ・模擬授業を受ける（参加する）場合は授業のいいところと改善したいところを見極め、自分の授業に生かしていく。 | | | | |
| 使用テキスト | 保健、保健体育教科書（小学校3・4年、小学校5・6年、中学校） 小学校学習指導要領解説 体育編（平成29年告示）文部科学省/著 東洋館 中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年告示）文部科学省/著 東山書房 | | | | |
| 参考書 | 小学校学習指導要領（平成29年告示）文部科学省/著 東洋館 中学校学習指導要領（平成29年告示）文部科学省/著 東山書房 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教育相談(生活科専攻) L22095 | 後期 | 講義 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 坂上 ちおり | | | | |
| 授業の概要 | 教員の行う教育相談活動、学校不適應や子どもにまつわる今日的な課題の現状、そして教育相談を行う際の臨床心理学の基本的な知識について学びます。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談活動について理解し、多職種の連携のもと支援計画を立てることができる。 ・学校不適應や子どもにまつわる現代的な課題の現状を理解し支援計画を立てることができる。さらにその支援計画について担任や保護者に説明することができる。 ・学校職員として子どもの支援に関わる際の心理臨牀的な方法を身に着ける。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 心理臨牀の基本的な考え方 3. 面接の進め方 4. 学校場面で活かすカウンセリングの基本技術 5. エンカウンター・子どもと関わる際の小道具 6. 校務分掌における教育相談の位置付け・スクールカウンセラーの職務 7. スクールカウンセラーとの学内における連携 8. 学校不適應の現状と支援① 暴力・不登校・いじめ・学級崩壊 9. 学校不適應の現状と支援② 精神疾患・人格障害・性・児童虐待 10. 発達障害のある児童生徒の学内場面における困り感とその支援 11. 発達障害のある人の幼少期と青年期以降の発達 12. 学校外の関係機関との連携・緊急支援 13. 架空事例のアセスメントと支援計画の立て方 14. ストレスマネジメント・うつおよび自殺と自傷行為 15. コラージュ | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>事前学習:本講義内で伝えられることはあくまでも教育相談における基本的な知識・考え方だけです。この基本的な知識・考え方を組み立て、子どもの支援について方針を立てていく力を身につけていくためには、講義以外の様々な経験を積み想像力を働かせていく必要があります。この力を日常で鍛えておいてください。特に、心動かされる沢山の経験を短大時代にしてほしいと思います。</p> <p>事後学習:講義内で学んだ基本的な考え方を、保護者や担任に説明できるようにまとめておくことと良い。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各回で紹介する理論について、関連する資料等該当するところを読んでおくこと (各回 30 分程度) | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 30 | 「話を聴く」基本的な姿勢・自己理解 | | |
| | レポート | 30 | 最終レポート: 基本的知識の習得・アセスメント力 | | |
| | その他 | 40 | リアクションペーパー: 体験したことについて根拠に基づいた説明ができる | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>リアクションペーパーについては、採点次第、授業内で返却をしています。その際、修正すべき点や加筆ポイントをアドバイスしています。提出済みのリアクションペーパーに加筆して、再提出した場合には加点して、返却します。</p> <p>最終レポートについては、提出前の指導を複数回行います。</p> | | | | |
| 使用テキスト | | | | | |
| 参考書 | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|------------------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 養護実習指導 (1年) L22096 | 1年 後期 | 講義・実習 | 1 | 必修 |
| 担当教員 | 小平 寿美子 | | | | |
| 授業の概要 | <p>養護実習の意義や目的、内容、学校教育活動、養護教諭の執務などを理解し、教育実習生としての実践的な能力を習得し、実習に向けての準備を行う。</p> <p>実習における保健教育について、各自テーマを決め、保健の指導、ほけんだより、掲示物の関連性を考えて作成し発表する。</p> <p>本講義は実務家教員の授業で、養護教諭免許を有する教員が担当する科目である。養護教諭の実務家としての視点、学校現場での経験を交えて、学生に対して授業を展開していく。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>養護実習の意義や目的、内容について理解することができる。</p> <p>養護実習で取り組む保健教育について、保健の指導、ほけんだより、掲示物の関連性を考えながら指導の構想を考え指導、制作、発表ができる。</p> <p>養護実習に対する自主的・自律的な態度を養うことができる。</p> | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 「養護実習の目標と内容」 夏休み中の学校訪問の報告 「養護実習の準備から終了までの取り組み」 「ほけんだよりの発表と検討」 「集団対象の健康教育」「ほけんだよりの書き方」 「教育を目指した教職員の協働」 「保健教育の実践 テーマの選択 校種別検討」 「子どもと過ごす学校生活と環境」「保健教育の実践 テーマの決定と構想作成」 「養護教諭の執務と保健室」 「保健教育の実践 資料探しと指導案等作成」 保健室見学 「保健教育の実践 資料探しと指導案等作成」 小中学校における保健の指導の実際 外部講師による 「保健教育の実践 資料探しと指導案等作成」 「保健教育の実践 資料探しと指導案等作成」 「保健教育の実践発表」 「保健教育の実践発表」 「保健教育の実践発表」 「保健教育の実践発表」 第2回訪問についての確認 実習計画書記入 挨拶文作成 | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前訪問については、実習受け入れ校に対して失礼のないように、事前に内容を確認し臨むこと。実際の学校における児童生徒への指導を想像し、保健の指導 (10 分間)、ほけんだより・掲示物の関連性を考え保健教育の構想をする。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各自必要な時間準備をしてください。 夏休み：ほけんだより、春休み：自己紹介ボード 各自作成に取り組みてください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 知識 保健教育 (指導、ほけんだより、掲示物) の資料作成と実践発表 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 授業への取り組み | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>養護実習の目標を常に意識して学習を進めていく。</p> <p>保健教育の実践については制作時間を十分にとって行うが、各自事前の資料や道具の準備をしっかり行い授業に臨むこと。</p> <p>クラス内でのコミュニケーションを心がけ、互いに切磋琢磨し協力して進める。</p> | | | | |
| 使用テキスト | 「養護実習ハンドブック」大谷尚子・中桐佐智子著 (東山書房) | | | | |
| 参考書 | その他必要な資料はその都度用意します。 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|-----------------------------|-------|-------|-----|-----------|--|--|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | | | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 | | |
| 科目名 | 養護実習指導 (2年) L22096 | | | 2年 前期 | 講義・実習 | 1 | 必修 | | |
| 担当教員 | 小平 寿美子 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>養護実習の意義や目的、内容、学校教育活動、養護教諭の執務などを理解し、養護実習で実践する保健管理、保健教育、組織活動についての知識技能の再確認を行う。</p> <p>学校現場での学校保健に係わる実際を体験することを通して、学校における健康に関わる専門職としての自覚や態度を身につける。実務経験（現場の教員等）のある教員の科目。</p> | | | | | | | | |
| 到達目標 | <p>養護実習に対して自主的・自律的な態度で臨めるよう、養護実習の意義や目的、内容について理解し、事前準備をすることができる。</p> <p>養護実習後の報告、まとめ等を行うことを通して自分の課題をもつことができる。</p> | | | | | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | | | | | |
| | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 「養護実習の目的と意義」 実習日程の確認 事前訪問の報告と実習の事前準備 「子どもの心身の健康管理のための活動と保健室経営」 「保健室来室者への対応と養護教諭の執務」 実習の事前準備 実習における基本的なマナーや態度、持ち物確認 「学校教育計画と保健室経営計画、学校組織について」 「学校教育現場における保健室の役割と養護教諭の執務」 「緊急時における校内体制 学校保健の組織体制」 お礼状の作成 実習報告会の方法、準備 ※教員採用選考面接指導 実習報告会の準備 ※教員採用選考面接指導 実習報告会 実習報告会 実習報告会 実習報告会 実習全体の振り返りと課題 養護実習のまとめ ※個人面接 | | | | | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>養護実習前に1年次の学修を振り返り復習しておく。</p> <p>実習後は報告会に備え、実習の学び、反省点等をまとめ、これまでの学修を実践的に捉え直すこと。お礼状は1週間以内に書き感謝の気持ちを伝える。</p> <p>各種提出物は、丁寧に書き期限内に確実に提出する。</p> | | | | | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 各自必要な時間準備をしてください。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | | | | | |
| | 試験 | 0 | | | | | | | |
| | 実践 | 70 | 表現力・判断力 実習報告 | | | | | | |
| | レポート | 20 | 自己紹介ボード、保健だより・日誌・指導案・報告書の提出 | | | | | | |
| | その他 | 10 | 授業への取り組み | | | | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>養護実習の目標を常に意識して事前準備をしっかり行い、養護実習をむかえられるようにする。</p> <p>実習の課題に沿って計画的に学習を進め、新聞等に目を通し、社会情勢や現代的な健康課題について常に情報を得ていく。</p> <p>教壇に立つことを考え、話す速さ、声の大きさ、姿勢等、相手に伝わる話し方を心がけるとともに、相手の話を聴く共感する、理解するなどコミュニケーションを大切にする。</p> | | | | | | | | |
| 使用テキスト | 「養護実習ハンドブック」大谷尚子・中桐佐智子（東山書房） | | | | | | | | |
| 参考書 | その都度用意します | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|-------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 養護実習 L23097 | 2年生 通年 | 実習 | 3 | 必修 |
| 担当教員 | 澤田 有香・小平 寿美子 | | | | |
| 授業の概要 | 3週間（15日間）の実習を通して、学校保健や養護教諭の職務の実際に触れ、実践的能力を高める。本実習は実務家教員の授業で、養護教諭免許を有する教員が担当する科目である。養護教諭の実務家としての視点、学校現場での経験を交えて、学生に対して授業を展開していく。 | | | | |
| 到達目標 | 養護教諭としての実践的基礎的な資質能力を身に付ける。今までの学修内容をより深く理解し、実践につなげようとする。児童生徒、教職員と養護教諭として良好なコミュニケーションを図ろうとする。また実習を通して養護教諭としての適性について見つめる機会とする。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <p>1. 15日間の養護実習は小学校・中学校のいずれかの学校を決定し、実習校の方針に基づき実習を行うものとする。</p> <p>2. 養護実習は、学内で学んだ事柄を具体的な教育場面で検証することができる。また学校現場での問題や課題を直に感じ取り、理解することができる。そして現場での体験により、既習事項の理解を深め、発展させていくことができるものである。</p> <p>3. 養護実習の目標</p> <p>①学校教育活動や児童生徒理解を深める</p> <p>②学んだ事柄を実際に試みる</p> <p>③実践的研究の基礎的能力を培う</p> <p>④教員としての基本的な態度や心構えを理解する</p> <p>⑤自らの能力・適性を自己評価し、必要な学習課題を得る</p> <p>4. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育計画と学校組織についての理解 ・学校保健活動と保健室や養護教諭の役割についての理解 ・児童生徒の健康課題と組織的対応の理解 ・保健管理体制の理解 ・保健室経営計画・執務計画 ・保健室来室者への対応 ・保健室整備・備品管理 ・健康教育の実践と研究 ・実習の記録とまとめ ・自己評価 | | | | |
| 事前・事後学習について | 実習前は既習事項を再度確認し、実習に臨んでください。また、実習校より事前の課題が提示された場合は、指示に従って準備してください。実習後は、実習を振り返り、まとめます。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 特に定めません。各自必要な時間取り組んでください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 97 | 実習校の校長及び担当教諭、養護教諭の評価による | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 3 | 実習への意欲と態度 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <p>実習は15日間必要です。</p> <p>教職員としての態度や心構えを持って臨んでください。</p> <p>報告・連絡・相談をしっかりと行います。</p> <p>学内担当教員に相談したいことがある場合は、あらかじめ連絡してください。</p> | | | | |
| 使用テキスト | 「養護実習ハンドブック」 大谷尚子・中桐佐智子著（東山書房） | | | | |
| 参考書 | 学校保健実務必携など、必要に応じて参照してください。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 教職実践演習（養護教諭） L24098 | 後期 | 演習 | 2 | 必修 |
| 担当教員 | 奥井 現理・澤田 有香 | | | | |
| 授業の概要 | 養護教育養成課程における二年間の学びを統合するための科目です。毎回課題が提示され、それに取り組むことを通して、自分の学んできたこと、他の学習者が学んできたこと、新しく学んだことなど、多くの学びを統合してゆきます。 | | | | |
| 到達目標 | 実践的な内容に関する研究活動を通して、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけることができる。グループによる活動やペアワーク等を通して、教員にふさわしい社会性や対人関係能力を身につけることができる。事例研究・場面指導・模擬授業等を通して、各人が身につけてきた養護教諭としての実践的な知識や技能を統合することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 「コミュニケーションを高めるために—児童生徒と養護教諭」ロールプレイングを通して、児童生徒と養護教諭の気持ちを体験・理解します。 「コミュニケーション力を高めるために—保護者と養護教諭(1)」ロールプレイングを通して、保護者と養護教諭の気持ちを体験・理解します。 「コミュニケーション力を高めるために—保護者と養護教諭(2)」ロールプレイングを通して、保護者と養護教諭の気持ちを体験・理解します。 「学校保健計画を作成・提案しよう (1)」学校保健計画を立案します。 「学校保健計画を作成・提案しよう (2)」学校保健計画を発表します。 「保健室を設計・発表しよう (1)」集団で保健室を設計・発表します。 「保健室を設計・発表しよう (2)」集団で設計した保健室を製作します。 「保健室を設計・発表しよう (3)」集団で保健室を製作し、発表に向けた準備を行います。 「保健室を設計・発表しよう (4)」集団で保健室を製作し、発表に向けた準備を行います。 「保健室を設計・発表しよう (5)」集団で保健室を発表・見学します。 「保健室を設計・発表しよう (6)」集団で保健室を発表・見学します。 「保健学習計画を立案・発表しよう (1)」系統的な保健学習計画を研究立案します。 「保健学習計画を立案・発表しよう (2)」系統的な保健学習計画を研究立案します。 「保健学習計画を立案・発表しよう (3)」系統的な保健学習計画の研究・立案、発表の準備を行います。 「保健学習計画を立案・発表しよう (4)」保健学習計画の発表・聴講・質疑応答を行います。 このほか、卒業研究発表会で6-11回の成果を発表します(このための活動の評価も評定に含まれます)。 | | | | |
| 事前・事後学習について | <p>特別の予習は必要ありません。復習として、ポートフォリオの作成、提出を原則として毎回求めます。ポートフォリオにするためのノートは、通常の大学ノート (B5 版) よりも、ワンサイズ大きい A4 版が望ましいです。</p> <p>これまでの学習物 (授業や実習で作成した指導案、レポート、作品その他) をなくさないように、保管しておいてください。</p> <p>ポートフォリオ作成のために、糊とハサミが必要になります。糊は、テープ糊だと学習物が歪まず、かつ手軽なので、とてもおすすめです。</p> | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 必要に応じ 90 分程度までを目安に、折に触れてノートを見返し、思いついたことや今後必要となっていることを書き足しましょう。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 100 | 原則としてポートフォリオ評価 40% (理解、思考、判断等)、毎回のパフォーマンス 60% (思考、判断、表現、技能、意欲、態度等) です。 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 私語は厳禁です。 | | | | |
| 使用テキスト | 印刷物を配布します。大学ノート (A4 版が望ましい) を各自用意してください。 | | | | |
| 参考書 | <p>小学校学習指導要領解説 体育編 (最新版) 文部科学省/著 東洋館</p> <p>中学校学習指導要領解説 保健体育編 (最新版) 文部科学省/著 東山書房</p> <p>高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (最新版) 文部科学省/著 東山書房</p> <p>教師のためのモンスターペアレント対応 55 諏訪耕一編著 黎明書房</p> | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|---------|--------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 1 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | ゼミナール I (生活科学専攻) L11099 | 1、2 年通年 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 担当教員 | | | | |
| 授業の概要 | 学科の教員がそれぞれの専門分野からテーマを設定し、学生が選択し受講します。専門分野を深めたい、専門以外の分野も体験してみたい・・・など自分の学びや興味を広げるチャンスです。少人数制で行われ、専攻をこえて学べるのもメリットの 1 つです。ゼミナールの学びが卒業研究へと発展することもあります。 | | | | |
| 到達目標 | 自分の学びや興味を広げる。または、専門分野を深める。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | 各教員がそれぞれの専門分野からテーマを設定し、年間 15 回実施します。 (テーマ例) 映画で時事対策 映画で学ぶ発達心理学 Choice Theory を学ぼう フェルト ～絵本の世界を作る～ 飯田市の社会教育資源から学ぶ 補食について考える 味覚の科学 食品について学ぼう！ コロナ禍および災害時の行動を考えよう ～運動（ウォーキングを含む）とバッククッキング～ おやきを作る | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：各回の実施内容を把握しておく。 事後学習：学習した内容について、各自で復習する。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業内で配布するプリントを事後学習として解いてください（毎回 1 時間程度）。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分 (%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 100 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | レポート課題に対する添削を行い返却します。 | | | | |
| 使用テキスト | 各教員の指示に従う。 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | ゼミナールⅡ (生活科学専攻) L13100 | 1、2年通年 | 演習 | 1 | |
| 担当教員 | 担当教員 | | | | |
| 授業の概要 | 学科の教員がそれぞれの専門分野からテーマを設定し、学生が選択し受講します。専門分野を深めたい、専門以外の分野も体験してみたい・・・など自分の学びや興味を広げるチャンスです。少人数制で行われ、専攻をこえて学べるのもメリットの1つです。ゼミナールの学びが卒業研究へと発展することもあります。 | | | | |
| 到達目標 | 自分の学びや興味を広げる。または、専門分野を深める。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | | | | |
| 授業計画 | 各教員がそれぞれの専門分野からテーマを設定し、年間15回実施します。 (テーマ例) 映画で時事対策 映画で学ぶ発達心理学 Choice Theoryを学ぼう フェルト ～絵本の世界を作る～ 飯田市探索～飯田市の社会教育資源に触れる～ 補食について考える 味覚の科学 食品について学ぼう！ コロナ禍および災害時の行動を考えよう ～運動（ウォーキングを含む）とパッキング～ おやきを作る | | | | |
| 事前・事後学習について | 事前学習：各回の実施内容を把握しておく。 事後学習：学習した内容について、各自で復習する。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 授業内で配布するプリントを事後学習として解いてください（毎回1時間程度）。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 0 | | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 100 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | レポート課題に対する添削を行い返却します。 | | | | |
| 使用テキスト | 各教員の指示に従う。 | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------|---------------------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 卒業研究 L53101 | 2年後期 | 演習 | 2 | |
| 担当教員 | 担当教員 | | | | |
| 授業の概要 | 生活科学専攻又は食物栄養専攻の学修成果をもとに自らの研究テーマを明確にし、そのテーマに対して、適切な方法（文献研究・調査・実験など）の学修をもとに自らの研究テーマにある課題に対する結論を導き出す、一連の過程を学びます。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマを明確にできる。 ・研究テーマを解決するうえで適切な方法（文献研究・調査・実験など）を用いて課題解決ができる。 ・結論に至る経過や、考察の根拠を明瞭且つ論理的に述べるができる。 ・論文の体裁を整え、卒業研究発表会で発表することができる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | | | ○ | | |
| 授業計画 | <p>【卒業研究の流れ】</p> <p>履修登録変更期間内に履修登録を行う。</p> <p>(5月中旬) 「卒業研究申込書」を教務課へ提出</p> <p>(12月初旬) 「卒業研究題目提出書」を教務課へ提出</p> <p>(1月初旬) 「卒業研究提出票」「卒業研究」を教務課へ提出</p> <p>【卒業研究の授業計画例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の進め方（スケジュールの確認） ・研究テーマの設定・課題の設定 ・先行研究のまとめ ・方法（文献研究・調査・実験など）の設定 ・研究・中間報告 ・卒業研究要旨の作成 ・発表用 Power point の作成 ・卒業研究発表・リハーサル <p>※担当指導教員の指導方法により授業計画の内容が異なります。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・自らの設定したテーマについて、常日頃から情報を収集する視点を持ちましょう。 ・指導教員と連絡を取り合い、率先して卒業研究に向き合いましょう。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 自らのテーマの課題解決に要する準備学修時間：概ね1時間程度 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 50 | 先行文献の検索及びそのまとめ、卒業研究発表での発表 | | |
| | レポート | 50 | 論文としての体裁及びその内容、判断力・思考力 | | |
| | その他 | 0 | | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | <ul style="list-style-type: none"> ・自らスケジュールを決め、課題解決に向けて計画的に学修をすすめていきましょう。 ・分からないことなどは、早め早めに担当教員に確認しましょう。 | | | | |
| 使用テキスト | 適宜指示する | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---|--------|-----------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 卒業制作 I L44102 | 後期 | 実習 | 1 | |
| 担当教員 | 田中 洋江・前澤 純子 | | | | |
| 授業の概要 | 2年間の学びの集大成として卒業制作に取り組み、展覧会で発表します。 | | | | |
| 到達目標 | 計画的に制作し、作品を完成させることができる。 各自テーマを追求し、素材や技法を活かした表現ができる。 展覧会の運営方法や、作品発表の意義を理解できる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果 1 | 学修成果 2 | 学修成果 3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <p>染め、織り、フェルト、ファッション、テキスタイルアートの中から1分野選択、制作。 (この中に希望分野がない場合は、イラストも可) デザイン系学生は、卒業制作 I、卒業制作 II の両方を履修することが望ましい(2分野履修)。 内容や進め方は、担当教員と相談しながら決定。 各分野の担当教員 染め、織り、フェルト、テキスタイルアート： 田中 ファッション： 前澤 イラスト：希望者がいる場合、相談します。 作品は「卒業制作展」で発表。そのための展覧会運営も学びます。 5月頃にミーティングを行い、詳細を説明します。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | 大きな作品を制作することになるので、時間が足りなくならないよう、計画的に進めましょう。 制作の進み具合をこまめに指導教員へ報告し、指導を受けてください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 納得いくまで準備時間をつくってください。 アイデアはクロッキー帳などに描きとめる癖をつけましょう。 参考資料は紙媒体をスクラップすることが望ましいです(一覧できるため)。 曖昧にせず、図書館などでよく調べてください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作や展覧会運営にかかわる姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 卒業制作展(学外)を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 各指導教員から資料の提示、プリントが配布されます。 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|-------|-----------------|-----|-----------|
| 対象学生 | 生活科学専攻 2 | 開講学期 | 授業形態 | 単位数 | 教員免許資格の有無 |
| 科目名 | 卒業制作Ⅱ L44103 | 後期 | 実習 | 1 | |
| 担当教員 | 田中 洋江・前澤 純子 | | | | |
| 授業の概要 | 2年間の学びの集大成として卒業制作に取り組み、展覧会で発表します。 | | | | |
| 到達目標 | 計画的に制作し、作品を完成させることができる。 各自テーマを追求し、素材や技法を活かした表現ができる。 展覧会の運営方法や、作品発表の意義を理解できる。 | | | | |
| 学位授与方針との 関連性 | 学修成果1 | 学修成果2 | 学修成果3 | | |
| | ○ | ○ | ○ | | |
| 授業計画 | <p>染め、織り、フェルト、ファッション、テキスタイルアートの中から1分野選択、制作。 (この中に希望分野がない場合は、イラストも可)</p> <p>デザイン系学生は、卒業制作Ⅰ、卒業制作Ⅱの両方を履修することが望ましい(2分野履修)。 内容や進め方は、担当教員と相談しながら決定。</p> <p>各分野の担当教員 染め、織り、フェルト、テキスタイルアート： 田中 ファッション： 前澤 イラスト：希望者がいる場合、相談します。</p> <p>作品は「卒業制作展」で発表。そのための展覧会運営も学びます。 5月頃にミーティングを行い、詳細を説明します。</p> | | | | |
| 事前・事後学習について | 大きな作品を制作することになるので、時間が足りなくならないよう、計画的に進めましょう。 制作の進み具合をこまめに指導教員へ報告し、指導を受けてください。 | | | | |
| 準備学習に必要な時間 | 納得いくまで準備時間をつくってください。 アイデアはクロッキー帳などに描きとめる癖をつけましょう。 参考資料は紙媒体をスクラップすることが望ましいです(一覧できるため)。 曖昧にせず、図書館などでよく調べてください。 | | | | |
| 評価方法 | 評価項目 | 配分(%) | 評価の観点 | | |
| | 試験 | 0 | | | |
| | 実践 | 90 | 作品 | | |
| | レポート | 0 | | | |
| | その他 | 10 | 制作や展覧会運営にかかわる姿勢 | | |
| 受講上の注意・課題のフィードバック | 講評を行います。 卒業制作展(学外)を行います。 | | | | |
| 使用テキスト | 各指導教員から資料の提示、プリントが配布されます。 | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介 | | | | |